

官報

號外

明治三十二年三月一日

水曜日

印刷局

第十三回 衆議院議事速記録第三十八號

明治三十二年二月二十八日(火曜日)午後一時十三分開議

議事日程 第三十六號 明治三十二年二月二十八日
午後一時開議

- 第一 印紙稅法案(政府提出兩院)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 銀行條例中改正法律案(政府提出貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 國有林野法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 國有土地森林原野下戻法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 水難救護法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 家祿賞典祿處分法施行法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 重罪控訴豫納金規則中改正法律案(政府提出貴族院送付)
第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第一讀會
- 第十 行旅病人及行旅死亡人取扱法案(政府提出)
第一讀會
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第一讀會
- 第十二 製造業煙草輸出交付金ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第一讀會
- 第十四 外國艦船乘組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法案(政府提出貴族院送付)
第一讀會
- 第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十六 動產銀行法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 日本興業銀行法案(松田正久君外十二名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 辯護士法中改正追加法律案(鳩山和夫名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 會計検査院長官評定官懲戒法案(工藤君外一名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十 明治三十二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案(工藤行幹君外一名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

衆議院議事速記録第三十八號 明治三十二年二月二十八日 議長ノ報告

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(寺田書記官朗讀)

大藏書記官永濱盛三君大藏省所管事務政府委員仰付ラレタル旨山縣内閣總理大臣ヨリ通牒アリ
政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

- 航海獎勵法中改正法律案
- 明治三十二年度歳入歳出總豫算追加案(第八號)(第十號)(第十一號)
- 明治三十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特追第六號)
- 明治三十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特追第五號)
- 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(追第三號)(追第四號)(追第五號)(追第六號)
- 貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ
- 漁業法案

取引所法中改正法律案
水先法案

北海道拓殖銀行法案

教育基金特別會計法案

軍艦水雷艇補充基金特別會計法案

災害準備基金特別會計法案

權利收用ニ關スル法律案

貴族院ヨリ沖繩縣土地整理法案小學校教育費國庫補助法案ヲ回付セラレタ

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

貴族院ヨリ政府提出長野縣下郡廢置及郡界變更法律案ヲ否決シタル旨通牒

三 蘇州ノ地タル政治上ヨリ見レハ江蘇全省ノ首府ニシテ巡撫其他大官ノ

居ル所タリ從テ其之レト相接スルモノハ相當ノ官職ヲ備ヘタルモノタ

ラサルヘカラス而シテ領事ハ主トシテ道臺ト相接スルモノナリト雖モ

又巡撫等ト相會スルノ必要ハ特ニ清國今日ノ國情ニ於テ已ムヘカラス

ル所トス而シテ商業上ヨリ見レハ我邦ニ於ケル重要輸出品タル絹織物

ノ產地ニシテ製絲ノ原料タル繭ノ產地ニ近接シ又我雜貨ノ好花主タリ

故ニ開港以來我居留地ハ駁ヤトシテ繁華ノ運ニ向ヒ杭州居留地ノ荒涼

ナルニ似ス是等ノ事情ヲ綜合シテ考フレハ宜シク本官ノ領事ヲ置カサ

ルヘカラス這回ノ事件ニ於ケル領事代理ノ失態モ一ハ其官等ノ卑クシ

テ清官ノ輕侮ヲ招キシニ由ルモノトス政府ハ今後尙ホ書記生ヲ以テ領

事ノ職務ヲ代理セシメントスルカ

右及質問候也

明治三十二年二月二十八日

提出者 花井 卓藏 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

贊成者 神 輦 知 常 中 村 彌 六 外三十名

ニナリマシタ譯デアリマス、此段御報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 唯今兩院協議會ノ御報告ガアリマシタガ、詰リ原案ノ如クニハ金額ハ戻リマセヌケレドモ、貴族院ノ當初二千圓宛トシタノヲ二千圓以上ハ五錢ト云フコトニシテ、幾分カワコニ趣意ガ附イタヤウデアリマス、是ハ元ト増稅ノ目的ヲ以テ出タ案デモゴザイマセヌヤウニ考ヘマス、斯ウ二階級位ニナツタノガ、商人ニ於キマシテモ取扱上便利デモアリ、又協議ヲ致シタメニ二錢ガ五錢ニ少シ色ガ附イタト云フ位ノモノ、斯ル場合ニ於キマシテハ、無論此協議會ノ通贊同ヲ與ヘテ宜カラウト考ヘマス、滿場一致ヲ以テ可決アラシコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 兩院協議會ノ議長ノ報告通テ、御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス——議事日程ノ第二、銀行條例中改正法律案第一讀會ノ續委員長ノ報告——渡邊猶人君

第二 銀行條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(渡邊猶人君演壇ニ登ル)

○渡邊猶人君(百三十七番) 銀行條例中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案ハ早ク出マシタ議案デゴザイマシテ、既ニ一月ノ二十七日ニ互選會ヲ開キマシテ、委員長理事ノ選舉ヲ致シマシタ、其後本月一日ニ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、然ルニ本案ハ極簡單ナ案デゴザイマシテ、銀行條例中九條ト十條ノ改正デゴザイマスガ、畢竟銀行條例中ノ重役等ノ過料ニ處セラレ、所ノ金額ノ改正デゴザイマシテ、ソレト新シク改正ニナリマシタノハ、外國會社ノ代表者ト云フモノガ、新シク加ヘマシタ箇條デゴザイマス、其他ハ唯此金額ノ範圍ヲ廣ク致シマシタニ過ギマセヌノデゴザイマス、併ナガラ此改正ハ商法ノ修正上ヨリ參リマシタ、商法ノ修正ノ結果トシテ此處ニ此改正ヲ要スル次第ニナリマシタノデ、銀行條例中ハ此箇條ヲ組込ミマシテ、制定ヲ致シマシタノデゴザイマス、是ハ當然ナル法律案デアッテ、委員會ニ於キマシテハ本案ノ通可決スベキモノト認メマシテ、可決ニナリマシタ、全會一致決議ニナリマシテゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 此第三モ同一委員長デスカ

○渡邊猶人君(百三十七番) 同一委員長デアリマス

○恆松隆慶君(九十七番) ソレデハ序ニ

○渡邊猶人君(百三十七番) 序ニ此處デ尙ホ此銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案、此議案ニ附キマシテモ矢張審査ヲ致シマシタノデゴザイマス、序ニ御報告致シテ置キマスガ、此案ニ附キマシテモ是モ簡單ナ案デゴザイマシテ、是モ矢張商法ノ——商法中ニアリマス所ノ過料ト云フコトニ附キマシテハ、皆現行行レテ居リマス非訟事件手續法ニ規定シテアリマスコトニ依ッテ、處理シテ參リマスルノデゴザイマス、銀行條例ノ方ニ於キマシテモ、矢張銀行條例ニ各條ノ法律ヲ規定シテアリマスレバ、是モ同一ノコトデアリマスカラ、矢張此法律ノ必要ト云フコトガ出來マシテ、此法律ヲ設ケマ

シタ次第デゴザイマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ、孰モ相當ノ議案ト認メマシテ可決スルコトニ致シマシタ次第デアリマス、兩案共ニ簡單ナ議案ニ致シマシテ、委員會ハ兩案共全會一致デ可決致シマシタ次第デアリマス、宜シクドウカ速ニ御決議アラシコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 第二ノ問題ハ、銀行條例中改正法律案ト云フノデゴザイマスガ、貴族院カラ回りマシタ通ニ本院委員會ニ於テモ可決サレタモノデゴザイマス、誠ニ簡單ナモノデゴザイマスカラ、讀會省略ヲ以テ直チニ決セラシコトヲ希望シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ、恆松君ヨリ讀會省略ノ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマスマイカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、讀會省略ノコトニ致シマス

銀行條例中改正法律案

確定議

(本案異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ハゴザイマスマイカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、本案ハ確定ト致シマス——議事日程第三、銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案

第三 銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料

第一讀會ノ續(委員長報告)

○恆松隆慶君(九十七番) 是モ前ノ例ニ依リマシテ、讀會省略デ速ニ決セラシコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテモ恆松君カラ讀會省略ノ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマスマイカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、讀會省略ノコトニ致シマス

銀行ニ關スル法律ニ定メタル過料ニ關スル法律案

確定議

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ハゴザイマスマイカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、確定致シマス——議事日程ノ第四、國有林野法案第一讀會ノ續

第四 國有林野法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(杉田定一君演壇ニ登ル)

○杉田定一君(二百九十七番) 國有林野法案及國有土地森林原野下戻法案ニ法案ノ委員會ニ於キマス經過並ニ結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案ハ森林經營又ハ人民ノ權利ニ關スル所ノ下戻等ニ關スル所ノ即チ重大ナル法案デアリマシテ、委員會ニ於キマシテモ、是ハ慎重ニ質問ヲ致シ又慎重ニ審議ヲ致シマシ

タ次第デゴザイマス、其結果國有林野法ニ於キマシテハ、既ニ諸君ノ方ヘ修正案ガ配付ニナツテ居リマス、一々煩ヲ避クルガためニ申上デマセヌガ、第三條ニ於テ「社寺上地ニテ其境内ニ必要ナル風致林野ハ區域ヲ畫シテ社寺現境内ニ編入スルコトヲ得」ト云フ一項ガ挿入ニ第三條ニ於テナリマシタノデゴザイマス又第六條ノ終ニ至ツテ「但シ相當ノ補償ヲ求ムルコトヲ得」ト云フコトガ加ツタノデゴザイマス、又第十一條ノ第三項ニ當ツテ「牛馬放牧ノため使用セシムルコトキ」ト云フ一項ガ加ツタノデゴザイマス、其他段々修正ガアリマスルケレドモ、一々申上デマセヌ、第十七條ニ至リマシテ「社寺上地ノ森林ハ其社寺ニ保管セシムルコトヲ得」ト云フ修正ニナツタノデゴザイマス、其中一項「社寺ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ社寺林地ヲ使用シ又ハ主副產物ヲ採取スルコトヲ得」ト云フ一項ガ挿入ニナツタノデゴザイマス、又第十條中ノ二項三項四項等ハ後トヘ繰戻シテ、十八條トナツタノデゴザイマス、其他ハ字句ノ修正等デゴザイマス、修正ノ結果字句ノ修正等デゴザイマス、一々申上デマセヌ、國有林野法案ノ結果ハ斯ノ如キ次第デゴザイマス、俗テ國有土地森林下戻法案ノ修正、是モ既ニ諸君ヘ御配付ニナツテ居リマス、其中ノ要點ヲ摘ンデ申上デマセヌ、第一條ニ於テ「地租改正又ハ社寺上地處分ニ依リ」ト云フ字ヲ削リマシテ「明治元年一月以後」ト云フコトニ改マツタノデゴザイマス、又其中「收益」ト云フコトガ加ハタノデゴザイマス、ソレカラ三十二年十二月三十一日ト云フノガ、三十三年十二月三十一日ニ修正シタノデアリマス、ソレカラ此第二項ノ「又ハ下戻ニ關シ既ニ處分ヲ受ケタルモノハ」ト云フコトヲ削除スルコトニナツタノデゴザイマス、ソレカラ第二條ハ「前條ニ依リ申請ニシテ左ノ一ニ該當スルモノハ下戻ヲ爲スヘシ」ト云フコトニ改ツタノデゴザイマス、ソレカラ第二條中ノ各項ノ政府案ニハ「公簿若ハ書面」其他「書面」ト云フコトガアリマス、之ヲ皆「證アルモノ」ト云フニ改リマシタノデゴザイマス、又此中ニ一項新ニ挿入ニナリマシタノハ、第三項トシテ「官ヨリ拂下又ハ下附ノ證アルモノ」ト云フ一項ヲ挿入ニナツタノデゴザイマス、ソレカラ第八項トシテ「主副產物ヲ收益シタル證アルモノ」ト云フ一項ガ加ツタノデゴザイマス、ソレカラ又第九項トシテ「其他成績慣行上民有ト認ムヘキモノ」ト云フコトガ、一項新ニ加ツタノデゴザイマス、第三條ハ削除、政府案ノ四條ガ三條トナツタノデゴザイマス、又政府案ノ五條ガ削除ニナツタノデゴザイマス、即チ二法案ノ委員會ニ於キマスル所ノ經過結果ハ、斯ノ如キ次第デゴザイマス、他ノ案ニ至ツテハ、目下尙ホ審查中デゴザイマス、尙ホ他ニ少數者ノ意見ガゴザイマス、ソレハ少數者カラ御報道ニナルダラウト思ヒマス

〔修正ノ理由ガ一向分ラヌ〕ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(九十七番) 第四ニハ少數意見ガアリマス、ナイヤウニ思ヒマスガ、ゴザイマス

○議長(片岡健吉君) アリマセヌ——本案ニ附イテ第二次會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ採決致シマス、第二次會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「直チニ開クベシ」ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第二次會ヲ開クコトニ致シマス
○西谷金藏君(二百十五番) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 西谷金藏君カラ直チニ二讀會ヲ開カウト云フ動議ガ出マシタカ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス

國有林野法案

第二讀會

○恆松隆慶君(九十七番) 少數意見ガ申込ニナツテ居リマス、ナゾ取違デゴザイマセウ、ナイト本員ハ認メテ居リマスガ、アリマセヌカ——ナケレバナイヤウニ考ガアル、少數意見ハナイト思ヒマスガ

○議長(片岡健吉君) 第四ニハアリマセヌ
○恆松隆慶君(九十七番) 是ハドウデゴザイマス、全部議題トナリマシテ、委員ノ報告通ガ宜シイト思ヒマスカラ……

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是ハ全部ヲ議題ニ供シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 委員長ノ報告通デ宜シイト云フ都合デアリマスカラ、直チニ報告通……

○議長(片岡健吉君) 委員會ノ修正說ニ附イテ採決致シマス、委員會ノ修正通デ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正通決シマス
○恆松隆慶君(九十七番) 直チニ三讀會ヲ開クベシト確定セラレンコトヲ望ミマス、多年希望ノ案デゴザイマスカラ……

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ直チニ三讀會ヲ開カウト云フ動議ガ出マシタカ、御異議ハアリマスマイカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

國有林野法案

第三讀會

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、確定致シタモノト認メマス、議事日程ノ第五國有土地森林原野下戻法案第一讀會ノ續

第五 國有土地森林原野下戻法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○杉田定一君(二百九十九番) 先キニ少シ申落シタ所ガアリマス、修正案ノ第二條ノ四項ニ於キマシテ「賣買讓與質入書入寄附等ノ證アルモノ」ト云フ所ガ「寄附等」ニ由ル所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルモノ」ト云フコトガ落チテ居リマス、此點ダケ正誤致シテ置キマス
○出水彌太郎君(二百二十二番) 少數者ノ意見ヲ報告致シマス
〔出水彌太郎君演壇ニ登ル〕

○出水彌太郎君(二百二十二番) 私ハ國有土地森林原野下戻法案ニ對シテ、

少數者ノ意見ヲ報道致シマスル、就キマシテハ御手許ニ差出シテアリマスル
此少數者ノ意見書中、第一條ノ末項ニ「廢藩置縣以後」ト斯ウ書イテゴザイマス
ル所ハ「版籍奉還以後」ト云フ活版ノ誤植デゴザイマスカラ、廢藩置縣ヲ取ッテ
「版籍奉還」ト御直シヲ願ヒタイ、ツレカラ此意見書ノ中一番末ニゴザイマス
ル福田久松君ハ前島丈之助君ノ誤植デゴザイマスカラ、是モ御改メヲ願ヒマ
マ、ツレデ少數者ノ意見ハ、此第一條ノ「明治元年以後」ト委員會デ修正ニナリ
マシタノヲ「地租改正又ハ社寺土地處分ニ由リ官有ニ編入セラレタル云々」ト
直リマシタノデゴザイマス、ツレカラ此末項ハ——第一條ノ末項ハ地租改正
處分ト云フデケデアリマシタノヲ唯今申シマスル如ク、版籍奉還以後土地處分
ヲ受ケタル土地及「ト、是ダケノ文字ヲ加ヘマシタ、ツレカラ第二條ノ第一項
ノ「公簿若ハ公證ニ依リ所有分収又ハ收益ノ事實ヲ有スルモノ」ト云フ中デ、
收益ノ文字ヲ削リマシテ、又ハ「ト云フ字ヲ分収ノ上ヘ持ッテ參リマシテ、ツ
レカラ第三號ノ「官ヨリ拂下又ハ下附ノ證アルモノ」ト云フ一項ヲ削リマシテ、
第四號ノ「拂下付又ハ」ト斯ウ加ヘテ、之ヲ一號ニ縮メマシタノデアリマス、
ツレカラ第八號ノ「主副產物ヲ收益シタル證アルモノ」ト云フ一號ヲ削リマシ
タ、第九號ノ「其他成贖慣行上民有ト認ムヘキモノ」トアリマスルノヲ「成績
慣行上」ノ五文字ヲ削リマシテ「認ムヘキ」ト下ヘ「證アル」ト云フ三字ヲ加ヘ
マシタ、ツレカラ此原案ノ第五條ヲ委員會デハ削リマシタノデアリマスガ、之
ヲ復活致シマシテ、少々文字ヲ換ヘマシタノデアリマス、此第五條ヲ第四條ニ
改メマシテ「第二條ニ依リ下戻ヲ受ケタルモノト雖モ公用又ハ社寺境内ニ供
セラレタルモノハ其ノ公用又ハ社寺境内ノ廢シタル後ニアラサレハ權利ヲ行
使スルコトヲ得ス」ト改メマシタ、ツレカラ少シ言落シマシテゴザイマスル
ガ、此第一條ノ一行目ニ「其處分ノ當時之ニ付キ所有分収又ハ收益ノ事實アル
モノ」ト云フコトニ委員會デハ直リマシタガ、ツレコレ此「又ハ收益」ト云フ四文
字ヲ取リマシテ「分収」ノ上ヘ「又ハ」ト云フ文字ヲ加ヘマシタ、是ダケガ少數
意見者ノ修正ヲ加ヘマシタ簡條デアリマス、其理由ヲ簡短ニ述ベマセウト思
ヒマス、此第一條ノ明治元年以後ト云フコトニ致シマスル、舊藩時代ノ處分
モ亦之ニ加ルト云フコトニナリマスル嫌ガアリマスルガ故ニ、之ヲ地租改正
又ハ社寺土地處分ニ依リト云フコトニ致シマシタ、併ナガラ地租改正又ハ社
寺土地處分ト云フコトノミ止メマスルト、ツレヨリ以前若クハ以後ノモノ
ハ、此法律ノ均霑ヲ受クルコトガ出來ナイト云フ嫌ガゴザイマスル故ニ、末項
ニ至リマシテ版籍奉還以後ト云フ文字ヲ加ヘマシタノデアリマス、ツレカラ
此收益ト云フ文字ヲ取リマシタノハ、收益ト云フコトニ致シマスルト、種々
ノモノガ此中ニ含著致シマスルコトニナリマシテ、到底十分ノ處分ヲ爲シ得
ルト云フコトハ出來難イト云フ恐ガアリマスルガ故ニ、收益ト云フ文字ヲ取リ
マシタ、併ナガラ此收益若クハ主副產物ヲ收益シタルト云フモノニ對シテハ、少
數者意見ノ第七號ノ民有ト認ムヘキモノ、中ニモ十分申請セラレマスルノ權
利ガアリマセウト云フ考デアリマスルシ、尙又林野法ノ第十八條ニ至リマシ
テ、依託ト云フノ條項モアリマスルシ、尙其他ニ隨意契約ヲ以テ、緣故ノアル
モノニハ賣拂フト云フコトニナツテモ居リマスルカラ、此收益ト云フ二字ヲ削
リマシタ次第デアリマス、ツレカラ第四條ト云フモノヲ茲ニ復活致シマシタ
ノハ、是ハ此法案ヲ議スルトキニ第二條ノ第三號ヘ社寺土地林ニシテ遞減祿

ヲ受ケタル者ハ矢張下付ヲシテヤルト云フコトヲ加ヘルト云フノ動議ガアリ
マシタ所ガ、ツレニ對シテ種々ノ議論ガ生ジマシテ、結局ツレヲ後ニ回スト
云フコトニ致シマシテ、決議ヲセズト、林野法ニ移リマシタ所ガ、林野法ノ
修正ニ依リマシテ、ツレヲツコニ入レルコトハイラナイト云フノ結果ニナリ
マシタ、ツレデ先キノ發議者モツレヲ撤回致シマシタニ附イテ、此第五條ト
云フモノヲ削リマシタノハ、其社寺林地ノ下戻ト云フコトガ出來ルト云フ上
ハ、第五條ニ社寺境内ニ供シタル土地ト云フコトガゴザイマスルカラ、之ヲ第
三號ニ其旨ガ這入ル以上ハイラナイト云フ趣意カラシテ、此公用ト云フモノ
ハ土地收用法ニ依ッテヤルト云フコトニナルト云フ譯デアリマス、
所ガ第三讀會ニ至リマシテ、文字ノ修正トカ大體ニ對シテ、修正ハ出來マス
ルガ、詰リ意味ハ變更スルコトガ出來ナイト云フ結果カラ、遂ニ此條ヲ省イ
タ儘ニ通過スルコトニナリマシタデアリマス、所ガ第三號ノ社寺土地林ダ
ケヲ入レルコトハイラナイト云フ結果トシテ、茲ニ之ヲ起サナケレバ、甚ダ
差支ヲ生ズルト云フ嫌ガアリマスガ故ニ、之ヲ復活致シマシタ次第デアリマ
ス、少數者ノ意見ノ大要ハ斯ノ如キ次第デアリマスカラ、ドウカ宜シク御賛成
ヲ下サイマスヤウニ……

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○藤澤幾之輔君(八十番) 少數意見ノ報告者ニ對シテ御尋ヲ致シタイコトハ、
第一條ノ末項版籍奉還後ト云フコトニ修正セラレマシタ次第第柄ヲ伺ッテ置キ
タイノデゴザイマス、原案ニ依リマシタ、第一條地租改正又ハ社寺土地處分ニ
依リ云々トアリマシテ、地租改正ノ時以上ニ遡リマセマセウニ見エテ居ル
デアリマス、併ナガラ委員會ニ於テ政府委員ト委員會トノ質問等ニ依ッテ見
シタ、矢張遡ルコトニナツテ居ル、殊ニ士族ガ拜領山等ノ名義ヲ以テ所有致シ
マシタ地所等ニ對シマシテ、尙ホ且ツ矢張此法案ニ依ッテ下戻シメノデア
ト云フコトニ問答デアリマシタ、居ルノデアリマス、併ナガラ原案ニ依リマス
ル、地租改正云々トアリマスカラシテ、或ハ此地租改正ノトキ以前ニ遡ッテ
處分ヲ致シマセウカノ如キ嫌ガアルノデアアル、ツレコレ明ニ致シマスルタメ
ニ一應伺ッテ置キマス

○出水彌太郎君(二百二十番) 御答ヲ致シマス、只今ノ御尋ノ通ノ意思デア
リマスカラ、末項ニ版籍奉還ト云フコトヲ加ヘマシタ、御尋ノ通デアリマス
アリマスガ

○恒松隆慶君(九十七番) 唯今ハマダ一讀會中ト心得テ居リマスガ、サウデ
アリマスガ

○議長(片岡健吉君) サウデス

○恒松隆慶君(九十七番) 然ラバ此案ニ於キマシテハ、委員會ノ修正又少數
者ノ意見モ段々ゴザイマスガ、詰リ大體ニ於テハ、孰モ此案ヲ宜シイト認メテ
居ルノデゴザイマスカラ、直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君カラ直チニ二讀會ヲ開カウト云フ動議ガ出
マシタガ、御異議アリマセウカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマ
ス

○議長(片岡健吉君) ト呼フ者アリ
ヤ否ヤニ附イテ採決致シマス、今恆松君ノ動議ノ如ク本案ノ二讀會ヲ直チニ開クト云フニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、ソレデハ直チニ二讀會ヲ開クコトニナリマシタ、第一條ヲ議題ニ供シマス

國有土地森林原野下戻法案

第二讀會

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○議長(片岡健吉君) 今報告ニナリマシタ少數者ノ意見ニハ、定規ノ賛成ガアリマス

(賛成々々ト呼フ者多シ)

○議長(片岡健吉君) 定規ノ賛成ガアルト認メマス、ソレデハ工藤行幹君……
○工藤行幹君(百二十五番) 私ハ本案ニ附イテハ委員長ノ報告ニ賛成スル者デゴザイマシテ、其反對ナル即チ此少數者ノ意見ニ反對ヲ表スル者デゴザイマス、今此反對スル理由ハ、ドウ云フコトガ骨子デアルカト云フト、即チ本案ノ中ニ收益權ト云フコトヲ政府ハ認メテ、人民ニ收益權ノアルモノハヤルカ、ヤラザルカ問題トナッタ居リマス、總テ此第二條其他ノコトニモ、又一番末項ノ處ノ其他成績慣行民有ト認ムベキモノト云フコトヲ少數者ハ取ツテアルノデゴザイマス、是ガ大體私ノ反對、少數者ノ意見ニ對スル反對スル所以デゴザイマス、故ニ聊カ其理由ヲ諸君等ノ暫時御清聴ヲ煩シタイと思ヒマス、先ツ此成績慣行民有ト認ムベキモノト云フコトヲ少數者ガ取ツテ居リマスガ、是ハ何ノ必要デアルト云フコトヲ私ハ述べタイと思ヒマス、何ゼナレバ此山林ニ關スル證書採ト云フモノハ、此舊藩ノ制度ノ如何ニ依ツテハ、必シモ立派ナ證書ト云フモノガアルノデナイ、ナイ所ガ多クアルノデゴザイマス、而シテ實際ノ成績慣行上ニ於テハ、必ズ此民有ト認メナクテハナラヌト云フモノガ歴然トシテアリマスケレドモ、ドウモ其藩ノ慣行ニ依ツテハ一向此今ノヤウニ還付ノ證書ヲ與ヘタト云フ如キ、或ハ印ヲ捺シテヤッタト云フモノハ、極ク少イノデゴザイマス、別シテ此東北地方ノ如キハ、其他ノ如キモ官印ヲ捺シテ人民ニ下ゲルト云フコトハナクシテ、唯鼠半切ト云フヤウナモノニ書イテ下ゲタモノガアリ、或ハ又口上ヲ以テヤツテ、所有ニ歸シタモノガ澤山アルノデゴザイマス、故ニ今遑テ取調ベルノハ、或ハ其土地ノ庄屋トカ、大庄屋ノ書面ニ依リ、或ハ成績慣行ニ依ツテヤルカ、或ハ舊藩々ノ此公用書類ニ依ツテヤルヨリ仕方ガナイノデゴザイマス、是等ハ吾モ十分我地方ノコトニ附イテ、是マデ調査致シタコトガゴザイマスガ、何分此舊幕ノ裁判トカ何トカニ掛ツタモノデゴザイマスレバ、立派ナ判ヲ捺シタ者ガゴザイマスルケレドモ、唯舊藩限デ民有トナツタモノニハ、サウ云フモノニハ少イノデアリマス、然ルニ是マデノ實際ニ徴シテ見ルト、免角農商務省デハ之ヲ以テ證據ト認メナイ、マダ確ナモノデヤナイト云フヤウナコトヲ言ハルルコトガ往々アルノデゴザイマシテ、吾モ甚ダ困難ヲ致ス故ニ、先年金子

堅太郎君ガ農商務次官ヲシテ居ッタ頃ハ、吾モガ舊藩ノ帳簿ヲ今悉クアル古イ藏ニ押込デ居ルモノカラシテ、數百年來ノモノヲ皆引出シテ、悉ク此處ハ斯様デアル、此處ハ斯様デアルト云フ札ヲ附ケテ、車ニ一杯程持ツテ來テ農商務次官ノ檢閲ヲ經タコトガアル、斯ウ云フモノハ帳簿ニ依ルヨリハ仕方ガナイノデアルガ、斯ウ云フモノニ附イテ、ドウ認メルカト云ヘバ、其トキハ成程是デハ證據ガアルヤウダト云ヒマスケレドモ、實際ニナツテ見ルト云フト、免角之ヲ證據ト認メルヤ否ヤト云フコトニ附イテハ、段々色ナ議論ガ起ツテ、或ハ鈍ク、或ハ此コトハ證據ニナラヌト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、又之ヲ行政裁判所ニ持ツテ往ツタ所ガ、免角其證據ト云フモノハ判然シナイノデアル、慣行上ハ立派デアルケレドモ、當時謂フ所ノ證據物件ト云フモノニハ、幾ラカ缺ケテアル所ガ往々アルノデゴザイマス、而シテ地租改正ノトキニハドウ云フコトヲヤツタカト云ヘバ、敢テ是ハ證據バカリニ據ツテヤツタモノデハナイ、或ハ鄰保ノ保證ニ依ツテモ、是ハ其人民ノ私有デアッタト云フコトヲ鄰保ノ人民ガ保證スレバ、ソレデ私有ニナツタト云フコトデゴザイマス、然ルヲ今此處デ下戻法案ニ掲ゲテ、唯此證據アルモノ——證據アルモノトノミ書イテ成績慣行ト云フコトヲ認メナケレバ、全ク人民ノ所有デアッタニ相違ナイ成績慣行ガアルケレドモ、證據トスル物件ノ尙ホ少シク不備ナルガタメニ、是ハ下戻シニナラヌト云フヤウナ不幸ヲ被ルモノデゴザイマスルカラ、此ドウシテ其他ノ成績慣行上民有ト認ムベキモノト云フモノヲ茲ニ入レナクテハ、人民ガ幸福ヲ完ウスルコトガ出來ナイ、イヤ、幸福デヤナイ、人民ノ權利ヲ完ウスルコトガ出來ナイト云フ所ノ不幸ニ陷ルト云フコトヲ憂フル者デゴザイマス、其次ニハ此收益ト云フモノヲ入レナクチャナラヌト云フコトニ附イテ、一ツ其理由ヲ私ガ御話シスルノデゴザイマス、其收益權ト云フモノハ、即チ全山ニ對シテ——全山ノ主ナル木デ、敢テ所有シテ居ルノデヤナイ、其地面モ亦所有シテ居ルノデナイ、然ラバ其内ノ副產物ト云フバ宜イカ、副產物デナクテモ宜イガ、或ハ其主ナル樹ナラ槍、杉ノ木ナラ杉ノ木ヲ官デハ或ハ良イ部分ヲ取ツテ、其末木ノヤウナモノハ皆其地下ノ人民ニ與レル、或ハ枯枝ハ何ボ之ヲ取ツテモ宜イ、況ヤ其他ノ雜木ノ如キニナレバ、落々ノ仕來リニ依ツテ、或ハ現物ノ十分ノ一ヲ人民ガ勝手ニスルコトガ出來ル、其他或ハ副產物ノ如キニナツテハ、人民ニ勝手ニ取ラシタモノデゴザイマスルカラ、ソレデ人民ガ其村落ノ生計ハ、立派ニ立ツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此官山ト云フモノニナツテ來テカラ、ソレニ這入ツテ柴一本取ルコトガ出來ナイ、枯枝一本伐ルコトガ出來ナイト云フコトニナリマシタメニ、此山ニ近イ所ノ村々ノ人民ガ、到底日々ノ薪炭ニ差支ヘルノデゴザイマスルカラ、知ラズ識ラズ規則ニ觸レテ、遂ニ縲紲ノ苦ヲ受ケルト云フ者ガ往々アル、現ニ我青森縣ノ如キハ、或ル一箇年ニ於テ五百人以上ノ人ガ、此山林ニ關スル犯罪人トナツタコトガアルノデゴザイマス、ソコデ其下草ナリ、分收權ト書イテアル、此分收權ト云フモノハ、向ヘナイト云フ譯ハナイ、分收權ト書イテアル、此分收權ト云フモノハ、多クハ此九州邊ニアル所謂部分木ガ、第一ノ分收權デアル、之ガ官ト條約ガ出來テ、或ハ全山ニ在ル所ノ木ノ何分ハ官ガ取り、何分ハ人民デ取ルト云フ約束上カラシテ成立ツテ居ルカラ、此分收權ト云フモノガ、誠ニ判然トシテ居

ル、ツレハ取ルコトガ出来ケレドモ、今ノ東北地方ノ如ク收益權ト云フモノヲ持ツテ居ラヌ者ハ、一向取ルコトガ出来ヌト云フ結果ニナルノデゴザリマス、ソコデ此收益權ト云フモノガアルガタメニ、山ノ麓ニ居ル所ノ人民ハ、ドウカカウカ生活ガナツテ居ルノデゴザリマス、此收益權ヲ取ツテシマツテハ、ドウシテ山ノ麓ニアル人民ノ生活ガ立往カヌト云フコトニナル、併シ茲ニ於テ諸君等ニ一ツ確ニ御聽置テ願ヒタイト云フモノハ、此收益權ト云フモノハ、決シテ各自ニ取ツテ、各自ノ利ヲ得ルモノデヤナイ、大抵其村ノ公共團體ガ其權利ヲ持ツテ居ルモノデゴザリマス、之ヲ許シテ見タ所ガ、當時流行ノ山林拂下ト云フヤウナコトデ、大キナ利益ヲ受ケルト云フヤウナコトハ決シテナイノデゴザリマス、唯其人民ガ日々ノ薪炭ノタメニ或ハ枯枝ヲ取り或ハ副産物ヲ取ツテ、日々ニ人民ガ今ノ活計ニ充ツルモノデゴザリマス、是モ其村ノ何某々ガ利益ヲ得ルト云フノデナイ、村ノ者ハ誰彼ヲ問ハズ、皆這入ツテ之ヲ得ルコトガ出来ルモノデゴザリマス、此收益權ヲ與ヘテ見タ所ガ、大キナ金儲ト云フヤウナコトハナイ、全ク其地ノ住民ノ生活ヲ立テルニ良シ、又一方ニハ之ガタメニ薪炭ノ缺乏ヲ憂フルコトガナイト云フノダケニ止マルノデゴザリマス、ソコデ此地方ニ依ツテ程度ノ異ナルコトヲ私ハ一應御話ヲ致シマス、今此我日本ノ國ヲ大體統計表ノコトニ依リマシテ、日本ヲ中區、北區、或ハ西區、四區、九州區、斯ウ云フヤウナコトニ分ケテ、此山林ト云フモノハ、ドウ云フヤウニナツテ居ルカト云ヘバ、西區ト云フモノハ官林一町歩ニ附イテ、私林ト云フモノハ九十町歩アルノデゴザリマス、ソコデ東北區——東北區ト云フモノハ、即チ東北六縣ト新瀉縣ガ這入ツテ居ルノデゴザリマス、是ガドウナツテ居ルカト云ヘバ、官林一町歩ニ附イテ民林ト云フモノハ、僅ニ五町歩ヨリナイノデゴザリマス、五町一段——固クスレバ五町一段デアル、四區ノ方ヘ往ケバ、ドウナツテ居ルカト云ヘバ、官林一段歩ニ付イテ民林五百九十九町餘アル、九州ニ往キマスルト、云フト官林一段歩ニ付イテ民林ト云フモノハ、四十四町一段歩デアル、斯ウ云フ譯デアル、然ラバ此官林ノ少イ、此反對ナル官林ノ極少イト云フモノハ、四區區ガ一番少ナイノデアツテ、東北ト九州ガ一番官林ガ多イノデアルノデゴザリマス、九州ハ四十餘町歩、東北ハドウナツテ居ルカト云ヘバ、僅ニ五町一段歩デゴザリマス、然ルニ此天地ノ氣候ハ如何デアルカト云ヘバ、東北ノ如キハ寒地デアルト云フコトハ、諸君ハ誰モ疑フ者ハナイ、寒地デアルナラバ、松ナリ杉ナリ九州四國ノヤウナ暖地ヨリ多クイルト云フコトハ、當リ前デゴザリマス、況ヤ東北ハ石炭ノ如キ燃料モナク、而シテ極寒ノ地ニ住ツテ、尙ホ官林一町歩ニ對シテ僅ニ五町一段歩ノ地面ヲ持ツテ、是マデ生計ヲ立テ、居ルノハ、ドウ云フ譯デアルカト云ヘバ、則チ此收益權ヲ持ツテ官林ノ枯枝ヲ取ツテ、人民ハ困ラヌデ居ツタデゴザリマス、若シ民林ガ澤山デ、官林ガ各所ニ散在シテ居ルト云フ位ノ所デアルナラバ、必ズ此收益權ヲ取ラナクテモ宜イコトモゴザリマセウケレドモ、斯ノ如ク北區若クハ西區、モウ一ツ中區、東京カラ關東ヘ來ル所、斯ウ云フ所ハ官林ガ多クシテ、民林ガ少イ所ニナツテ、絶對的此收益ト云フモノヲヤラヌト云フコトニナツタナラバ、目下デハアリマス、マイケレドモ、追々今ノ薪炭ニ差支ヘテ、東北ノ如キハ、人民ガ饑渴ニ苦マナケレバナラヌト云フコトニナルノデア

リマス、殊ニ此度政府ノ何ヲ見レバ、特別會計ニシテ官林ト云フモノハ立派ニ取締ヲシヤウト云フコトデアル、是ガ嚴重ノ取締ニナツテ、民林ノ少イ所デアツテハ、何ヲ以テ薪炭ノ供給ヲ致シマセウ、然ラバ之ヲ救フノ道ト云フモノハドコニアアルカト云ヘバ、此收益權ナルモノ、認定ヲ許サナケレバナラヌ、而シテ之ヲ許シタ所ガ、誰モ大キナ金ヲ儲ケルモノデナイ、立派ノ材木ヲ取ルコトモ出来ナイ、唯日々ノ薪炭ノ需要ニ供スルノデアリマス、然ルニ或論者ハ收益權ノアル所デアレバ、其收益權ハ認メナイケレドモ、其村ニ依託シテ其官林ヲ取扱ハセル、然ルトキニハ或ハ小柴ナリ、或ハ枯枝ナリ、採ルコトヲ許ス積デアルカラ、差支ナイデハナイカト云フコトヲ言ハレタ、成程悉ク之ヲ管理セシメテ、枯枝ナリ、末木ナリ、其他ノモノヲ許スナラバ宜シウゴザリマセウガ、此コト、云フモノハ、甚ダ當テニナラヌノデアリマス、此後ノ政府ハ如何ナル處置ヲスルカハ知レマセウケレドモ、是マデノ所ヲ見レバ、實ニヒドイ、粗糲一本伐ルコトガ出来ナイ、正月門ニ立テル松一本モ、ドコカラモ持ツテ來ルコトガ出来ナイ、故ニ我地方ノ人民杯ハ、巡查ヨリ何ヨリ怖イ者ハ官林ノ役人デアル、何セ怖イカト云ヘバ、一遍屋敷ヲ廻ラレテ見ルト、或ハ豌豆ノ蠅メタルメニ小サイ木ヲ立テル、ドコカラ持ツテ來タト云ヘバ、必ズ官林カラ持ツテ來ナケレバ、他ニ持ツテ來ル所ガナイニ附イテ、ドウシテモ官林カラ持ツテ來ナケレバナラヌ、是ヲ云フト直グニ罰ニ罹ルト云フコトニナツテ居リマス、甚シキハ先年私ガ政府ニ質問書ヲ出シタコトモゴザリマスガ、官林ノ中ニ桑ガ澤山アル、近頃養蠶ノ發達ノタメニ山ノ桑ガ何モナラヌ、之ヲ人民ガ採ツテ自分ガ養蠶シテ、生計ヲ助ケタイト云フタ所ガ、ナカク此桑ノ葉ヲ採ルコトガ出来ナイ、一貫目七錢トカデナケレバ、拂下タルコトガ出来ナイト云フコトデアリマス、斯ク嚴重ノタメニ桑ノ葉ヲ山デ採ツテ養蠶ヲ仕立テルコトモ出来ナイト云フ有様、而シテ其桑ヲ採ルニハ、七錢ノ金ヲ出スノハ、未ダ宜シウゴザリマスガ、一々官吏ノ檢メヲ受ケナケレバナラヌ、一棚ニ附イテ幾ラト云フヤウナモノデ、其手數ノ掛ルト云フコトハ、容易カラヌコトデゴザリマス、故ニ地方ノ山下ノ村々ノ者ハ、知ラズ識ラズ罪科ニ罹ツテ、縲紲ノ苦ニ罹ル者ハ、前申シタ通數百人、甚シキハ諸君ハ或ハ御存知ナイカモ知レマセウケレバ、御話致シマセウ、私ノ地方ニ津輕富士ト云フ大キナ山ガアル、此山ニ雪ガ降ル、此雪ガ夏ニナルト云フト、雪ノ塊ツタモノガアル、之ヲ貧民ガ採ツテ市中ニ賣リ歩イテ、恰度今ノ氷ノヤウナ安排デ、六月一日トカ何トカニ賣リニ歩ルタ、是ハ貧民ノヤル仕事デアル、然ルニ青森大林區署ハ、之ヲドウシタカト云フト、此山ノ道ヲ貴様ハ通ルコトガ出来ナイ、ソコデ他ニ道ガナイカラ、雪ヲ採ツテ賣ルコトガ出来ナイ、所ガ或ル奸計ナル者ガアツテ、全山ノ雪ヲ一手ニ拂下ヲ受ケタ、拂下ヲ受ケタニ附イテ此度ハ貧民ガ雪ヲ一荷採リニ行クト、一人カラ十錢トカ五錢トカ取ラレタ、メニ、此雪ヲ取ツテ其日ノ生計ヲ立ツテ居ツタ者ガ、大ニ窮シタコトガアル位ノコトデゴザリマス、ソレデ法律デ許スカラ宜イデヤナイカト云フコトハ、畢竟其當局者ノ唯手心ニ出ルノミデゴザリマス、是ハ貴様ニ管理セシメナイト云ヘバ、ソレマデノコト、飽クマデ是非管理シナクツテハナラヌ、此枯枝ヲ自分カラ主張シテ、我權利トシテ取ルコトガ出来ナイ、故ニ極寛大ナル極至當ナル大林區ノ役人ガ居ツタトキハ宜シウゴザ

イマセウケレドモ、先年我縣ニ來タヤウナ、苛酷ナル大林區ガ來タトキニハ、
連モ人民ハタマルベキモノデナイ、然ラバ此法律文ニ於テ此收益權ト云フコ
トヲ認メテヤラナケレバ、幾ラ此下戻法案ガ提出ニナツテ見タ所ガ、到底人
民ガ安心スルコトハ出來ナイノデアル、前ニ申ス通ドウモ民林ノ多イ所デア
ルナラバ、是等ノコトハ決シテ苦ニモナリマス、四國ノ如クナレバ宜シ
ウゴザイマセウケレドモ、若シ此法案ニシテ少數者ノ如キ意ニナツタナラ
バ、第一ノ苦ヲ受ケルモノハ北部デアル、第二ノ苦ヲ受ケルモノハ九州デア
ル、第三ノ苦ヲ受ケルモノハ中部デアルト云フコトハ、瞭々トシテ明ナルモ
ノデゴザイマス、而シテ又之ヲヤツテ見タ所ガ、官林ガ持テヌト云フコトハ
決シテナイ、今ノ當局者ハドウダカ知レナイケレドモ、吾々ノ親ヒ知ル所ニ
依レバ、今全國ノ官林ト云フモノハ、凡ソ八百萬町歩アル、是カラ凡ソ百
萬町歩位ハ拂下ゲテシマツテ、後トノ七百萬町歩ヲ官デ保存シテ、是ヲ特別
會計ニシテ、立派ニ經營スルト云ヒマスケレドモ、吾々ハ連モ是ハ許スコト
ハ出來ナイ、凡ソ是マデ官デ持ツテ居ル山林ハ、何程ノ利益ヲ生ゼシメタコ
トガアルカ、何程官林ガ繁茂シタカト云ヘバ、却テ民林ヨリ日々荒廢ニ陥ッ
テ往クノデゴザイマス、吾々ガ思ヒマスニハ、此大計畫ヲヤルナラバ、寧ロ
現今八百萬町歩ノ内國家ニ持ツベキ所ハ、凡ソ半數位、四百萬町歩位ニシテ、
十分ナル監護ヲシテ、十分植林ヲスルガ宜イトデモ、七百萬町歩ヲ持ツテヤ
ルト云フコトハ、唯入費バカリ掛ツテ、其間ニ役人ニモ極又惡ルイ者モゴ
ザイマス、私等ノ縣杯ニハ、年々小林區ノ役人ガ盜伐ノ仲間ニ加擔シテ、牢
ノ中ニ這入ル者ガ五人モ六人モアル、役人初斯ウ云フ譯デゴザイマス、多數
ナモノヲ持ツテ、官ガヤルト云フコトハ、到底及ブモノデヤナイ、故ニ此收益
權ヲ與ヘルトキニ、幾ラカ官林ノ地面ヲ縮小シテ見タ所ガ、國家其モノカ
ラ見レバ、却テ人民ニ任セタ方ガ發達致シマシテ、又人民ガ日々ニ薪炭ニ苦
ム等ノ憂モナク、所謂此法律ノタメニ、全國一般ノ人民ガ幸福ヲ受ケル譯デ
ゴザイマスルカラ、諸君等ニ於カレマシテモ、或ハ四國アタリニゴザル方ハ
其コトハ御感シナイカモ知ラヌガ、他ノ奥羽ノ地方ハ、此少數者ノ意見ヲ持ッ
テ往クト、非常ナル苦ミニナルト云フコトヲ御諒察ニナツテ、ドウカ私共
ハ大體反對ノモノアルケレドモ、既ニ二讀會ニ移ッタ以上ハ、委員長ノ報告
通御採用アラヌコトヲ偏ニ希望致シマスデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 中村彌六君

(中村彌六君演壇ニ登ル)

○中村彌六君(百四十番) 本員ハ此下戻法案ニ附キマシテ、別ニ修正意見ヲ
呈シテゴザイマス、此修正ニ御賛成アラヌコトヲ希望致シマス、又全體ニ附
キマシタナラバ、委員長ノ報告ニ最モ賛成ヲ表スルモノデゴザイマシテ、少
數意見ニ反對ノ意思ヲ懷イテ居ルノデゴザイマス、此少數意見ニ反對ノコト
ニ附キマシテハ、唯今工藤君ガ續々述べラレマシテゴザイマス、尙ホ一言茲
ニ述ベテ置キマスルガ、此下戻法案ト云フモノハ、直チニコ、ニ新シク法律
トシテ生レタ如クデゴザイマスケレドモ、此法案ハ地租改正ノ殘務ヲ、今
日ノ行政上デ取扱ツテ居リマスルモノ、其習慣例ト云フモノヲ、成文律ニ
致シタニ過ギザルモノデアリマス、而シテ此法律ノ定メ方ニ依リマスルト云
フト、地租改正ノ當時ニ於キマシテ、未ダ人智モ進マズ、政府ノ威力ノ大變

ニ高マツテ居ル時期デゴザイマシテ、此定メヤウニ依リマスルト云フト、殊
ニ山附ノ人民ガ、祖先以來ト申シタイガ、祖先以來デハゴザイマス、即チ
殆ド開國以來自身得タル所ノ權利ヲ失フカ否ヤト云フコトニ關係致スノデ
ゴザイマス、故ニ今日議會モ切迫致シテ居リマス場合ニ於テ、長ク辯ズルモ
如何ト考ヘマスルガ、如何ニモ實ニ多數ノ人民ノ利害ニ關スルコトデゴザイ
マス、殊ニ可憐ナル細民ノ利害ニ關スルコトデアリマスルガ故ニ、一言セザ
ルヲ得スノデゴザイマス、ソコデ諸君御承知ノ通ニ地租改正ノ當時ハ、人民
ノ所有ト國家ノ所有ヲ明ニスルコトデゴザイマシテ、更ニ此土地ノ上ニ對シ
テ申シマスル所ノ使用收益權ト云フコトハ、眼中ニナカッタノデアル、諸君
ノ御承知ノ通、或ハ公租ヲ納メタモノ、質入書入等自由進退シタル證據アル
モノ、又ハ私費ヲ費ヤシテ栽培シタル證據アルモノ、斯ウ云フヤウナル極大
體ノ項目ニ從ツテ、此箇條ニ當ルモノハ民有ニスル、サモナイモノハ官有ニ
シテ置クト、斯ウ云フコトニ相成ッタノデゴザイマス、而シテ此全國ノ土地
ヲ官民ノ差別ヲ致スニ附イテ、僅ニ三箇年ノ間ニ急ギマシタガ故ニ、其間ニ
附イテ決シテ精細ナ調ハ出來ナイ、出來ズニ置キマシテ、人民ニ對シテハ、
隨分其トキノ官吏ト云フモノハ壓制モ致シタ、又人民ノ方デモ、時ノ事情ニ
通ジマセヌガ故ニ、隨分不仕合ナルコトヲ致シタコトガゴザイマスルガ、總
シテ申シマスルト云フト、政府ノ方デハ、其當時ノ地租改正ト云フモノ
モ、五箇年目五箇年目ニアルコトダガ故ニ、今日縱令間違ッテ官林ニ編入
シタリトハ云ヒナガラ、五箇年目ニハ直チニ是ガ回復出來ルコトデア
ルシ、加フルニ從來此山ニ這入ッテ薪ヲ取リ、總テノ材ヲ採ツタト云
フコトモ、官林ニナツテモ一向變ルコトハナイ、唯其官林ト云フコトノ差別
ヲ附ケルニ過ギザルト云フコトノ説明ガ多イノデ、又地方廳モソレヲ以テ遊
說シタノデゴザイマス、又人民ハ各自ノ所有ニ致シマスルト云フト、地租ヲ
納メニヤナラヌケレドモ、官ノ所得地トシテ從來ノ通使用收益出來ルナラ
バ、是ゾ誠ニ幸ヒナト云フヤウナ譯デゴザイマシテ、其當時今日ノ如ク所有
權ト云フ、權ノ字杯ハ、マダ生ジナイ時分デアアルノデアル、今コ、デ權利收
益權トカ分收權トカ言ヒマスケレドモ、其當時ニハ村持トカ個人持トカ、持
ト云フ字ガアツテ、マダ日本ノ中所有權ト云フ字モ生レナイ時分ニ、即チ判
別シタノデゴザイマスルガ故ニ、其當時ノ杜撰ナルコトハ明デアル、サウシ
テ可ナル證據アリマスルモノハ、民有ニ屬シタケレドモ、其際ニ使用收益
編入シタ中ニ於キマシテ、當時ハ官林デアリマスケレドモ、即チ權利ヲ官林ト極
ルト同時ニ、一齋ニ沒收シテシマツタノデアル、何レノ國歐羅巴ト雖モ、ガ、
皆收益權ガアツテ、之ヲ名ケテ分益權ト云ヒ、收益權分益權ノ解除法ト云フ
法律マデアツテ、更ニ是等ノ權利ト云フモノヲ、徒ラニ失ウヤウナコトハ、
ドンナ壓制ナ國デモナカッタノデアリマス、デ、山地ノ人ハ、其事情ヲ御承
知ナクンバ、試ニ山地以外ノ海濱ニ御住居ナサル御方ガ、其事情ヲ御承知ナ
クンバ、試ニ例ヲ舉ゲマセウガ、即チ海濱ニ居ル人ガ、漁ノタメニ海濱ニ家
ヲ作ツテ、其所ニ生活シテ居ルノデアル、併ナガラ地租改正ノトキニ、一朝
水面ハ公有官地ナリトシテ官地ニ編入シテ、翌日カラ私地デナイ——私有地
デナク官有地デアルカラ、是カラ自由ニ這入ッテ漁ヲスルコトハ、出來ヌ

ト規定シタルト同シコトデア、諸君、即チ官林ト云フモノニシテ置イテ、其所ヘ嚴重ナル法律ヲ以テ、鐵柵ヲ設ケタニ過ギザルモノデ、斯ノ如キ有様デアツテ、殊ニ甚シキモノハ、年々何ノ罪人ガ多イカト云フト、皆山林ニ此何人モ地ヲ畫イテ獄ヲ爲シテ居ルコトヲ、古來ヨリ忌ム位ノニモ拘ラズ、忍ンデ其山ニ這入ツテ、其薪炭ヲ取リ、總テノコトニ對シテ、相俟ツテ監獄ニ這入ル、其人數ガ年々殖エテ來ルト云フコトハ、何ダト云フト、從來數百年來人民ガ持ツテ居タル所ノ收益權ヲ唯沒收シテシマツタノデゴザイマス、先刻モ工藤君ノ御話通、假ニ東北ノ或ル地方杯ニ行ケバ、子供ガ竹馬トシテ乗ル棒ノ先キデサヘモ、是ハ官林ニ入ッテ取ラナケレバナライ、物ヲ乾ス物干棹デモ、官林カラ持ッテ來ナケレバナラヌ、即チ元日ノ松節松ト云フモノモ、官林カラ取ッテ來ナケレバ、出來ナイト云フ有様ニナツタ、以前ハツレハ何ンダト云フト、ソレハ即チ人民ガ古來ヨリ自由進退ニ收益シテ居タル、即チ此法文デ委員長ノ報告デゴザイマス所ノ收益ノ權利デア、之ヲ斯ノ如キ有様ニナツテ居ルノニモ拘ラズ、少數意見者ハ、此人民ノ古代ヨリノ權利此習慣モ破リ、可憐ナル細民ノ疾苦モ顧ズシテ取ッテシマフト云フ御意見ハ、私ハ甚ダ如何ナ思召デア、カト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデゴザイマス、諸君、決シテ飛驒ノ如キトカ、總テノ山奥ハ山林——人民アツテ山林アルノヂヤナイ、山林ガアツテ其處ヘ行ッテ山稼ヲスルメニ、始テ人間ガ這入ツタ、山ガアツテ村ガ出來タ、村ガアツテ山ガ出來タノデハナイノデアル、諸君、其處ニ至ッテ今申ス通、丁度海岸ニ在ッテ漁ヲ禁ゼラレタト同シコトデ、吾々モ此法律ニ於テ無理ニ其權利ヲ主張スルノデナク、從來ヨリ成績慣行上斯ノ如キ習慣ノアツタモノ、又ハツレダケノ證據ノアツタモノハ、此法律デ其權利ヲ認メテヤリタイト云フニ過ギザルモノデゴザイマス、願ハクハ最モ公平ナル法文ニ出來テ居リマス所ノ委員長ノ報告ニ御賛成アラシコトヲ希望シマス、デ之ニ準ジマシテ、私ハ茲ニ尙ホ立派ニ委員長ノ報告ガ——修正ガ出來テ居リマスガ、ソレニ對シテ聊カ不備ヲ茲ニ補ヒタイト云フ——修正ガアリマス、ソレハ國有土地森林原野下戻法案トゴザイマス、中ノ「國有」ト云フ二字ヲ去ルコト、第一條ニ國有土地森林原野下戻法中ニ地租改正又ハ社寺上地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ「現ニ國有ニ屬スル」ト云フ此八字ヲ削除スルノデゴザイマス、此他ハ此法案中ニ「主務大臣」トゴザイマスノ「農商務大臣」ト改メタイ、斯ウ云フ意見デゴザイマス、何ガ故ニ「現ニ國有ニ屬スル」ト云フコト、國有土地森林原野下戻法ニ付イテ「國有」ト云フ二字ヲ去リマシタ所以ハ、外デハゴザイマセヌ、諸君モ御承知ノ通先刻モ申上ダタ通ニ、此下戻ト云フモノハ、地租改正ノ殘務デアツテ、大藏省ヨリシテ內務省ニ移タノデゴザイマス、內務省ヨリ農商務省ガ確カ明治十四年ニ新設ニナリマシタトキ、其事務引繼トシテ矢張地租改正ノ殘務トシテ、農商務省ニ引繼イダ仕事デア、其仕事ヲコ、ニ今法文ニ掲ゲタノデアル、故ニ國有ノ土地トカ、原野トカ云フモノヲ權利ニ依ツテ、人民ニ下戻スト云フコトハ、今ノ農商務ノ官制ノ中デハ出來ナイノデア、若シモ之ヲ酷ニ論ジタナラバ、農商務大臣ハ何ノ官制ニ依ツテ、斯ノ如キコトヲスルカ、何ノ權限ニ依ツテ今日マデ斯ノ如クシタト云フコトヲ酷ニ云ツタラ答メテモ宜イノデア、サリナガラ議會デモ官制以外ノコトヲシテ居ルニモ拘ラズ、

之ヲ答メナイ、又國民モ之ヲ默諾シテ居ル、政府モツレヲ承認シテ居ルハ、外デモアリマセヌ、即チ地租改正ノ殘務デアツテ、唯臨時ノ仕事デ、斯様ニ引續イデ斯ノ如ク殘務ガ三十年近ク續イタノデア、サウレテ官有地ニ編入サレタモノハ、如何ニナツタカト云フト、此間明治二十二年議會ノ開ケマシタ前年ニ於テ、其一部分ハ帝室ノ御料ニ編入サレシマツタノデゴザイマス、私ガ茲ニ修正スル所以ハ「現ニ國有」ト云フコトヲ入レシマスト、法律ノ上デハ一ノ議論ヲ私ハ持ッテ居リマスガ、稍、今ノ帝室ニ屬シテ居ルモノハ、此以外ニ在ル如ク、法律ヲ解スルカノ過ガゴザイマスルガ故ニ、是ダケノ八文字ヲ抜カス所以デア、ソレデ其當時ハ如何デアツタカト云フト、此議會ノ開ケマス前ニ官林ノ幾部分ヲ帝室ノ御料ニ屬スルコトヲ總テノ調查ニ附キマシテ、其當時ニ內閣ヨリシテ、森林原野調查委員會ト云フモノガ出來タノデゴザイマス、其當時ニハコ、ニゴザル所ノ司法次官ノ小松原英太郎君モ、矢張其委員ノ一人デアツタ、本員モ矢張其當時ニ在官シタ一人デアツテ、調ベテ井上伯ガ而モ委員長デアリマシタ、其トキニ種々ノ議論モゴザイマシタ未ニツヒ、此富士ノ麓リ、岐阜縣ト愛知縣、靜岡縣ソレカラ神奈川縣、東京府ノ一部分、山梨縣、長野縣、一部分、諸リ富士ノ麓リノ周圍ト云フモノニアル所ノ森林原野、其當時農商務省ニ屬シタモノヲツクリ御料ニ屬セシメタノデアリマス、此屬スルキニ方ツテハ、此中ニハマダ地租改正ノ當時ニ誤ツテ官林ニ編入セラレタル所ノ人民ノ原野等モアルガ故ニ、是ハ其儘ニ屬シテシマツタナラバ、他日累ヲ帝室ニ及スノミナラズ、又人民ガ願ツテ來タモノヲ悉ク帝室デ御許ニナル譯ニハ往クマイシ、或ハ御許ニナラヌケレバ、帝德ガ聊カ關係ヲ來スガ故ニ、清淨無垢潔白ナモノニシテ、始テ御料地ニ之ヲ所屬セシメタガ宜カラウト云フノ議論ニナツタノデアリマス、然ルニ翌年ニハ即チ帝國議會ヲ開クト云フ曉デゴザイマスルガ故ニ、其儘帝室ニ屬シテ置イテ、而シテ其下戻等ノコトヲ出願アツタトキニ、是ハ行政處分デアラシテ、矢張農商務デ此事務ヲ取扱ツテ吳レタラ宜カラウ、他ノ官林モ同ジク、全體皇宮附屬地御料地ト云フモノハ、明治七年十一月ノ百四十三號カノ太政官布達土地名稱區別ニ依ルト、皇宮地ト云フモノハ、矢張官有地ニ屬シテ居ルノデア、故ニ法律上更ニ差支ナイガ故ニ、是ハ行政處分、其處分ヲ取扱ツテ吳レタラ宜カラウ、寧ロ帝室モ其コトヲ希望スルト云フノデ、時ノ肥田濱五郎ト云フ人ガ居リマシテ、詰リ其コトニ依リマシテ、マダ官民區別ノ判然シナイモノマデモ籠メテ、之ヲ帝室ノ御料ニ屬セシメタノデゴザイマスルガ故ニ、二十三年以來御料地ニ屬シテ官林ノ一部分、是ダケヲ御料地ニ屬シタト云ヒナガラ、昨年マデ一向他ノ官林ト差別ナク、矢張其下戻ノ出願等ハ農商務省デ取扱ツテ、官林同様に戻シテヤルコト云フコトモ、歴史カラ言ヒマシテモ、御料ニ屬スル抑、始カラト云ツテモ亦法律面ニ於キマシテモ、明治七年ノ布告カラ見マシテモ、斯様ナモノナルニモ拘ラズ、此所ヘ持ッテ來テ、單ニ「國有」ト云フコトニ致シテ見マシタラ、如何デアルカト云フト御料ノ森林土地原野ト云フモノハ、此中ニ屬セヌコトニ相成ツテシマフノデゴザイマス、サウ致シマスルト云フト、此地租改正ノトキニ、隨分殘酷ナル調ヲ受ケ、殘酷ナル處分ヲ受ケタル一府六縣ノ人民ハ、此法律ガ出來マシテ、他ノ人民ハ權利ヲ伸バスコトガ出來ルケレドモ、此一府六縣ノ人民ハ、爲ニ非常ニ權利ト云フモノヲ失ツテシマヒ、利益モ失ツテシマフノデ

アル、是ハドウカ一ツ御考ヲ願ヒタイモデゴザリマス、或ハ謂フ、ソレハ宮内省へ願フタ宜カラウト云フ人モゴザリマスガ、宮内省へ願フトキハ唯哀願的デアル、ドノヤウナコトヲサレマシテモ、行政廳デゴザリマセヌガ故ニ、人民ガ行政廳へ訴ヘテ出ル程ノ權利ハナイ、サレバ民事訴訟ハ如何、諸君既ニ今日マデ例ガゴザリマス、大審院ノ判決例モアル、帝室へ對シテ訴ヲ起スト云フ明文ガナイガ故ニ、此日本臣民ハ此コトハ裁判所デ採上ゲヌノデアル、地租改正ノトキニ勝手ナナコトヲシテ、之ヲ訴ヘントスルニモ法律ハナシ、如何デゴザイマス、其コト、云フモノハ隨分御考ヲ願ハニヤナラヌコトデアル、ソレカラシテ人ハ或ハ謂フ、是ハ帝室デハ相當ナル所ノ矢張ニ似寄ッタヤウナ省令デモ御發布ニナツテ、ソレカラ其民願ヲ取上ゲルダラウト云フコトヲ言ハレマスガ、是ハ私ハ帝室ノタメニモ取ラナイ、何故ト云ヘバ、人民ガ安堵スルノハ、即チ權利デアル、或ハ曰フ慈善的ノ御取扱ト、併シ慈善ト權利トハ、決シテ混同ハ出來ナイ、權利以上ヲ與レタキニ、其餘分ガ慈善ニナルダケデ、權利ト慈善トハ、混同ハ出來ナイ、加之ナラズ人民ガ願ッタル場合ニハ、ドウカト云ヘバ、願ヒマスルカラニハ、銘々多少ノ證左ガアル、是ハ吾權利ナリ、是ハ我所有ナリ、我權利ニ屬シタルモノト云フコトヲ確信シテ願フノデアル、願ッタルトキニ當ッテ他ノ行政廳デハ、法文ニ依ッテ願フ趣聞居難シ、出シタ者ハソレヲ以テ行政裁判所ニモ行クコトガ出來ルシ、自ラ人民ハ安ズルデアリマスガ、宮内省ニ願フ場合ニハ如何デアルカ、帝室デ悉ク願フ許可シテ、民願ヲ採リマシタナラバ格別、若シ之ヲ許可シナイハ、人民ハ如何ナル考ヲスルカ、斯ノ如キ證左ヲ持チ、斯ノ如キ權利ヲ持ッテ居ルノニ、唯森林原野ヲ帝室ニ奪ハレテシマフ、立所ニ累ヲ帝室ニ及シマス、而モ地方ノ人民ハ、日常眼ニ觸レテ居リマス森林原野、朝ニ晩ニ往來致シテ居ル所ノ森林原野ヲ帝室ニ編入サレテ以來、吾々ハ權利ヲ伸張スルコトモ出來ズ、空シク斯様ニシテ居ルト云フコトニナツタナラバ、取リモ直サズ此法律ガ御料ト云フモノヲ拔カシタ曉ニハ、帝室ニ對シテ怨府ヲ此處ニ作出スト云フコトニナル、細民ハ詰ル所帝室ヲ御怨ミ申サユウニナリ、又御怨申スガ當然ノコトニナツテシマフ、是ハ法律以外ニ於テ、私ガ大イニ心配スル點デゴザイマス、斯ノ如クナルガ故ニ委員會ニ於キマシテモ、委員ノ資格デハイケマセヌガ、衆議院議員ノ資格トシテ、帝室ニ敬禮ヲ盡ス所ノ誠意トシテ、宮内大臣ヲモ此同志ト訪問ヲ致シテ、其不利益ナルコト、又此處へ國有ト云フ字ヲ拔カスカ、若クハ「現ニ御料若ハ官有ニ屬スル」ト云フ文字ニシテ煩シイト云フコトヲ、私ハ一己トシテ同意ヲ求メタノデアリマス、併シツレハ議員ニ對シマシテ意見ノ可否ヲ言フコトハ、出來スト云フコトノ御斷デ、ソレモ御尤デアアル、何故斯ノ如キモノデアアルカ、帝室デハ其深意ヲ察シマスルニ、矢張其方ヲ喜ブモノ、如ク私ニハ察セラレタノデアリマス、併シ農商務省ニ於テハ、是ハ至ッテ拒ンダ、拒ンダ上ニ其口實トスル所ハ、重ニ帝室デツレハ迷惑ダト云フコトデ、帝室ノ方ノ同意ヲ得ヌカラ、之ヲ御料ノ國有ト云フコトヲ拔カスコトハ出來ナイト云フ農商務大臣ノ話デスガ、是ハ其意ヲ得ヌ話、ナゼト云フナラバ、昨年マデハ帝室モ其コトヲ二十三年以來合意満足ヲシテ、此下戻ノ御料ニ屬スルコトヲ農商務ニ取扱ハセテ居ッタノデ、昨年ノ三月ニ至ッテ便利上——便利上デハゴザイマセヌ、宮内省ト喧嘩

ヲ致シタノデゴザイマス、露骨ニ私ガ御話ヲシタナラバ、帝室ニ屬シテ居ル官林ヲ拂下ゲタ、所デ、農商務デハ拂下ゲル程不必要ナラ、此方ニ御返シナサイト云フコトヲ、農商務省カラ言ウテ往ッタ、ソレヲ還ストカ還サヌト云フノ喧嘩ガ始マツタ、ソレカラ後ハ農商務トノ喧嘩ニナツテ、農商務デハ、爾來宮内省ノ分ハ取扱ハヌト云フコトヲ言ッタルトキニ、宮内省デハ、從來ノ如ク矢張行政廳ノ農商務デ取扱ッテ貰ヒタイト云フコトヲ確ニ言ッテ來タノデアル、然ルニ農商務省ハ其後省令第十二號ヲ發シテ、之ヲ宮内省へ叩キ附ケテシマツタ、ソレ故ニ此下戻ハ、民願ノ如キモノ一府六縣ノモノハ、十有餘年モ農商務ノ机ノ上ニ調ベラレテ居ッタモノヲ、一時ニ之ヲ下戻シテ擲附ケテシマツタト云フコトニ相成ッテ居ル、其深意ヲ言フト、政府ハ之ニ不同意ヲ表スルノハ、農商務ト宮内省トノ喧嘩ガ本デアツテ、其喧嘩ガ本デ斯ウ云フ馬鹿ナモノニナツテ來タ（恆松隆慶君）宮内省ノコトヲ言フハ大概ニシ給ヘ（ト呼フ）甚ダ私ハ此關係上土地改正ノ當時カラシテ、歴史スノ如キ慣行モアツタニモ拘ラズ、此法文ヲ以テ一府六縣ノ人民ノ權利ヲ殺イデマフ、實ニ出願スルノ權利ヲ殺グノミナラズ、是ニ關シテハ、即チ行政訴訟モ普通ノ民事訴訟モ出來ナイト云フ程ニ酷薄ナル法律案ヲ出スト云フノハ、少シク御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ガ私ノ提出案ヲ出シタル所以デアリマス、願クハ諸君、マダ十分ニ申シタウゴザイマセケレドモガ、大分長クナリマスカラシテ、是デ私ノ論旨ヲ止メマスガ、尙ホ簡短ニ申シマスルト云フト、此國有ト云フ字ヲ去リマス、ソレカラ現ニ國有ニ屬スルト云フ字ヲ去リマスレバ、即チ誤ッテ官林ニ這入ッテ、ソレガ誤ッテ帝室ニ這入ッタルモノハ、順繰ニ本ヘ直シテ來ルト云フニ過ギマセヌ、ソレカラ法律中ニ主務大臣トアリマスガ、之ヲ存シテ置ケバ、宮内大臣ニモナリマスガ故ニ、是ハ明ニ農商務大臣ト修正致シタル所以デアリマス、斯ノ如キ甚ダ權利ニ關スルコト大ニシテ、歴史上ノ關係モ多ウゴザイマス、私ノ十分盡シ得ラヌ所ハ、宜シク御推察アリマシテ、此修正案ニ御贊同アラシコトヲ偏ニ希望致シマス

○大岡育造君（四十五番） 今ノ演說者ニ質問ガアル——中村君ノ御修正ニ依リマス、現在國有デナイモノデ、元ト緣故ノアツタモノハ、皆取戻スト云フノ御意見デアリマスカ

○中村彌六君（百四十番） イヤ、サウザヤゴザイマセヌ

○大岡育造君（四十五番） アナタノ今ノ修正ノ意思ハ、現ニ國有林デナクテモ、宮内省ノ領地ニナツテ居ルモノモ、矢張國有ト云フ字ヲ取除ケバ、取戻スコトガ得ラレルト云フノデゴザイマスカ

○中村彌六君（百四十番） 左様デゴザイマス、其前ニハ地租改正ノ當時ニ官林ニ編入セラレタト云ウヤウナコトモアルノデス

○大岡育造君（四十五番） 宮内省ノモ取戻シ得ラレルト云フ御考デスカ

○中村彌六君（百四十番） 左様デアリマス

○大岡育造君（四十五番） モ一ツ宮内省デハナク、政府ノ所有ニ歸シテ居ル間ニ拂下ラシタモノモアラウト思ヒマス、ソレカラ若クハ宮内省ニ移ッテカラ、拂下ラシタモノモアラウト思ヒマス、其拂下ノトキニ買受ケタモノ、若クハソレカラ轉讓シタルモノニモ及ブデアリマスカ

○中村彌六君（百四十番） 左様デゴザイマス、總テ法律面デツレニモ及ブ積

デゴザイマス、現ニツレガ實際ニ政府デ、福岡縣杯デ士族授産金ノトキニ誤ッテ拂下ゲタモノヲ、ツレガタメニ代地ヲヤッタノデアリマス、政府ハ從來サウ云フ方針ヲ取ッテ居リマスルノデアリマス

○大岡育造君(四十五番) サウスルト又ハ上木ト云ヒマス、木ナンドノ生ヘタノ伐ッテ拂下ゲタヤウナモノモ、其代ヲ取戻スヤウニナリマス

○中村彌六君(百四十番) 木ト云フモノハ、サウヂヤゴザイマセヌ、元來日本ノ何デゴザイマス、木デゴザイマシテ植付ケタルモノハ、矢張從來ノ何デゴザイマシテカラニ、矢張木ヲ伐採シテ、シマヘバツレ限リニナッテ居リマス

○大岡育造君(四十五番) 其方ハ宜シ、ツレデアナタノ國有ニ屬スルト云フ字ヲ除ケバ、法律上宮内省ノ所有ニナッテ居ルモノヲ、取ルコトガ出來ル權利ガ、ドウシテ生ズルカ

○中村彌六君(百四十番) 何ゼト云ヘバ、誤ッテ官林ニ編入サレタモノヲ、即チ私ノ所有トスベカラザルモノヲ、私ノ所有ト誤ッテシテ、之ヲ大岡君ノ所有ニ移スト云フノデ、元ニ戻スニ過ギナイ

○大岡育造君(四十五番) ツレガ其三者ノ承諾ナシニ行ケマス

○中村彌六君(百四十番) サウデス

○大岡育造君(四十五番) ツレハ結構デアリマスガ、私ハ全ク反對致シマス

○中村彌六君(百四十番) ツレカラシマヒノ法律ノ文面ヲ見レバ分ルガ、之ヲ下渡シタキハ、國ノ權利義務ヲ承繼スルト云フコトデ、國ト約シタモノノ權利義務ヲ承繼シタラ、更ニ差支ナイト思フ

○議長(片岡健吉君) 政府委員藤田四郎君

(政府委員農商務次官藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 國有土地森林原野下戻法案ニ附キマシテ、工藤君中村君カラ御意見モゴザイマス、又委員長ノ御報告モゴザイマシタガ、是ニ附キマシテ一應政府ノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、政府ハ本案ノ委員會ニ於テ議シテ、トキニ當リマシテハ、勉テ委員ノ御意見ニ協フヤウニ成ルダケ譲歩ヲ致ス方針ヲ取リマシテゴザイマス、然レニ委員會ニ於キマシテハ、十分ノ協議モ纏リマセヌニ、議事ガ詰ラ致シマシタ、メニ、茲ニ少數者ノ意見モ出マシタノデゴザイマスガ、少數者ノ意見ニ附キマシテハ、出水君カラ先刻御演説モゴザイマシタガ、此案ハ大體政府ノ同意スル所デゴザイマス、少數者ノ意見ハ、略、同意致ス所ノ事柄デゴザイマス、此中ニ拂下下附ト云フコトガ、二條ノ中ニアリマスガ、是ハアッテモナクテモ同ジコトデ、其次ノ賣買譲與ト云フ中ニ這入リマスカラ、ナクトモ宜イト思ヒマスガ、大體ニ於テ出水君ノ演説ニ同意ヲ致シタイト思ヒマス、其點ハ丁度即チ委員長ノ報告ニ御賛成ガゴザイマシタガ、工藤君ニ正反對デ、此問題タル既ニ諸君ニ於テモ、十分御了解ノコトデゴザイマスカラ、敢テ長ク反對ノ意見ヲ述ブル必要モナイト思ヒマス、唯工藤君ノ演説ニ附イテ一言申上ゲテ置キタイノハ、地租改正ノトキニ當リマシテ、廢藩置縣カラレテ僅ニ數年ノトキデゴザイマシテ、當時ノ地租改正ノ事務ニ從事スルモノハ、殊ニ工藤君ハ、能ク御承知デゴザイマセウガ、ツレハ舊藩ノ事情等ヲ十分辨ヘテ居ル官吏デアッテ、ソレガ處分シタノデゴザイマス、故ニ先刻ドナカ御話ガアリマシタガ、收益

權ト云フ理窟ヲ知ラナカッタト云フ論ガアリマシタガ、事實ニ於テハ能ク承知シテ居ッタガ故ニ、其處分スルニ於テモ、勿論其人ニ依ッテ寬嚴ハナイトハ申サレヌガ、大體ノ方針ハ、中央政府ニ於テ極メタモノデ、ツレニ依ッテヤッタノデアリマスカラ、決シテ非常ナ無理ヲシタコトハナイト信シテ居リマスガ、要スルニ當時ニ於テハ、ツレ等ノコトヲ辨ヘテヤリマシタ、且其數年ノ慣行成績ニ附イテ、民有ノ事柄ヲ認メ得ラル、コトハ分リ易イガ、今日三十年モ經チマシタ今日ニ於テハ、其證據ヲ舉ゲルト云フコトハ困難デアリマス、隨ッテ成績慣行ヲ見ルコトガ、非常ニ困難ナル感ズル、普通ノ時効ニ於キマシテモ、三十年ヲ經レバ、所有權ハナクナルモノデアルカラ、斯ノ如キ處分ヲサレタモノニ附キマシテハ、固ヨリ官民有區分デアリマスガ、元ト特典ニ出タモノト信シテ居リマス、故ニ今日ニ至ッテ證據ノナイモノニマデ與ヘルト云フコトハ、決シテ往カナイコト、思ヒマス、又收益ノコトニ附キマシテ長クハ申シマセヌガ、是ハ今日ニ於キマシテ、勉メテ地方ノ事情ニ協フヤウニシタイ、國有林野法ノ委託緣故拂下ハ、ツレハ道ヲ以テ此法律ヲ當議會ガ通過シタ上ハ、其御趣意ヲ貫徹スルヤウニ致シタイト思ヒマス、次ハ中村彌六君カラ段々ノ御話モアリマシタガ、唯今工藤君ノ御述ノ外ニ御議論ノアリマシタモノハ、御料地ノ問題デゴザイマス、即チ法律案ノ中國有ト云フ字ヲ除キ、又現ニ國有ニ屬スルト云フコトヲ取ルト云フコトデゴザイマスガ、是ハ委員會ニ於テ數回御相談ヲ致シマシタ、又當時委員會ノ御希望ニ依ッテ、宮内省ト協議ヲ致シマシタ所ガ、宮内省ニ於テハ、此法律ニ入ルコトハ困ル、斷ルト云フコトデゴザイマシタ、併ナガラ一度二度ナラバ御話シタ所ガ、委員ノ方デ私ニ行カレタ結果、又交渉シタ所ガ同様ノコトデ、御斷ヲナスツタ譯デゴザイマス、ツレデ宮内省ニ於テハ、農商務省ガ聞及ビマシタ所ニ依レバ、此法律ガ成立シタ上ハ、是ニ準ジテ相當ノ規定ヲ立テ、ツレ道ヲ盡スト云フコトデゴザイマス、國有ニ屬セナイ地所ヲ政府ガ下戻スト云フコトハ、實際ニ出來得ラレナイ事柄デゴザイマス、ツレヲ致スニ附イテ云々ト云フ御話ガゴザイマシタガ、免ニ角御料ノ如キハ他ニ移リマシタモノデ、況ヤ世傳御料ノ如キモノモ出來テ居ル場合デアルカラ、イヅレ宮内省デハ、特別ノ御仁惠ニ依ッテ、地方デ困ルコトノナイヤウニセラル、ハ、確信シテ居リマスカラ、少數者ノ御意見ニ賛成アッテ、本案ノ成立セラレンコトヲ希望致シマス

○星野助左衛門君(百五番) チョット質問ガアリマスルガ、此墓地ト云フモノハ、固有土地ト云フモノニ這入リマス、原野ニ這入リマス、或ハ此法律案ニハ含有シテ居ナイカ……

○政府委員(藤田四郎君) サウ云フ場合ガアリマスレバ、土地ノ中ニ這入ルト思ヒマス

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 採決シヤウト思ヒマス、順序ハ斯クシヤウト思ヒマス、中村君ノ修正說ヲ第一ニ採決シテ、其次ニ委員會ノ修正、其次ニ少數者ノ意見、其次ニ原案、斯ウ云フ順序ニ採決シヤウト思ヒマス

○星亨君(二百二十四番) 中村彌六氏ノ修正說ハ……

○議長(片岡健吉君) 中村彌六氏ノ修正說「國有」ト云フ字ヲ削リ、尙ホ「現

ニ國有ニ屬スル」ト八文字ヲ削リ「主務大臣」ト云フヲ「農商務大臣」ト云フコトニ修正シヤウト云フノデアリマス

○星亨君(二百二十四番) 其次ニ少數者ノ意見ニ附イテ、決ヲ採ル譯デアリマス

○議長(片岡健吉君) 其次ニ委員會ノ報告ヲ採ルノデ、少數者ノ意見ハ、原案ニ近イデアリマス、念ノタメ修正說明讀サセマシテ、採決ヲ致シマス

(寺田書記官朗讀)

國有土地森林原野下戻法修正法案

一國有土地森林原野下戻法トアル「國有」ノ二字ヲ削除シ土地森林原野下戻法ト改ム

第一條 第一行ノ「地租改正又ハ社寺土地處分ニ依リ官有ニ編入セラレ」ノ次ニ「タル」ノ二字ヲ加ヘ「現ニ國有ニ屬スル」ノ八字ヲ削除ス

○星亨君(二百二十四番) チョットドウデモ宜イヤウデスガ、規則ニ依ルトドウモサウ云フヤウナ決ノ採リヤウハ、ドウデアラウカト私ハ考ヘルノデア

ル、委員會ノ修正ハ、ドウモ矢張後トニ御採リニナラナケレバナラヌト考ヘルノデスガト、云フコトハ、規則ニハアルノデス、ドチラデモ宜イノデスケレドモ、後トデ議論ガ起ルト、ドウデアラウカ……

(此時「議長」ノ宣告通ニテ宜イ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 議長ハ、少數ノ意見ハ原案ニ近イモノデ、委員會ノ修正ハ、原案ニ遠イモノデアルカラ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 中村彌六君ノ修正說ニ附イテ、採決ヲ致シマス、中村彌六君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、次ハ委員會ノ修正說ニ附イテ、採決ヲ致シマス、委員會ノ修正說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、少數者ノ意見ニ附イテ、採決ヲ致シマス、少數者ノ意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、少數者ノ意見通ニ決シマス、次ハ第二條ヲ議題ニ供シマス

○星亨君(二百二十四番) ドウデスカ、後トハ少數者ノ意見デ、異議ナイト云フコトニ致シテハ……

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ツレデハ全部ヲ議題ニ供シマス、少數者ノ意見通デ、御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、共通決シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 是ハ二讀會デ、種々長タラシイ説モアリマシタガ、モウ極リマシタカラ、直チニ……

○議長(片岡健吉君) 此修正ノ結果デ、條數ハ改ッテ居リマスガ、是モ御異

議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、共通決シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ附イテ、御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

國有土地森林原野下戻法案 第三讀會

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ、御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、確定シタルモノト認メマス、此際ニチョット御諮リスルコトガアリマス、小山久之助君ガ病氣ニ附イテ、家祿引直法案ノ特別委員ヲ辭任セラレマシタ、是ハ許可シテ御異議アリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 是ハ議長ノ指名ニ成立ッタ委員デアリマスカラ、其後任ハ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 然ラバ關直彦君ヲ指名致シマス、議事日程ノ第六、水難救護法案第一讀會ノ續——加藤六藏君

第六 水難救護法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

○加藤六藏君(四番) 私ハ水難救護法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテハ、役員ヲ選舉致シマシテ、加藤六藏ガ委員長ニ當選シマスルシ、山田武君ガ理事ニ當選致シマシタ、此本案ヲ審查協議致シ

マシタ所ガ、其結果第二十二條ノ二項「市町村ニ於テ海軍軍艦云々」ト云フ、此一項ヲ削除致シマシテ、餘ハ原案デアリマス、サウシテモウ一ツ諸君ニ御報告致サネバナラヌノハ、第十一條ノ第三項ノ保管ノ費用其物件ノ價格ト云フ此「格」ノ字ハ「額」ト云フ字ガ書イデアリマスガ、是ハ「價格」ト云フ木屑

ニ各ト云フ「格」ノ字ニセネバイケヌカラ之ヲ修正致シマシタ、是ダケデアリマシテ、餘ハ皆原案ヲ贊成デアリマスルカラシテ、此段ヲ御報告致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 直チニ本案ハ、二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君カラ、直チニ第二讀會ヲ開カウト云フ勸議ガ出マシタガ、異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

水難救護法案

第二讀會

○恆松隆慶君(九十七番) 全部議題ニナリマシタカ
○議長(片岡健吉君) 是ハ全部議題ト致シマス

(鈴木總兵衛君演壇ニ登ル)

○鈴木總兵衛君(百四十五番) 本案ノ第二十四條ニ附キマシテ、修正ノ意見ガアリマシテ、是ハ前島丈之助君カラ提出ニナリマシテ、私ハ贊成者ノ一人デアリマスガ、提出ノ理由及贊成ノ理由ヲ併セテ此處テ述ベマス、此第二十四條ノ第二項ノ「前項但書ノ場合ニ於テハ拾得者ハ所有者ヨリ」トアリマス、其下ノ「其ノ物件ノ價格三分ノ一」トアル文字ヲ削リマシテ、之ニ代フルニ「漂流物ニ在リテハ其ノ物件ノ價格ノ十分ノ一」トシテハ其ノ物件ノ價格ノ三分ノ一「ト云フ文字ヲ加ヘマス、是ハ原案ノ趣意ハ、漂流物並ニ沈没品共ニ三分ノ一以內ト云フノ規定ニナリテ居リマス、當局者ニ於テモ斯ウ制限ヲ定メテ置ケバ、五分ノ一ニシヤウガ、或ハ十分ノ一ニシヤウガ、其場合ノ動キ次第デ、イヅレトモ出來ル、決シテ是デ差支ナイト云フノ答辯モアリマシタケレドモ、吾共ノ考フル所デハ、ソレハ甚ダ空漠タルコトニシテ、實際ニ於テ大イニ差支ヲ生ジマス、現ニ自分等ガ此事ニ當ツタ難破船其他ノコトニ附キマシテモ、随分非常ナ迷惑ヲ被ツタコトガ、往々實例ガアリマス、是ハ自分ノミナラズ全國——到ル所サウダラウト思ヒマス、因テ漂流物ト沈没品ハ、區別ヲ明ニ定メテ置ケ方宜イ、斯ウ信ジタ理由デアリマス、尙ホ附ケテ申シマスガ、幸ニモ諸君ノ御贊同ヲ得マシテ、此修正説ガ成立シタ以上ハ、是ニ伴フ結果トシテ、第二十七條第一項「所有者ハ」ノ下及第二項「拾得者ニ」ノ下「物件ノ價格三分ノ一ニ相當スル」ヲ第二十四條ニ定メタル報酬ト改正致シタイト云フ考デゴザイマス

○恆松隆慶君(九十七番) 川デモ海デモサウデスカ

○鈴木總兵衛君(百四十五番) 尤モ其考デス

○恆松隆慶君(九十七番) 唯今ノ修正説其他ハ、委員ノ報告通宜カラウト思ヒマス、ドウカ決議ナサレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君ハ、此二十四條及二十七條ニ附イテハ鈴木總兵衛君ノ修正通り、其他二十二條ノ二項ハ委員會デハ削除シテアリマシタ、其通テ御異議ガアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 直チニ三讀會ヲ開イテ、確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ、御異議ハアリマスマイカ

第六 水難救護法案

第三讀會

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ、御異議ハアリマスマイカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、確定シタルモノト認メマス——議事日程ノ第七、家祿賞典處分法施行法案第一讀會ノ續、委員長ノ報告、演名新平君

第七 家祿賞典處分法施行法案(政府 第一讀會ノ續(委員長 提出))

(演名信平君演壇ニ登ル)

○演名信平君(百八十二番) 家祿賞典處分法施行法案ノ委員會ハ、二回程開キマシテ審査討論ノ末ニ、原案ニ決シマシテゴザイマス、其大體ヲ御報告致シマスレバ、第一條カラ第七條マデノ中デ、第一條ニ附キマシテハ、大イニ議論ノアラバ、第一條トゴザイマス、ソレカラ第二條以下ニ至リマシテハ、一ツモ議論ガナイ、原案ニ決シマシタ、此第一條モ原案ニ決シマシタケレドモ、是ニハ議論ノアラバ、第一條トゴザイマス、大體諸君ニ御報告ヲ致サウト思ヒマス、此項ニ附マシテハ、第一項削除説ガゴザイマシテ、其削除ノ精神ト云フモノハ、五十號ノ法律ト此第一條ノ法律トヲ照合セルト云フト、寧ろ五十號即チ昨年發布セラレタ所ノ五十號ノ法律ノ精神ニ背ケルト云フ精神カラシテ、第一條ヲ削ルト云フ反對ノ論ガアルノデアリマス、又原案ヲ維持スル方カラ申シマスレバ、敢テ五十號ノ布告ニ悖ルテ居ラヌト云フ所カラ致シマシテ、可否同數デゴザイマス、委員長ノ意見ヲ以テ原案ニ決シタノデアリマス、抑、此ノ原案ヲ贊成シマスル所ノ多數ノ者ヨリ見マスレバ、法律五十號ノ精神ニ背ケルト云フコトハナイノデアリマス、何故ニ法律五十號ノ精神ニ背ケナイカト云ヘバ、第一昨年發布セラレタ五十號ノ法律ノ精神ト云フモノハ、不當處分或ハ錯誤ノ處分等ヨリ不幸ヲ被ツタ所ノ問題ニ對シマシテ、處分ヲスト云フ精神ノデアリマス、然ルニ此第一條ノ法律ヲ能ク見マスルト云フト、各藩制度即チ最後ニ定メタ各藩ノ制度ト云フモノハ、如何ナルモノカト申シマス、是ハ即チ舊藩士ガ藩制施行以後ニ於キマシテ、ソレヲ一般ノ政令ニ基キマシテ、藩債ノ家祿ヲ改正シ或ハ調査致シマシテ、新政府ニ正當ノ手續ヲ致シタモノヲ以テ、其藩ノ制度ト云フモノデアリマス、スカラ、廢藩置縣以前藩制施行以後ニ其僅ノ一箇年内外ノ所デゴザイマシテ、一般ノ政令ニ基キテ藩制ノ改革ヲ正當ノ手續ヲ經テ新政府ノ認可ヲ得テ、或ハ新政府ガ之ヲ相當ノ處分ト認メタモノハ、其藩ノ制度ト云フコトハ、致方ガナイノデアリマス、之ヲ不當處分ト云フコトハ、反對論者ト雖モ言ハレヌノデアリマス、デゴザイマスマスカラ、此案ニ附キマシテ第一、五十號ノ精神ニ背ケルト云フコトハナイノデアリマス、又第二ニハ、抑、此五十號ノ法律ノ精神ト云フモノハ、藩制施行ノ當日ノ祿高ヲ以テ起點トスル、是ニ動キノアツタモノハ、即チ處分シナケレバナラヌト云フ反對論者ノ趣意デゴザイマスケレドモ、ソレハ五十號ノ法律ノ提出者當時ノ考ハ、サウデアツタカ知ラヌケレドモ、抑、此五十號ノ法律ト云フモノハ、衆議院ニ提出ニナリテ、是ガ貴族院ニ行ツテ修正ヲ加ヘラレタモノデアリマス、貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘタ所ノ趣意ト云フモノハ、衆議院ノ提出者ノ提出シマシタ所ノ趣意ノ末ニ持ツテ參リマシテ、斯ウ云フコトガアル、明治四年七月二十四日祿高ニ關スル太政官布告ニ依リ調査シタ以後ノ祿高及其調査以前ニ係ル藩制施行以後ノ祿高ニ錯誤アルトキハ、本法施行ノ日ニ於テ之ヲ給與スルト云フ

ノデアリマシテ、抑、此藩制施行ト云フコトハ、藩制ヲ發布セラレタ九月十四日、其日ガ藩制ノ施行サレテ居ラナイデアリマス、藩制施行ハ九月何日カデアリマスケレドモ、抑、此藩制ノ實行ト云フモノハ、十月カ十一月カ、或ハ又明治四年ニ亘ッテ居ルデアリマスカラ、此法文ニ依リマシテモ、藩制施行以後ノ調査ヲ土臺トスルコト云フコトハ、貴族院ノ修正ニ於テ、既ニ衆議院ノ提出案ニ幾多ノ改正ヲ加ヘテアルノデゴザイマスカラ、私ハ此案ニ附キマシテハ、多年心配ヲシテ居ルコトデアリマスカラ、成ルベク多數ノ不幸ヲ被ッテ居ル士族デハ、復祿ノ處分ノ恩典ニ與リタウゴザイマスケレドモ、法ガ既ニ斯ノ如クナッテ居ル以上ハ、此法文ノ精神ニ基キ、又五十號ノ精神ニ觸レザル限リハ、困難ノ法案ト雖モ之ヲ可決致シマシテ、一日モ早ク復祿處分ノ結果ノ付クコトガ相當ト考ヘマス、是レ即チ多數ノ意見デゴザイマス、固ヨリ少數者ノ意見モアラウト存ジマスカ、大體可決ノ趣意ヲ御報告致シテ置キマス

○山田武君(二百九十一番) 質問ガアリマス、此案ハ明治四年七月十四日各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度デアリマス、此制度ト云フノハ、家祿ヲドノ位渡スト云フ上ニ於テダケノ意味ヲ持ッテ居ル制度ト云フノデアリカ、モウ一ツハ、此或藩ニ於キマシテ、沒祿處分ヲナシタト云フヤウナ所ガアリマスカ、ソレ等ノ處分ヲナシタモノハ、矢張此制度ト云フ意味ノ中ニ入レテアルノデアリカ、外ノ言葉ヲ以テ申シマスカ、明治三年九月カラ明治四年四月マデノ間ニ沒祿ノ處分ヲ受ケマシタ者ハ、ソレハ回復スルノ道ガナイデアリカ、ドウデアリカト云フコトヲ伺ヒタイ

○濱名信平君(百八十二番) 此制度ト云フノハ、委員會ニ於キマシテ質問ノ答ニ依リマシテ、即チ祿制ト云ウテ宜イ位ノコトデゴザイマシテ、即チ此家祿ノ調査ヲ致シマシタ制度ト云フヤウナコトニナルト云フ答辯ヲ得テ居リマス

○山田武君(二百九十一番) 續イテ伺ヒマスカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイノデス、此制度ト云フコトガ家祿何程與ヘルト云フヤウナ極メ方ト云フコトダケデアリカ、理由ナクシテ祿ヲ削イデ祿ヲ取上ゲテシマッタト云フ處分ノ仕方モ、制度ノ中ニ含ンデ居ルカ居ラヌカ、若シ制度ト云フ中ニ含ンデ居ラヌケレバ、之ヲ回復スル道ガアルケレドモ、然ラザレバ之ヲ回復スル道ガナイト云フ結果ヲ見マスカラ、其點ヲ伺ヒタイ

○濱名信平君(百八十二番) イツレハ政府委員ガ答ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマスカ、私ハ審査致シマシタカラ云ヒマスカ、即チ各藩ニ於キマシテ一般ノ政令ニ基イテ、祿制ノ改革ヲ致シマシタ所ノ即チ制度ト見テ宜カラウト思ヒマス

○山田武君(二百九十一番) 今御尋ヲ致シマシタコトハ、政府委員ニ質問致シタイト思ヒマスカ、此際御答辯ヲ願ヒタイ

(政府委員大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 唯今御尋ノ此最後ニ定メタル制度ト申シマスカ、舊藩デ家祿ノ處分ヲ致シマスカニ付キマシテ、其標準ヲ定メタモノデゴザイマス、例ヘバ舊高ガ百石ゴザイマスモノハ、改正高ヲ八十石ニスルトカ、若クハ五十石ニスルトカ、斯ウ云フヤウナ段階ヲ附ケテ減祿致シマス

ル標準ヲ定メタ、其標準ヲ指シマシタモノデゴザイマス、即チ委員長ヨリ御答ニナリマシタ如ク、言葉ヲ換ヘテ申シマスカ、祿制ナルモノデゴザイマス、ソレデ御分リニナリマスカ

○山田武君(二百九十一番) 本員ノ承リタイノハ、唯今御答ノ點ハ分リマシタケレドモ、沒祿ノ處分ヲ受ケタモノハ、此中ニ這入ルカ這入ラヌカヲ承リタイ、明治三年カラ明治四年ノ間ニ於テ士族ノ稱號ヲ取上ゲ、及家祿ヲ取上ゲテシマッタ舊藩ガアルノデゴザイマス、サウ云フ處分ヲナシマシタモノハ、即チ是ニ書イテアル制度ト云フ中ニ含ムカ否ヤト云フコトヲ承リタイ

○政府委員(松尾臣善君) ソレハ矢張正當ノ手續ヲ經テ、制度ノ中ニ加ヘテゴザイマス、其制度ニ依ッテ暇ヲ遣ハシマシタモノガアリマスカラバ、ソレハ即チ此制度ニ照シテ處分ノ出來ナイコトニナリマス

○山田武君(二百九十一番) ドウモマダ御答ノ趣意ガ分ラヌヤウデアリマスカ、ドウ云フ手續ヲ經タモノガ制度ニ這入ルデアリマスカ、モウ一應……

○政府委員(松尾臣善君) 正當ナル手續ヲ經タモノ、此制度ヲ定ムルニ附キマシテハ、舊藩主ガ獨リ定メテ獨リ施行スルノデハゴザイマセズ、其當時太政官ガゴザイマシテ、太政官ヘ伺出デ、若クハ届出デ、太政官ガ之ヲ是認シタモノガ、即チ制度トナッテ居ルノデゴザイマスカラ、其正當ナル手續ヲ經テ居リマシテ處分ヲ致シタモノハ、是ハ致方ガナイ

○武市庫太君(二百四十七番) 此第一條ノ第二項ノ政府ノ布告布達其他命令、斯ウゴザイマスカ、是ヲ譬ヘテ申シマスカ、明治四年ノ第二十九號ノ布告ニ該當シタコト、カ、又ハ其後當該官廳或ハ大藏省トカ云フヤウナ官廳ヨリ指令等ヲナシタコトガアリマスカ、サウ云フモノモ此第一條ノ第一項ニ含有スルヤ否ヤ

○政府委員(松尾臣善君) 此第一條ノ政府ノ布告布達其他ノ命令ト申シマスカ、是ハ專ラ中央政府デ祿ヲ處分ヲ致シマシタモノヲ指シタノデゴザイマス、即チ京都ノ舊堂上或ハ舊官人、是等ノ祿ヲ定メマシテ、舊旗下ノ即チ旗下其他與力又ハ同心ト云フヤウナモノハ、各藩デ處分ヲ致シマセズニ、中央政府ガ直接ニ處分ヲ致シマシタ、其處分ヲ致シマスカラ、前ニモ申上ゲマシタ通ニ一ノ標準ヲ立テマシテ、其標準ニ依ッテ支給致シテ居リマス、其標準ニ違ッタモノガアルナラバ、誤ッテ違ッタモノガアリマスカラバ正シテヤラウ、斯ウ云フタメノ此標準ニ茲ニ一條ヲ出シマシタ

○武市庫太君(二百四十七番) 今ドナタカノ御質問ノ御答ニ依ッテ、第二項ノ制度ト云フコトノ意味ハ分リマシタガ、其制度ト云フモノガ、或ハ士族トカ卒族トカ云フモノヲ解放シタ制度ヲ取ッタト假定致シマスカ、ソレガ最後ノ制度デアッテ、即チ第二項ニ當テマルモノト假ニ定メマシテ、其者ガ明治四年以後ニ復祿ヲ命ゼラレタ云フコトガアルトシマスカ、ソレ等ハ其明治四年以後ト雖モ復祿ヲ命ゼラレタコトガ、法律規則ノ上デ明カデアラナラバ、是等ハ四年七月十四日以前ト云フコトノ制度ト見ズシテ、其後デモ矢張採用スルト云フコトニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(松尾臣善君) 復祿ヲ命ジタノデアリマスカ、祿ヲ戻シタノデスカ

○武市庫太君(二百四十七番) 或ハ族籍ヲ復スル、祿ヲ復スル、ツレハ即チ四年七月十四日マデニ對スル最後ノ制度デアルト、今ノ御答辯ニ依ッテ假ニツレハサウト致シマシテ所デ、其後即チ四年七月十四日以後ニ於テ族籍モ復シマス、又祿モ給スベシト云フコトガアツタト云フコトガアルナラバ、成程期限ハ四年七月十四日前デハナクシテ、後デハアルケレドモ、尙ホ是ニハ復祿セシメナケレバナラヌト云フコトニナルノデゴザイマス、即チ五十號恩典ニハ與ルト云フコトニナルデアリマス。

○政府委員(松尾臣善君) 御問ガ少シ私ハ解シ難シマシタガ、四年七月十四日以後ニ族ハ戻シタ、斯ウ云フノデスカ、然ルニ祿ガ戻ラヌ、ツレハ戻シテ吳レルカト云フ御話デスカ。

○武市庫太君(二百四十七番) ツレハ族モ戻セト云フコトガ、法律規則ニ依ッテアツタ場合ニ——チヨット一例ヲ舉ゲテ申シテ見マスレバ、先キニ藩ノ制度トシテ之ヲ廢シテ居ッタ、即チ廢スルト共ニ祿モナイコトニナツテ居ル、ツレガ例ヘバ明治五年ニ至ツテ、當時ノ縣廳トカ或ハ大藏省トカ云フモノ、間ニ於テ先キニナシタコトハ、不法ノ處分デアアル、ツレ故ニ是等ハ祿ヲ復シテヤルガ相當ノコトデアルト云フコトノ指令デモ得タト見マス、其者ハ即チ五十號ノ恩典ヲ得ラル、譯ニナルカドウカ。

○政府委員(松尾臣善君) ツレハ五十號ノ恩典ニ係ルノデゴザイマス。

○武市庫太君(二百四十七番) 矢張得ルノデゴザイマス。

○政府委員(松尾臣善君) 得ルノデゴザイマス。

○多田作兵衛君(七十一番) 少數者ノ意見ヲ述ベマス。

○永田佐次郎君(八番) 議長、質問ガアリマス。

○議長(片岡健吉君) 多田君、少シ御待チナサイ——質問デアリマス。

(質問ハ後トデモ出來ル)ト呼フモノアリ。

(多田作兵衛君演壇ニ登ル)

○多田作兵衛君(七十一番) 私ハ家祿賞典祿處分法施行法ノ特別委員會少數意見ヲ御報道中上ゲマス、私共少數ノ意見ハ、此第一條ヲ全ク削除致シマシテ、第二條ヲ第一條ト致シマシテ、順次繰上ゲマス所ノ意見デゴザイマス、其理由ハ、申上グルマデモナク、法律ヲ制定シテ、其法律ヲ施行スルニ至リマスルニハ、法ノ精神ト云フモノヲ取違ヘナイヤウニセバナラヌト云フコトハ、當リ前ノコトデゴザイマス、然ルニ五十號ノ法律ノ精神モ、五十號ヲ施行致シマス所ノ此附屬法ト本法トガ齟齬致シテ居リマス、其理由ハ、御承知ノ如ク此五十號ハ、明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタルモノト、斯ウ云フ譯デアリマシテ、明治三年九月ニ家祿賞典祿ヲ所有シタルモノヲ指シテゴザイマス、ドウ云フ譯デ私共ガ、明治三年九月十日ト定メマシタカト申シマスレバ、明治三年九月九日マデハ生殺與奪ノ權ヲ藩主ガ持ツタノデゴザイマス、然ルニ此藩制ヲ仰出サレマシテ、九月十日以後ト云フモノハ、生殺與奪ノ權ガ悉ク中央政府ニ移ッタノデゴザイマス、是ガ即チ九月十日ト云フコトヲハッキリ定メマシタ所以デアアル、然ルニ其九月十日ニ有シテ居リマシタ所ノ家祿賞典祿デゴザイマス、ツレハ廢藩即チ明治四年七月ニ廢藩ニナリマシテ、其月二十四日はガ廢藩後家祿賞典祿ノ戸別ノ書上ヲ致シタノデ、何ノ某ハナンボデアルト云フコトノ書上ヲ致シタノデゴ

ザイマス、其書上ニ間違ノ出來タモノヲ引直ス、復祿ヲスルト申ス趣意デゴザイマス、是ガ五十號ノ法律ノ精神デゴザイマス、然ルニ委員長ノ濱名信平君ガ、貴族院ニ此法律ガ回リマシテ修正ヲ加ヘラレマシタ故ニ、法律ノ精神ガ變ッテ居ルト申サレマスガ、是ハ甚ダ他ノ人ノ申スコトナラバ、恕スル所ガゴイマスルケレドモ、濱名信平君トシテハ、恕スルコトガ出來ヌノデゴザイマス、其理由ヲ御聽取リ下サレマセ、此五十號ト云フ法律ハ、隨分政府ガ反對ヲ致シタ法律デゴザイマス、其法律ガ幸ニシテ貴族院モ同意ヲ與ヘテ吳レマシテ、始メテ法律トナツテ、其後御裁可ヲ受ケタモノデゴザイマス、右様ナ法律デアアル故ニ、政府ガ同意シナイ所ノ法律デアアル故ニ、萬一此法律ノ精神ヲ取違ヘルヤウナコトガアツテハ、大變不幸ヲ士族——舊士族ニ與ヘル、斯ウ云フ所ノ私共ハ親切ヲ以テ、深山聳峭、鈴木、中島、濱名ト云フ人ヲ筆頭ニシテ、大藏大臣ニ法律ノ解釋ノ申請ヲ出サセタノデゴザイマス、是デゴザイマス、(此時書類ヲ示シ)之ヲ讀メバ直グ御分リガゴザイマスケレドモ、詳シク解釋ヲ讀ムト云フコトハ、時間ヲ費ヤシマスカラ省キマスガ、是ニ申シテアル所ノ件カラシテ——濱名信平君吾々初メ承知致シテ居ル所デハ、聞ク所ニ依リマスル、此法律ノ曲解者ガ世間ニアルト云フコトヲ聞ク、是レ即チ政府ヲ指シタモノデアアル、聞ク所ニ依レバ此法律ヲ曲解スル人ガアルト云フコトヲ聞ク、吾々ノ精神ト云フモノハ、九月十日ト云フモノヲ起點ニ致ス所ノ精神デアアルト云フコトヲ、シツカリ答ヘマスル所、此長イ法文ノ解釋ヲ其筋ニ呈シテ居ルノデゴザイマス、是ガ即チ濱名信平君ガ實印ヲ捺シテ出シテ、大藏大臣ヲ欺イタヤ否ヤハ、濱名信平君ヲ恕スベカラズト私ガ言フノデゴザイマス、ツレカラ本法ヲ施行致シマス其施行法ト本法ト齟齬シテ居ルト云フコトハ、ドウ云フ譯デアアルカト云ヘバ、明治四年七月十四日前各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度、是ハ政府委員ガ各藩ニ於テ定メマシタル制度ハ、斯クキキト申サレマシタガ、外ノ議案ヲ發セラレマスルニ付キマシテハ、政府ニ於テハ十分參考書類、吾々ニ満足ヲ與ヘルモノガ備ッテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此法案ニ附イテハ參考書——即チ政府モ素人デアリ、吾モ無論素人デゴザイマス、ツレ故ニ一昨日ノ特別委員會ニ於キマシテハ、最終ノ制度ハ、ドンナモノデアアルカ、各藩ニアル所ノ最終ノ制度ハ、如何ナルモノデアアルカト申シテ、質問ヲ致シマシタ所ガ、五冊バカリ大藏省ノ藏ノ中ニアルモノヲ持出シニナツタ、ツレカラドノ邊ニアルモノガ制度デアアルカト言ヒマシテ、互ニ押合ヲ致シテ、紙ヲ繰ッタ位ノコトデアアル、ツレカラ私ハ甚ダ不安心デゴザイマスカラシテ、昨日午後衆議院ニ出デマシテ委員ニ請求シテ、大藏省ヨリ何冊デゴザイマシタカ十冊餘ノ又記録ヲ取寄セマシテ、サウシテ事務員ノ人ト立會ヲ致シテ、段々々々半日大凡掛リマシテ、最終ノ制度ヲ調べテ見マシタ所ガ、益々私ニハ不安心ガ起ツテ來タノデゴザイマス、第一起點ガ違ヒマス、法律ト異ナリマスルノハ、九月十日ノ現在ノ家祿賞典祿ト云フモノガ、即チ他ノ精神デアアルモノヲ、政府委員ノ言ハレル所デハ、最終ノ制度最終ノ改革——最終ノ改革ハ、何通モ致シテ居リマス、藩ニ依ッテ餘程違フノデゴザイマス、明治三年十二月ニ致シタ所モアレバ、翌年ノ三月ニ致シタ所モアレバ、四月ニ致シタ所モアル、二通致シタ所モアリ、三通致シタ所モゴザイマス、サア此制度ハ、即チ制度ト云フベキ程ノモノデハナ

イ、書上ノ書類デゴザイマス、私ガ見レバ——私ノ家ノ士族ハ何十人ニスル、卒ハ何千人ニスル、何ハ何ノボニスルト云フヤウナ總高ヲ書上ゲタモノヲ以テ、最終ノ制度トセラレマシタ、此書上ノ出テ居ル所ノモノハ、即チ不當ノ處分デハナク、相當ノ處分デアルト云フノガ、政府ノ解釋デゴザイマス、サア右様ノ政府ノ解釋ト本法ノ精神ガ違ヒマス、故ニ私共デハ、此一條ヲ削リマシテ、ナクナシマシタ所ガ、政府ニ於テノ施行ニハ、少シモ固ヘマセヌデゴザイマス、(贊成々々)ト呼フ者アリ)少モ差支ヘヌデゴザイマス私ノ考ヘル所デハ、政府デハ隨分請願者ガ、追々大藏省ナドニモ出マシテ小理窟モ言ヒマス、歎願モ云フ、隨分此處分ニハ困ラレテ居ルト云フコトモ聞キマシテ、誠ニ御尤モナ事情モゴザイマス、デ、私ノ考ヘル所デハ、政府ガ此制裁權法律ノ解釋ヲバ、態々此施行法ニ出シテ此制(裁)ヲ以テ請願者ヲ逐ッ拂ハウト云フコトニ附イテハ、甚ダ不同意デゴザイマス(謹聽々々)ト呼フ者アリ)萬一此一條ガ可決致シマシテ、最終ノ制度デゴザイマス、制度ト云フ程ノモノデモナイ、最終ノ書上デゴザイマス、然レニ各自ハ、ドウ云フ權利ヲ其時持ッテ居ルカト申シマス、明治三年九月十日以後ト云フモノハ、朝裁ニアラザレバ生命財產ヲ奪ハル、コトナシト云フノ權利ヲ持ッテ居ル士族デゴザイマス、サ、ソレニモ拘ラズ藩ガ各自適宜勝手次第ナコトヲシテ、吾々ニ不當ノ處分ヲシタモノガ、此政府案ノ如ク解釋ヲ下スト云フコトニナレバ、極端ヲ言フタラバ一人モナイヤウニナリハシマイカト思フデゴザイマス(ヒヤノ)ト呼フ者アリ)「ト呼フ者アリ」併ナガラサウハ言ヘマセヌ、先ヅ少數ハアルノデアリマスガ、本法ガ出マシタナラバ、各地ノ人ガ此五十號ノ御蔭ニ、自分達ガ二十年來困苦シテ請願ノ末、始メテ目的ヲ達シタト申シテ、喜ンデ請願書ヲ出シテ居ルニモ拘ハラズ、斯ノ如キ酷ナルモノヲ以テ法律ノ解釋トシテ、門前拂ト云フコトニナリマシタナラバ、天下多數ノ士族、舊士族ノ人ニハ言フベカラザル不幸ヲ與ヘ、落膽ノ地位ヲ與フルノデアルト、私ハ感慨ニ堪ヘヌデゴザイマス、吾々モ多數者ト同様ニ一日モ早ク此法律ヲ決議致シマシテ、サウシテ一日モ早ク公債證書ヲ渡シテ、其職業ニ就カシメヤウト云フ精神ハ、一步モ劣ルコトハゴザイマセヌ、濱名信平君ノ如キ節ヲ變ズル人ヨリ、一層熱心ガ深イト存ジマス(熱心々々)ト呼フ者アリ)右ノ理由デゴザイマス故ニ、二讀會ニ於キマシテ、ドウカ此第一條ヲ御削除下サレマシテ、第二條以下ノ必要ナルモノヲ今日ハ可決致シマシテ、サウシテ處分スル所ノ範圍ハ、政府ニ任スト云フコトニシテ、政府ニ於テモ酷ナル處分ノ法ヲ取ラレズ、所謂舊藩ノ帳簿トシテ參考ノ書類トセラレマシテ、著實ニ調査シテ所謂衆議院ニ於テモ、貴族院ニ於テモ、政府ニ於テモ、千萬圓ダケノ公債ヲ募ッテ、サウシテ此人々等ニ職業ヲ與ヘヤウト云フコトハ、一ニナッテ居ルノデゴザイマスカラ、態々酷ナ法律ヲ作ッテ、貳百万ヤ參百万ニ減ズルト云フコトハ、甚ダ取ラヌ所デアアルノデゴザイマス、ドウカ諸君、國家ニ取ッテハ、小サイ事件デゴザイマスケレドモ、全國ノ窮民タル舊士族ニ取リマシテハ、此上モナキ休戚ニ關スル法律案デゴザイマス、故ニ御熟考下サイマシテ、一讀會ニ少數意見ノ行ハル、コトヲ希望致シマス

○政府委員(松尾臣善君) 唯今少數ノ御意見トシテ、一條ヲ御削リニナルコトノ御提案ガ出マシテゴザイマスガ、政府ハ此施行法ヲ求メマシタノハ、施行法ノ御協賛ヲ求メマシタノハ、五十號ノ法律ノ第一條ニ、明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿ヲ有シテ居ル者トゴザイマシテ、其以後ト云フノハ、何處ヲ指シマスカ、實ハ判然分リマセヌデ、ソレデ今度此御協賛ヲ願ッタハ錯誤ト否トヲ判別シマスル標準ヲ明ニスル必要ガゴザイマス、即チ此處分ヲ致シマスニ付イテハ、錯誤ト云フモノハ、一方ニ標準ガゴザイマシテコソ、錯誤デゴザイマス、其標準ヲ明カニシテ御貫ヒ申サナケレバ、處分上ニ差支マスカラ、此施行法案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、然レニ此一條ヲ御削リニナリマスレバ、此法案ノ組織ト云フモノハ、マルデ崩レテシマヒマスカラ、到底之ヲ施行スル責任ニ任ズルコトハ出來マセヌカラ、ドウカ此事ハ參考マデニ申シテ置キマス

(「ノウ」ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君(九十七番) 此案ニハ少數者ノ意見モゴザイマスガ、大體ニハ本案ヲ迎ヘテ居リマスカラ、直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」異議ナシ)ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、直チニ二讀會ヲ開キタイト云フ勸議ガ出マシタガ、是モ御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」異議ナシ)ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、全部ヲ議題ニ供シマス、岡本松太郎

家祿賞典錄處分法施行法案

第二讀會

(岡本松太郎君演壇ニ登ル)

○岡本松太郎君(十番) 私モ即チ本案ノ第一條ニ向ッテハ、反對ヲ致スモノデアアル、即チ少數意見ニ贊成ヲ致シマスル、是ハ若モ本案ノ第一條、即チ第二項ヲ存置致シマスレバ、如何ナル結果ヲ來スカト云フト、是ハ多田君モ述ベマシタガ、即チ法律五十號ノ精神ヲ無視シテ、即チ法律五十號ヲ無効ニシテシモフト云フコトニナルノデアアル、ソレハ何ゼカト申シマス云フト、即チ第二項ニゴザイマスル明治四年七月十四日前各藩ニ於テ最終ニ定メタル制度、斯ウアルノデアアル、此十四日以前各藩ニ於キマシテ最終ニ定メタル制度ト云フコトニナッテ見マス、藩制施行即チ前年ノ三月十日藩制ヲ施行シマシタ當時ニ、假ニ申シマスレバ十石持ッテ居ル者モ、其以後八石ニ減セラレタト云フモノガゴザイマス、是ガ即チ最終ノ制度ニナルノデ、二回三回同ジコトナンデス、尙ホ二回減セラレタモノハ、十石デアッタ者ガ八石ニ減ジラレ、次ニ七石ニ減ジラレ、次ニ六石、即チ最終ノ六石ヲ決定セラレテシマウノデス、サウスルト法律五十號ト云フモノハ、更ニト申シマスレバ、言ニ弊モアリマセウガ、少數幾ラカノ出願ニ對シテハ、目的ヲ達スルカモ知リマセヌガ、免ニ角多數ノ出願者ニ對シマシテハ、其十分ノ一モ出願ノ意ヲ達スルコトガ、出來ヌト云フノ結果ニナルノデゴザイマス、ソレデ詰ル所此政府案ハ、少數者ノ意見、即チ私共ガ反對ヲスルト云フ意見ヲ結局奏詰メテ見マスルト、法律五十號ニアリマス所ノ祿高ニ錯誤ト云フ、此錯誤ト云フモノ

ハ、錯誤ト云フ二字ノ解釋如何ニ止マルノデゴザイマス、政府ハ——政府ノ錯誤ノ解釋ト云フモノヲ段々質問致シテ見マシテ、其質問ノ極ハ、ドウナルカト云フト、全ク數字ノ錯誤ト見ルト云フノ結果ニ外ナラヌノデアル、吾ハ此錯誤ト見ルハ、即チ藩制施行以後ハ、各藩主ニ於キマシテ生殺與奪ノ權、取りモ直サズ一般ノ即チ主權ト云フモノガ、最早ナクナタルトキデアノデアル、此主權ト云フモノガナクナテカラ以來ハ、勿論藩ノ増減ト云フモノハ、出來ナイノデアル、出來ナイモノヲ、即チ減祿シタト云フコトハ、取りモ直サズ錯誤デアル、斯ク解釋ヲ下スノデアル、既ニ三年九月十日ニ十石持ッテ居リマシタモノデゴザイマスレバ、是ガ即チ最終ノ額ナンデ、ソレカラ以來減ジマシタト云フモノハ、取りモ直サズ減ズベカラザルモノヲ減ジタノデアルガ故ニ、即チ錯誤ナリ、斯様ナル吾ハ解釋ヲ下スノデアル、然ルニ政府ハ、段々ト之ヲ論ジテ參リマスレバ、或ハ維新勿々ノ際デアツタケテ來タ、屆ケテ來タト云フコトヲ政府ガ認メタ、即チ是ガ、即チ適法ノ是ガ制度デアルト、其屆ケテ來タモノヲ即チ適法ノ制度デアルト云フコトヲ、政府ガ認メルハ、將タ何ニ依ッテ認メルノデアルカト申シテ見マシタナラバ、即チ其當時銓考委員ヤウノモノガ太政官ニアツテ此銓考委員ヤウノモノガ、銓考シタ結果ニ依ッテ、之ヲ認メタモノデアルト云フガ如キ、實ハ據所ノナイ答ナンデアル、所謂腦髓ノ判斷ニ依ッテシタモノデアアル、左様ナコトヲ認メテ以テ、之ヲ適法ノ制度ト云フコトハ、到底吾ハ出來ヌ、先刻委員長ノ御論デゴザイマシテ、第十議會ニ於テ此法律五十號ヲ起案ヲ致シマシタル所ノ精神ハ、唯今本員ガ述べル如キ趣意デアリマス、サリナガラ貴族院ニ於テ之ヲ修正シタガタメニ云々、遂ニ此衆議院起案ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌノデアルト云フガ如キ、委員長ノ報告シテゴザリマスレドモ、貴族院ガ入レマシタハ、即チ法律五十號中ノ第一條「明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタルモノ及ヒ其家名承繼人ニシテ明治九年八月太政官第八號布告及同年十二月第五百五十二號布告施行ノ際其祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ享ケサルモノ若ハ相當額ノ給與ニ不足アルモノ」是カラ以下「即チ」以下「明治四年七月二十四日祿高ニ係ル太政官布告ニ依リ調査シタル以後ノ祿高及ヒ其調査以前ニ係ル藩制施行以後ノ祿高ニ錯誤アルトキハ」ト是ダケ衆議院ガ加ヘタノデゴザリマス、是ハ幾ラ加ヘテモ何モ構ハナイ、即チ錯誤ト云フ解釋ハ、本員ノ唯今申シマスル如ク、即チ第十議會ニ於テ法律五十號ヲ可決シマシタル所ノ趣意ニ依リマスレバ、幾ラ加ヘテ居ッテモ、チツトモ差支ナイノデアアル、ソレハ詰ル所藩制施行以後ハ、藩主ニ於テモ主權ノナイモノデアアル、主權ノナイモノガ爲シタルコトハ、即チ錯誤デアアル、此錯誤ニ對シテハ「五十號ノ法律ニ依ッテ政府ニ給與ヲ要求スルコトガ出來ルト云フ譯デアアルカラ、貴族院ガ幾ラ之ヲ加ヘマシテモ、自分等ノ解釋ニ依リマスレバ、更ニ差支ル所ハゴザイマセヌ、ソレヲ何ゾヤ無暗ニ縮メマシテ——範圍ヲ縮メテ、與ヘ得ラレルモノヲ與ヘ得ラレヌガ如ク解釋スルノ必要ト云フモノハ、更ニナカラウト自分ハ考ヘルノデス、尙ホ又（簡單簡單）と呼フ者アリ（諸君ガ一應（簡單々々）と呼フ者アリ）是ハ簡單ニナリマスルカ、長クナリマスルカ、マアヤカマシク言ハヌト御聽キナサイ、私共ハ減

多ニ此演壇ニ登ラヌガ、是ハドウシテモ演壇ニ登ッテ、一言辯シナケレバナラヌト云フ必要ヲ感ジタノデアル（「長クヤリタマヘ」ト呼フ者アリ）諸君モ御承知デアリマセウガ、本員ガ家祿賞典祿處分法施行法案ニ珍シイ一體是ハ法律ナンデス、處分法ト言ヘバ、モウ早ヤ是デ處分ガ出來ルノデアル、然ル所此錯誤ト云フ文字ヲ、至極政府ガ狹ク解釋スルト云フガタメニ、即チ此施行法ト云フガ如キモノヲ出シテ來タンデアアル、即チ此施行法ト云フモノハ、取りモ直サズ五十號ノ改正案ナノデ、範圍ヲ狹クシヤウト云フ改正案ニ外ナラヌノデアアル（「ヒヤノ」ト呼フ者アリ）普通カラ考ヘレバ、處分法ト云フモノガアルカラ、其處分法ニ依ッテ施行スルト云フノガ、政府ノ即チ仕事ナンデ、所ガ、此五十號ニ依リマス、甚ダ狹ク——廣ウナルカラ、藩制施行以後ノモノニハ、悉ク與ヘナケレバナラヌト云フ、即チ事ニナルモノデアアルカラ、是デハ甚ダ困ルカラト云フコトカラシテ、至極狹クシテ來ル所ノ是ハ改正案ニ外ナラヌト申シテ宜イノデアリマス、若シヤ斯クノ如ク吾ハ折角ニモ此下級士族ノ多年哀願ヲシ來リマシタル所ノ哀願ヲ容レテ、以テ第十議會ノ即チ慈悲の恩典ヲ五十號ナル恩典ヲ施キマシタルニモ拘ラズ、此度政府案ノ如キ解釋ヲ以テ、七月十四日以前最終ニ定メタル制度ト云フガ如キモノヲ用ヒ來リマシタレバ、最初起案ヲ致シマシタル所ノ慈悲的法律ト云フモノハ、スツカリ跡ヲ失ッテシマフコト云フ結果ニナルノデゴザリマス、ソレデゴザリマスルカラ、成ルベク第一條ハ削除セラレンコトニ御贊成ヲ希望スルノデアリマス、縱シンバ是ガ削除致シマシテモデス、一方ニ五十號ト云フ法律ハ死ンデ居ラナイ、活キテ居ルノデアアルカラ、何モ差支ルト云フコトハ更ニナイノデス

（討論終結）ト呼ヒ贊成々々ト呼フ者アリ

○望月長夫君（十九番） 議長反對說ガアリマスカラ……

○議長（片岡健吉君） 望月長夫君

（討論終結）ト呼フ者アリ望月長夫君「發言ノ權ヲ得タ」ト呼フ

（望月長夫君演壇ニ登ル）

○望月長夫君（十九番） 唯今第一條ニ附キマシテ、少數者ノ意見トシテ、削除說ガ出テ、又之ヲ贊成セラレレ意見ガ出マシタ、併ナガラ私ハ此少數者ノ意見及ヒ此削除ニ贊成セラル、意見ヲ以テ、却テ法律第五十號ヲ曲解シタルモノデアルト私ハ思フノデアアル（「ヒヤノ」ト呼ヒ又「ノ」ト呼フ者アリ）聽カヌ前キニ「ノウ」ハ分リマセヌ（分ッテ居ル）ト呼フ者アリ（成程法律五十號ヲ衆議院議決シタトキノ精神カラ見テ見マシタラ、此施行法ノ第一條ハ無論狄イ感覺ヲ御起シニナルニ相違ナイ、又法律五十號ヲ衆議院議決シマシタ當時、其當時ノ出願高ハ、七百三十萬アルト云フノニ、アノ法律ガ出タ以來非常ニ澤山ノ出願者ガ出テ、今日ノ高ハ壹億ニナツテ居ル、此壹億ニナツテ居ル人ガ、悉ク満足ヲ得ヤウト云フ、悉ク満足サセヤウト云フ趣旨デ、此施行法ヲ見マシタナラバ、施行法ガ狹ク見エルニ相違ナイケレドモ、第五十號ノ法律ヲ正當ニ解釋致シマシタナラバ、此施行法第一條ハ、極テ正當ナルモノトデアルト、私ハ信ズルノデアアル、此第一條ガ狹クナタト云フ人ノ御論ハ明治三年九月十日藩制施行ノ日以後一日デモ家祿賞典祿ヲ持ッテ居タモノガ、三年九月十日以後ニ至ッテ持ッテ居タモノ、祿高ヨリトモ、明

治九年ニ金祿公債ヲ受取ルトキ受取高ガ少ナケレバ、悉ク錯誤デアル、斯ウ云フ御論、即チ悉ク其本ニ復シテヤラネバナラス、斯ウ云フ御論、斯ノ如キ議論ハ、全ク此法律第五十號ノ先キカラ問題ニナラ居ル、明治四年七月二十四日云々錯誤アリタルトキハト云フ、五十九字ヲ抹殺シテ、最初衆議院ガ議決シテ、貴族院デ意見ヲ變ヘテ修正サレタ、此修正サレタモノヲ抹殺スルト同シコトニナリマス、是ガ少數者ノ意見ハ、即チ法律ヲ曲解スル意見デアルト云フ所以デアアル、最初衆議院デ議決致シマシタモノハ、唯明治三年九月十日以後家祿賞典祿ヲ持ッテ居ッタト云フコト、ツレカラ其持ッテ居ッタ高ト、明治九年ニ金祿公債證書ヲ受取ッタノ高トノ間ニ相違ガアレバ、悉ク其不足額ヲ給與シテヤルト云フノデ、衆議院ガ議決シタノデアアル、然ルニ貴族院ニ於テハ、左様ニ致セバ、其中間ニ正當ナル權力ニ依ッテ正當ニ改正セラレタモノヲモ、本ニ復サネバナラス、ツレハイケナイ、正當ナル權力ニ依ッテ正當ニ祿制ヲ改革シタ、此改革シタモノハ、此正當ノ祿制ニ據ルヨリ致方ガナイ、回復ヲシテヤルニハ、必シモ錯誤致シタ所ガナケンケレバナラナイ、手落ガアルカ、間違ガアルカ、不法ノ處置セラレタカ、錯誤ガナイケレバナラナイ、縱令三年九月十日ニ持ッテ居ッタ高ト、最後ニ貫ッタ高トノ間ニ相違ガアッテモ、此相違ガ間違デ起ッタ相違デナケレバナラナイ、正當ノ權力ヲ改正セラレタモノハ、イケヌト云フ一ノ條件ヲ挿入サレタノハ、即チ貴族院ノ修正デアアル、是ガ錯誤デアアルカ錯誤デナイカハ、何ニ依ッテ判斷スルカト云フコトニナラバ、ツレハ私ハ其當時ノ權力ヲ取調ベルヨリ致方ガアルマイ、祿制ハ何人ガ改革スル權力ヲ持ッテ居ッタカ、如何ナル方式ニ依ッテ改革スルコトガ出來タガ、是ガ其當時改革致シタ仲間ニ、改革致シタ其權力ガ正當ニ出テ居ルカ、ドウカト云フコトヲ調ベナケレバ、其改革ガ正當デアアルカ、不當デアアルカト云フコトガ、分ラヌト思フ、所ガ此當時改革シタ權力ハ、ドコニアアルカト云フコトヲ極メタノハ、三年九月十日ノ藩制、此藩制ニハ所謂綱領ヲ掲ゲ節目施設ハ、其藩各藩デ此趣旨ヲ斟酌シテ能クヤレト云フコトガアッタ、サウシテ各藩知事ニ任せ、縣々ニ懺ニ藩ノ高ガ是ダケアル、此内ドレダケヲ知事ノ高ニスル、其内ドレダケヲ海陸軍費ニスル、殘ツタドレダケノ一部ハ航海ノ入費ニ使フ、一部ハ士卒ノ祿ニ充テヨ、倍テ又餘リガアッタ軍用金ニ充テヨ、此振割ヲスルコトハ藩知事ニ許ス、斯ウ云フコトニナラテ居ル、ツレデ其藩限デ、上士ハ幾ラ、中士ハ幾ラ、下士ハ幾ラト云フ祿割ヲ定ムルコトハ、藩知事ガ慥カニ出來ル、併ナガラ其當時大義名分ト云フコトハ、非常ニヤカマシキデアアッテ、其内輪ノ區劃ヲ立テルコトハ、此法律デ許シタコトデアアルケレドモ、一ト通りヤルトキニハ、中士デナケレバナラヌヤッデアアルニ、此ヤツガ功ガアルカラ拔擢シテ上士ニ舉ゲル、是ハ罪ガアルカラ祿ヲ奪フ、斯ウ云フ賞罰ト云フコトハ、朝裁ヲ乞ハナケレバナラヌ、即チ死刑ニ處スルコトモ、朝裁ヲ乞ハナケレバナラヌ、是ダケハ朝裁ヲ乞ハナケレバ、ドウシテモ出來ナイト云フコトハ、制

限ガ加ヘテアル、是ハ一遍讀シテ見レバ直ク分ル、官祿ハ各藩ニ任セル、サウシテ其次ニ功ガアッテ祿ヲ増ス、罪ガアッテ祿ヲ剝グト云フヤウナコトハ、朝裁ヲ乞フベシ、斯ウ云フノデ、明白ニ此間ニ區別ガ立ッテ居ルコトガ分ル、此區別ガ明白ニ分ッテ居ルナラ、其當時官制ニ基イテ、藩知事ガ藩知事タル資格ヲ以テ、是ハ其當時願トカ伺トカ届トカ云フモノヲ出スナラ出シテ、サウシテ自分ニ附與セラレタ權力ニ依ッテ正當ニ定メタ高ハ、即チ錯誤デナイ、正當ノ高ト認メナケレバナラナイ、是ガ即チ錯誤デアアルカ、正當デアアルカト云フコトヲ區別スル標準デアラウト思フ、デ、此施行法ノ第一條ノ第二ニ書イテアル、即チ明治四年七月十四日前各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度ト云フ——幾ラ一番後トニ定メタモノデ、適法ニ定メラレタモノデナケレバ往ケヌト云フコトハ、無論政府ハ異議ガアルマイ、又不適法ニ定メラレタ制度ガアラウ筈ガナイ、不法ニ藩デ始末シタモノナラバ、無論斯ク規定シテ置キマシテモ、ツレヲ支給スルコトハ當リ前デアアル、ツレデ私ハ此施行法ト云フモノヲ以テ、少シモ第五十號ノ精神ヲ縮小スルモノデナイト確信スルノデアアル、之ニ反對スル人ハ、無論此法律ノ進行ヲ阻抑シテ、一年デモ公債ヲ發布スルコトヲ延ベヤウト云フ意思ニアラズンバ、一億万圓ノ總テノモノヲ悉ク満足セシメヤウト云フ人デアアル、一億万圓ヲ悉ク飽カシムルト云フ御考ガ、諸君ニアルナラバ、私ハ強テ多言ハ費シマセヌケレドモ、恩惠ヲ施スコトハ、勿論國トシテ力ガ堪ヘ得ルナラバ、必要ナコトデアリマセウケレドモ、第五十號ト云フ法律ヲ制定シテ此法律ヲ施行スルニ當ッテ、法律ヲ改正セズシテ其内容ヲ内輪デ廣メヤウト云フコトハ、内輪デ縮小スルト同様ニ、イツレモ適當セザル遣リ方デアアルト信ズルノデアアル、殊ニ今一ツハ、是ガナトモ政府ハヤラレレザヤナイカ、斯ウ云フ御論ガアルケレドモ、現在法ヲ制定スルトキニハ、七百二十万圓ト云フ話デアアル、所ガ政府ガ此通りノ調ベニ據ッテモ、千万圓出サナケレバナラヌト云フコトデアアル、多田君ノ御説ニハ、三百万圓ヨリヤラヌノデアアルト云フ御説デアリマシタケレドモ、政府ハ無論此通りニシテモ、千万圓出サナケレバナラヌト云フコトヲ知ッテ居ルカラ、最初ノ七百三十万圓ヨリモ殖シテ、尙ホ千万圓トシテ出シテ居ル、多田君ノ言ハレレヤウナコトハ、斷ジテナイ、サウ云フ次第デアリマスカラ、適當ニ標準ヲ定メテ千万圓出スト云フコトハ、既ニ最初ノ思想ヨリモ多イ位デアルノニ、一億圓レロト云ッテ前來ラレタ場合ニ、之ヲ裁斷スル正當ノ標準ハ、所謂法律ヲ施行スル方法ノ中ニ極メルコトハ、私ハ寧ロ適當ナ處置デアラウラウト信ズルノデアアル、ツレデ第一條ヲ此儘ニ存シテ、免ニ角今日マデ五十號ノ法律ナルモノガ出デタルガタメニ、得ベカラザルノ望ミヲ懷イテ、貧窮ノ中カラ多額ノ運動費ヲ費シテ、方向ニ迷ウテ居ル人ニ向ッテ、此施行法ニ該當スル者ハ得ラレルノデアアル、該當セザル者ハ得ラレヌノデアアルト云フ、一ツノハツキリシタル區域ヲ示シテ、サウシテ此道途ニ迷フモノヲシテ、方向ヲ誤マルコトナカラシムルコトハ、又衆議院ノ責任デアラウト

信ズルノデアル、故ニ私ハ斷シテ第一條ヲ存スルコトニ同意致シマス

○濱名信平君(百八十一番) テヨット議長マデ申シタイノハ、先刻委員長ノ報告ニシテ多田君ノ演説、隨分穩カナラヌ語氣ガアルノデアル、若シ此人ガ普通ノ人物ナラバ、私ハ隨分爭ヲ致シマスケレドモ、彼ハ年モ取ツテ居ツテ、普通以上ノ人ト見ルカラ、敢テ私ハ爭ハ致サヌノデ(討論終結)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 彼ガ引證ヲ欺ク話デ、私が印形ヲ捺シテ大藏大臣ニ出シタコトハ一過モナイ、既ニ委員會ニ於テ、御前ハ知ツテ居ルカト云ウテ持ツテ來タカラ、現在知ラヌト云フコトヲ申シテ置イタ、然ルニ此議場ニ於テ……

(討論終結)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) モウ採決シヤウト思ヒマス、委員會少數者ノ意見ハ、第一條ノ削除説デアリマスカラ、原案ニ付イテ採決ヲ致シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、少數者ノ意見ニ附イテハ、御異議ハゴザイマセヌカ、

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 原案ガ少數デアリマスカラ、即チ第一條ハ無論削除セラレタモノト認メマス、第一條ガ削除セラレマシタカラ、條ヲ繰上ゲルコトハ、異議ガナシト認メマス、又第二條以下ハ、御異議ガナシト、認メマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○多田作兵衛君(七十一番) 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 多田作兵衛君カラ、直チニ三讀會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス、御異議ハアリマスマイカ

家祿賞典祿處分法施行法案

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、本案ハ確定ト認メマス

○恆松隆慶君(九十七番) 日程前ニテヨット……

○議長(片岡健吉君) 今マ詔勅ガ參リマシタ、之ヲ讀上ゲマスカラ、諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(議員一同起立)

朕三月九日マテ七日間帝國議會開期ノ延長ヲ命ス

御名 御璽

○恆松隆慶君(九十七番) 日程前ニテヨット一ツ、唯今カラ第八デゴザイマセウガ、第八カラ十五マデハ、ドウカハ委員ニ託スルコトニシマシテ、一

括ニシテ議題トナサンコトヲ希望致シマス、尤モ委員ハ多少違ヒマス

○藤金作君(百二十一番) 唯今ヨリ第五回内國勸業博覽會ノ審查特別委員會ヲ開キタイ、委員諸君ニ、速ニ委員會室ニ御出ニナルヤウニ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 藤金作君カラ第五回内國勸業博覽會開設ノ建議案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス

○恆松隆慶君(九十七番) 九十七番ノ意見ガ容レラレマシタナラバ、委員ノ數ヲ各項ニ附イテ……

○議長(片岡健吉君) 少々御待チ下サイ——議事日程ノ第八カラ第十五マデヲ束ネテ議題ニ供スルコト云フコトデアリマスガ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(九十七番) 委員ハ別ニシテ貫ヒタイ

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ、議事日程ノ第八カラ十五マデ併セテ、議題ニ供シタイト云フ動議ガ出マシタカラ、御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ)又ハ贊成々々ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通ニ致シマス

第八 重罪控訴豫納金規則中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 行旅病人及ヒ行旅死亡人取扱法案(政府提出)

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案(政府提出)

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 外國艦船乘組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法案

第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

重罪控訴豫納金規則中改正法律案

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ日本ニ住居ヲ有セサル外國人ハ本國領事ノ證明書ヲ差出シ若シ領事ノ駐在ナキ場合ニ於テハ所在地ノ警察官ノ證明書ヲ差出ス可シ

行旅病人及行旅死亡人取扱法案

行旅病人及行旅死亡人取扱法

第一條 此ノ法律ニ於テ行旅病人ト稱スルハ步行ニ堪ヘサル行旅中ノ病人ニシテ療養ノ途ヲ有セス且救護者ナキ者ヲ謂ヒ行旅死亡人ト稱スルハ行

旅中死亡シ引取者ナキ者ヲ謂フ

住所、居所若ハ氏名知レズ且引取者ナキ死亡人ハ行旅死亡人ト看做ス

前二項ノ外行旅病人及行旅死亡人ニ準スヘキ者ハ内務大臣之ヲ定ム

第二條 行旅病人ハ其ノ所在地市町村長之ヲ救護スヘシ

必要ノ場合ニ於テハ市町村長ハ行旅病人ノ同伴者ニ對シテ亦相當ノ救護ヲ爲スヘシ

第三條 行旅病人又ハ其ノ同伴者ヲ救護シタルトキハ市町村長ハ第五條ニ

掲ケタル公共團體ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル公共團體ハ更ニ之ヲ扶養義務者及家族ニ通知スヘシ

扶養義務者ハ前項公共團體ノ指定シタル期間内ニ被救護者ヲ引取ルヘシ

救護ヲ爲シタル市町村長ハ第一項ノ例ニ依ラス直ニ扶養義務者及家族ニ

其ノ住居地ノ市町村長ヲ經テ通知スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ通知ヲ受

ケタル扶養義務者ハ指定ノ期間内ニ被救護者ヲ引取ルヘシ

第四條 救護ニ要シタル費用ハ被救護者ノ負擔トシ被救護者ヨリ辨償ヲ得

サルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

第五條 行旅病人若ハ其ノ同伴者ノ引取ヲ爲ス者ナキトキ又ハ救護費用ノ

辨償ヲ得サル場合ニ於テ其ノ引取並費用ノ辨償ヲ爲スヘキ公共團體ニ關

シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第六條 扶養義務者ニ對スル被救護者引取ノ請求及救護費用辨償ノ請求ハ

扶養義務者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ請求スルコトヲ得但シ費用ノ辨償ヲ

爲シタル者ハ民法第九百五十五條及第九百五十六條ニ依リ扶養ノ義務ヲ

履行スヘキ者ニ對シ求償ヲ爲スヲ妨ケス

第七條 行旅死亡人アルトキハ其ノ所在地市町村長ハ其ノ狀況相貌遺留物

件其ノ他本人ノ認識ニ必要ナル事項ヲ記録シ其ノ屍體ヲ假土葬スヘシ但

シ法令ニ別段ノ規定アル場合ニ於テ之ヲ火葬スルコトヲ妨ケス

墓地若ハ火葬場ノ管理者ハ本條ノ假土葬又ハ火葬ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條 必要ノ場合ニ於テハ市町村長ハ行旅死亡人ノ同伴者ニ對シテ亦相

當ノ救護ヲ爲スヘシ

行旅病人ニ關スル規定ハ前項ノ場合ニ準用ス

第九條 行旅死亡人ノ住所、居所若ハ氏名知レサルトキハ市町村長ハ其ノ

狀況相貌遺留物件其ノ他本人ノ認識ニ必要ナル事項ヲ公告スヘシ

第十條 行旅死亡人ノ住所若ハ居所及氏名知レタルトキハ市町村長ハ第十

三條ニ掲ケタル公共團體ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル公共團體ハ更ニ之ヲ相續人ニ通知スヘシ相續人分

明ナラサルトキハ死亡人ノ扶養義務者及家族ニ通知スヘシ

市町村長ハ第一項ノ例ニ依ラス直ニ相續人ニ其ノ住居地ノ市町村長ヲ經

テ通知スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ相續人分明ナラサルトキハ死亡人ノ

扶養義務者及家族ニ通知スヘシ

第十一條 行旅死亡人取扱ノ費用ハ先ツ其ノ遺留ノ金錢若ハ有價證券ヲ以

テ之ニ充テ仍足ラサルトキハ相續人ノ負擔トシ相續人ヨリ辨償ヲ得サル

トキハ死亡人ノ扶養義務者ノ負擔トス

第十二條 行旅死亡人ノ遺留物件ハ市町村長之ヲ保管スヘシ但シ其ノ保管

ノ物件滅失若ハ毀損ノ虞アルトキ又ハ其ノ保管ニ不相當ノ費用若ハ手數

ヲ要スルトキハ命令ノ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ賣却シ又ハ棄却スルコトヲ

得

第十三條 市町村長ハ第九條ノ公告後六十日ヲ經過スルモ仍行旅死亡人取

扱費用ノ辨償ヲ得サルトキハ行旅死亡人ノ遺留物品ヲ賣却シテ其ノ費用

ニ充ツルコトヲ得其ノ仍足ラサル場合ニ於テ費用ノ辨償ヲ爲スヘキ公共

團體ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

市町村ハ行旅死亡人取扱費用ニ付遺留物件ノ上ニ他ノ債權者ノ先取特權

ニ對シ優先權ヲ有ス

第十四條 市町村長ハ行旅死亡人取扱費用ノ辨償ヲ得タルトキハ相續人ニ

其ノ保管スル遺留物件ヲ引渡スヘシ相續人ナキトキハ正當ナル請求者ト

認ムル者ニ之ヲ引渡スコトヲ得

第十五條 行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護若ハ取扱ニ關スル費用

ハ所在地市町村費ヲ以テ一時之ヲ繰替フヘシ

前項費用ノ辨償金徴收ニ付テハ市町村稅徵收ニ關スル例ニ依ル

第十六條 行旅病人行旅死亡人ノ所持物件若ハ遺留物件ノ取扱ニ關スル規

定ハ内務大臣之ヲ定ム

第十七條 外國人タル行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者並其ノ所持物件若

ハ遺留物件ノ取扱ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 船車内ニ於ケル行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者並其ノ所持物

件若ハ遺留物件ノ取扱ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ

定ム

第十九條 此ノ法律ニ於テ市町村長トアルハ東京市京都市大阪市其ノ他勅

令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區長ニ、市町村長ヲ置カサル地ニ於テハ

之ニ準スヘキモノニ、市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テ

ハ之ニ準スヘキモノニ準用ス

第二十條 北海道沖繩縣其ノ他市制町村制ヲ施行セサル地ニハ命令ヲ以テ

別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十一條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

第二十二條 明治十五年第四十九號布告行旅死亡人取扱規則ハ此ノ法律施

行ノ日ヨリ廢止ス

製造葉煙草輸出交付金ニ關スル法律案

第一條 政府ハ葉煙草專賣法施行地ニ於テ製造シタル煙草ヲ外國ニ輸出シタル者ニ對シ其ノ價格ノ百分ノ二十ヲ超過セサル範圍内ニ於テ勅令ノ定ムル所ノ金額ヲ交付スルコトヲ得

第二條 輸出煙草ノ價格ハ輸出ノ際ニ於ケル申告價格ニ依ル申告價格ヲ不相當ト認ムルトキハ政府之ヲ定ム

附則

第三條 此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

外國艦船乗組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法案

(大字ハ原案 小字及ハ貴族院ノ修正)

外國艦船乗組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法

第一條 外國艦船乗組員ノ逮捕留置ニ關シ。條約ニ依リテ爲スヘキ援助ハ當該領事官ノ請求ニ依リ檢事之ヲ行フ

第二條 左ノ場合ニ於テハ檢事ハ逮捕又ハ留置ニ關スル援助ノ請求ニ應スルコトヲ得ス

第一 逮捕又ハ留置スヘキ者カ帝國臣民ナルトキ

第二 逮捕又ハ留置スヘキ者カ帝國ニ於テ重罪輕罪ノ刑ニ該ルヘキ犯罪ニ付訴追ヲ受ケ又ハ處刑中ナルトキ

第三 第八條ニ依リ放免シタル艦船ノ乗組員ニ對シ更ニ同一ノ事件ニ付請求アリタルトキ

第四 領事官カ援助ノ請求書ニ船舶登録簿及艦船乗組員名簿ノ正當ナル拔萃又ハ乗組員タルコトヲ證明スルニ足ルヘキ公文書ヲ添付セサルシトキ

第五 領事官カ援助ニ關スル費用ノ支辨ヲ保證セサルシトキ

第三條 檢事カ領事官ヨリ逮捕又ハ留置ニ關スル援助ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ請求ヲ正當ナリト認メタルトキハ速ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 檢事カ艦船乗組員ノ逮捕ヲ命スヘキ場合ニ於テハ逮捕狀ヲ發スヘシ

第五條 逮捕狀執行ノ命ヲ受ケタル者カ其ノ指定シタル者ヲ逮捕シタルトキハ逮捕狀ヲ發シタル檢事ニ引致スヘシ

第六條 前條ノ場合ニ於テハ檢事ハ直ニ之ヲ訊問シ人違ナシト認メタルトキハ速ニ當該領事官ニ引渡スヘシ

第七條 逮捕シタル艦船乗組員ニ付領事官ヨリ留置ノ請求アリタルトキハ檢事ハ之ヲ監獄ニ留置セシムヘシ

第八條 留置シタル艦船乗組員ニ付領事官ヨリ放免ノ請求アリタルトキ又ハ逮捕ノ日ヨリ六箇月以内ニ於テ引渡ノ請求ナキトキハ之ヲ放免スヘシ

第九條 逮捕狀ノ發付及其ノ執行ニ付テハ刑事訴訟法中勾留狀ニ關スル規則ヲ準用ス

定ヲ準用ス

第十條 援助ニ關スル費用ハ檢事ニ於テ當該領事官ニ對シ其ノ實費額ノ請求ヲ爲スヘシ

第十一條 檢事ハ領事官ヨリ逮捕又ハ留置ニ關スル援助ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ司法大臣ニ報告スヘシ其ノ援助ヲ爲スヘキモノニ非スト認メタルトキ又ハ援助ノ手續ヲ終リタルトキ亦同シ

○恆松隆慶君(九十七番) 斯ウナリマスレバ、第八ガ九名、第十モ九名、第十二ガ九名、第十四ハ刑事訴訟法案ト云フモノガ、先キニ委員ニ付託セラレマシタ、是ハ稍、聯關シタヤウナ問題デゴザイマスカラ、第十四ノ外國艦船乗込云々ト云フヤウナ問題ハ、刑事訴訟法案ノ委員ニ託シテ、其他ハ各問題デ、各、九名ヅ、議長ガ指名スルト云フ意見デアリマス

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君ノ動議ノ委員ヲ議長ガ指名スルトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決レマス

○恆松隆慶君(九十七番) 十六十七ハ、ドウカ併テ、日程ニ載セラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 議事日程第十六、十七ハ併セテ議題ニ供シタイト云フ動議ガ出マシタガ、是ハ性質ガ同ジナモノデアリマスカラ、御異議ハアリマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、併セテ議題ニ供スルコトニ致シマス——委員長ノ報告、松田正久君

第十六 動產銀行法案(政府提出)

第十七 日本興業銀行法案(松田正久君外十二名提出)

(松田正久君演壇ニ登ル)

○松田正久君(百六十二番) 諸君、本員ハ日本興業銀行法案ノ審査委員長トシテ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ヲ致ス次第デゴザイマス、一體興業銀行法案ニ付キマシテハ、最初本院ニ提出サレタルトキニ當ツテ、議長ノ指名シタル委員ニ付託ヲサレタデアル、其翌日ニ至ツテ更ニ尙ホ政府ヨリ動產銀行法案ヲ本院ニ提出致サレタデゴザイマス、此兩案ト云フモノハ、先ヅ申サバ同一ノ性質ヲ具ヘタモノデゴザイマス、因テ委員會ニ於キマシテハ、此兩案ヲ併セテ審議ニ付シマシタル所、前例モアルコト、云フノデ、政府案タル動產銀行法案ヲ法案トシテ委員會ニ於テハ議シ、サウシテ議員提出ノ興業法案ハ、之ヲ修正案ト見テ、審議ニ付スルト云フコトニ相成リマシタ、其審議ノ末ニ於テ、日本動產銀行法案ニ修正ヲ加ヘタ譯デゴザイマス、其

修正案ハ諸君ノ御手許ニハヤ回ハレテゴザイマスルカラ、定テ御閱覽ニナ
タコト、思ヒマスル、其修正ヲ致シマシタル所ノ最モ緊要ナル點ヲ舉ゲマス
レバ、即チ興業銀行法案ニ於テ載セタル所ノ第二十條第二十一條及第二十
二條ヲ取ツテ以テ、勸業銀行法案ノ第十六條第十七條及第十八條ニ移スコト
ニ相成リマシタ、其外多少ノ修正削除モゴザイマスルケレドモ、此等ハ最モ
些細ナモノデゴザイマスルカラ、別段御報告ヲ致スノ必要モアルマイカト思
ヒマスカラ、其點ハ先ヅ省キマシテ、此三十箇條ノ修正ヲ採ツタル所ニ附イ
テ、稍、御報道ヲ詳シク致サナケレバナラヌカト思ヒマスル、固ヨリ政府ノ
意見ト委員ノ多數ノ意見ノ岐ル、所モ、此三箇條ノ點ニ附イテ岐レテ居ル
デアル、又委員ノ多數ト委員ノ少數ト意見ノ異ナル所モ、此三箇條ニ附イテ
デゴザイマスル、此三箇條ヲ約メテ見マスレバ、始ノ十六條デアル、十六條
ニ附イテハ、即チ政府ガ勸業銀行ノ元利ノ仕拂ヲスルコトガ出來ナイ時分ニ
當テ、政府ガ第二ノ保證ヲ致スコト云フコトニ相成ツテ居ルノデアル、政府ノ
勸業銀行法案ニ於キマシテハ、唯利子ノ補給ヲ致スコト云フコトニナツテ居
マスル、此點ニ附イテ政府並ニ委員ノ少數者ノ意見ハ、斯ノ如キ興業銀行ニ
向テ第二ノ保證ヲスル、即チ銀行ガ債券ヲ——外國ニ債券ヲ募ツテ其債券
ニ對スル元利ノ仕拂ガ出來ナイ時分ニハ、政府ガ保證ヲ致スコト云フコトハ、
是ハ甚ダ危險ナルモノデアル、萬一ニモ世界ノ恐慌ニ遇ツタ時分ニハ、其發行
シタル所ノ債券ノ額ハ、總テ政府ニ於テ其負擔ヲシナケレバナラヌモノデア
ルノデアルカラ、斯ノ如キ保證ヲ國家デ持ツト云フコトハ、甚ダ危險ノモノ
ト云フコトニ止マツテ居ルノデゴザイマスル、然ル所多數ノ委員デハ、如何
ナル意見ヲ持ツテ居ルカ、多數委員ノ意見ト申スモノハ、此保證ヲ致シタ
キニ、決シテ差支ナイト云フノデアル、固ヨリ政府ガ保證ヲ致スコト云フテ
モ、其保證ノ抵當トシテハ、第一ニ興業銀行ヨリシテ國債證券ヲ取ルノデア
ル、又地方債券ヲ保證ニ取ツテ置クノデアル、或ハ又會社ノ債券ヲ抵當ニ取
テ置クノデアル、斯ノ如キ確ナル抵當物ヲ取ル上カラハ、保證ヲ致シタ
云ツテモ、國家ニ於テモ、一モ損害ヲ被ラネバナラヌト云フノ危險ハ、ナイト云
フコトデゴザイマスル、固ヨリ國債證券ト雖モ、時アツテ價格ノ下落スルコ
トガアルノデアル、地方債券モ亦然リ、又社債ノ如キハ、最モ左様ナモノガ
ゴザリマセウケレドモ、其下落スル場合ニ當ツテハ、増抵當ヲ取ルコトハ、勿
論ノコトデアル、價格ノ相場ニ應ジテ、増抵當ヲ取ツテ置クナレバ、何モ危
險ノ憂ハナイノデアルト云フコトデアル、又國債證券ノ如キ世界ノ
恐慌ニ遇ツテ、或ハ非常ニ價格ヲ落スコトガアルカモ知レヌ、然レドモ是ハ
萬一ノ場合ヲ指スノデゴザイマシテ、想像シテ見レバ、左様ナコトモアルノ
デアラウケレドモ、實際ニ於テハ、國債證券ガ一モ代價ガナイト云フコトニ
ハ、決シテナラヌノデアル、又政府ガ國債證券ヲ第二ノ保證ニ取ル上カラハ、
國家ガ自ラ信用ヲ置イテ、此國債——日本ノ國債證券ト云フモノハ、左様ニ
價格ノ下落スベキモノデナイト云フコトハ、國家自ラ信ゼンケレバナラヌ、

即チ政府ハ自ラ信用ヲ置カナケレバナラヌノデアラウ、自ラ信用ヲ置
カザル上カラハ致方ガナイガ、信用ヲ置ク以上ト云フモノハ、國家ノ國債證券
ハ、ソレ程ニ下落ハシナイト言フコトハ、自分ニ於テモ保證ヲ立テネバナ
ラヌト云フ議論デゴザイマスル、地方債券ニ至ツテハ、國債證券ニ比シマスレ
バ、或ハ多少信用ガ薄イカモ知レヌ、然レドモ地方債券ハ御承知ノ如クニ是ハ
地方公共ノ團體ヲ以テ發行シタル債券デアレバ、公課ノ例ヲ以テ矢張優先權
ヲ政府ガ占メテ、地方ニ貸セルコトガ出來ルノデアル地方ガ存立致シテ居ル
限ハ、矢張其地方ハ債務ヲ果スノ義務ガ、チャント備ツテ居リマスカラ、決
シテ憂ハナイト云フ譯デゴザイマスル、社債券ノ如キハ最モ信用ガ薄イカモ
知レヌ、併ナガラ社債券ト申シテモ、其會社ノ損益如何ニ拘ラズ、元利ノ仕
拂ト云フモノハ、株券ノ利子ノ配當ヲ致ス前ニドウシテハセヌケレバ
ラヌコトニナツテ居ルノデアル、シテ見マスレバ例ヘバ會社ノ——其會社ノ
株券ガ下ゲマシテモ、社債ニ附イテ元利ノ仕拂ヲ第一ニ會社ガ果サナケレバ
ナラヌノ義務ヲ持ツテ居リマスカラ、其會社ガ破産ヲシナイ以上ト云フモノ
ハ、ソレマデノ信用ト云フモノヲ其會社ニ置イテ宜イト云フコトニナツテ居
リマス、斯ノ如ク先ヅ信用ノ置カレルモノデアツテ見レバ、此三種ノ種類ノ
證券ヲ政府ニ收メテ、第二ノ保證ヲシテ居リマスルナラバ、縱令多少ノ恐慌
ガアツテモ、決シテ國家ニ損害ノ責任ヲ持タネバナラヌト云フヤウナコト
ハ、先ヅナイト云フ譯デゴザイマスル、成ル程危險ト云ヘバ危險ナルモノデア
ル、然レドモ危險ト云フ上カラ言ツテ見マスレバ、唯此興業銀行ノ一行ノミ
ナラズ、他ノ各種ノ銀行ニ於テモ、勿論危險ノ性質ヲ持ツテ居ルノデゴザイ
マシテ、例ヘバ日本銀行ノ如キモ、兌換券ノ保證準備ニ對シテ商業手形マデ
モ差出シテアルノデアル、商業手形ノ如キ其振出人ガ破産ヲ致スコトキニア
テハ、先ヅ一文モ價ガナイトセンケレバナラヌ、然レドモ是デサヘモガ、兌
換券ノ準備ニ供シテ居ル位デアル、又日本銀行ヨリ貸出ヲ致スコトニ、各種ノ
鐵道株券又ハ郵船株券取ツテ、之ヲ見返リ品トシテ抵當ニ取ツテ、貸出ヲ
致スコトデゴザイマセウ、鐵道會社ガ利益ガ少ナクナル、或ハ鐵道會社ガ恐慌
ヲ致シ、日本郵船會社ガ不繁昌デアルト云フヤウナ時分ニ、斯ノ如キ株券モ
下落スルニ違ヒナイ、然レドモ日本銀行ハ又斯ウ云フ種類ノ株券ヲ抵當ニ
取ツテ、金ヲ貸シテ居テ、是マデノ所實際ニ於テ何程ノ恐慌モ來シテ居ラヌ
ト云フコトハ、諸君ガ現ニ見テ居ラレ所デアリマス、若シ此實例ヲ以テ見
マスレバ、則チ商業手形ヲ第二ノ保證ト致シ、或ハ又株券ヲ第二ノ保證ト
致シテ差支ナイカモ知レマセヌケレドモ、最モ確實ヲ望ム所ヨリシテ、此興業
銀行ニ於テハ、決シテ右ノヤウナ株券ヲ、政府ノ第二保證ニ取ルコトハ出
來ヌト持ヘテアルノデアル、必ズ最モ確實ナル國債證券地方債券社債券ノ三
種ニ限ツテアリマスカラ、愈、以テ其第二保證ノ確實ナルコトヲ證スルニ足リ
ルデアラウ、(議論ガ間違ツテ居ル)ト呼フ者アリ)是ガ即チ多數ノ委員ガ
認メテ以テ危險ハナイト致シテ、第十六條ヨリ第十八條マデ修正案トシテ
採用致シタル理由ノ先ヅ大ナルモノデゴザイマス、私モ實ハ提出者ノ一人デ

アリマシテ、此多數ノ委員即チ六名ニ對スル十名ノ多數ノ意見ニ贊同ヲ致シタル一人デゴザイマス、因テ私モ一個人トシテ、コ、ハ一言ヲ加ヘヤウト思ヒマスルガ、反對ノ説ヲ爲ス者ニ於テハ、前ニ申シタル如クニ、甚ダ危險ナルト云フコトヲ言ハレルノデアル、然レドモ亦一面ニハ、一昨年若クハ昨年ノ如キ經濟社會ノ恐慌ノ場合ニ在リテハ、或ハ斯ノ如キ銀行モ必要デアラウカト云フコトヲ言フ人モアルノデアリマスケレドモ、今日ノ如キ金融モ緩和ニナリ、從テ經濟界モ順當ニ復スルト云フ場合ニ於テ、斯ノ如キ銀行ヲ置イテ、政府ガ第二保證ヲスル必要ハナイト云フ議論デアリマスガ、固ヨリ戰後昨年ノ前半季頃マデノ間ノ如キ、金融甚ダ逼迫ニシテ、經濟界ニ恐慌ヲ來ス場合ニ方ッテハ、斯ノ如キ銀行ノ存立ハ最も必要デアラウト云フコトハ、私モ固ヨリ信ヲ下シテ居ルノデアル、併シ斯ノ如キ銀行ハ決シテ一時ノ救濟策ノメニ設ケベキモノデナイト思フ、此銀行ノ施設ト云フコトハ、固ヨリ經濟機關ノ緩融ヲ致ス所ノモノニシテ、而モ永遠無窮ニ存セシメナケレバナラヌモノデアラウト考ヘマスレバ、一昨年ヨリ昨年ニ至リテハ、經濟界ノ狀況如何デゴザイマス、各會社各銀行モ大ニ困難ヲ極メテ、當時ノ政府ニ迫ッテ——諸君ノ中ニモ政府ニ餘程ノ御迫リニナッタ方ガアルカモ知レヌ、此策ハ如何ニ致スカト云フコトヲ段々申シタルモアル、當時ノ政府ハ已ムヲ得ズレテ先ヅ債金ヲ取ツテ、終ニ四千万ニ垂ントスル公債證書ヲ買上ゲテ、サウシテ一方ニ於テハ、公債ノ價格ヲ保チ、一面ニ於テハ經濟界ノ困難ヲ救濟シタルデゴザイマセウ、若シモ當時ニ債金ガナカッタナラバザ——幸ニ債金ガアルカ、斯様ナ救濟策モ採ラレタルデアル、若シモ債金ガナカッタ、而シテ斯ノ如キ銀行ガナカッタナレバ、看ス——經濟界ノ困難ヲ見テ居ルマデニシテ、終ニ救濟策ガナカッタカモ知レヌト、吾々ハ考ヘテ居タルノデアルケレドモ、債金ハ決シテ何時デモ存在スルモノデナイト、早ヤ已ニ消費シ盡シタルデゴザイマセウ、今後ニ於テモ是マデノ如ク經濟界ノ恐慌ニ遭フコトガナイトモ限ラヌノデアル、若シモ左様ナ場合ニ於テハ、斯ノ如キ銀行ガ必ズ必要デアル、斯ノ如キ銀行デ以テ經濟界ノ困厄ヲ扶クルト云フ機關ガ備ッテ居ナケレバ、大ニ經濟界ニ於テ困難ヲ極メルデアラウト考ヘルノデアル、若シモ危險ナ點ヨリ言フテ見マシタルバ、是ハドウ云フ危險ニ遭フ、斯ウ云フ危險ニ逢フト云フコトハ、豫メ言ハレナイモノデアッテ、唯想像シテ見レバ、斯様ナコトモアラウト云フコトガ言ハレルノデゴザイマス、若シ想像カラ言ヘバ、天地モ時ニ覆ヘルカモ知レヌ、左様ナコトヲ以テ經濟界ノ機關ヲ備ヘルニ附イテ、異論ヲ起スト云フヤウナコトハ、甚ダ分ラヌ説デアラウト考ヘマスル、且ツ又此興業銀行ニ附イテハ、政府ニ於テ十分ノ監督ヲ有ッテ居ルノデアル、又有ダンケレバナラナイ、十分ノ監督ヲ有ッテ居ル以上ハ、決シテ興業銀行ガ時アツテ其抵當ニ取ツタル所ノ債券證券ノ如キモノニ附イテ、困難ノ場合ニ陥ラヌダケノコトハ、當局者ニ於テ注意ヲ致サンケレバナラヌ、又致スノ權利モゴザイマセウ、若シモ斯様ナ監督ヲ有ッテ居ッテ、

政府自カラガ危險ナリト云ッテ、之ヲ致スヤウナコトデアレバ、其局ニ當ル者ノ技術ガナイ、或ハ能力ガナイト云ッテ宜カラウト思フノデアル、又銀行總裁ヲ選ブニ於テモ、矢張是ハ政府ノ選擇ニ在セルト云フコトニナッテ居ル、シテ見マスレバ其人物ノ選舉如何ニアルコトデアッテ、若シモ相當ノ人物ヲ得テ、此銀行ノ總裁ト爲スト云フコトニナッテ見レバ、十分ノ働ヲ爲スデアラウト考ヘラレル、若シモ此銀行ガ(モウ分ッタルト呼フ者アリ)若シモ此銀行ガ其職分ヲ盡スコトガ出來ナクッテ、或ハ破産ノ實況ヲ見ルト云フヤウナコトニナルコトヲ恐レルナラバザヤ、政府モ能力ガナイ、又興業銀行ノ役員モ能力ガナイト云フコトニナッテシマウテ、要スルニ日本人ト云フモノハ、マルデ斯様ナコトヲスルノ能力ハ有タヌト云フコトニナラウト思フ(「ノウ」ト呼フ者アリ)私ハ決シテ政府ノ其局ニ當ル人ガ、政府ニ於テモ、銀行社會ニ於テモ、是位ナコトハ十分繰回スノ能力ヲ有ッテ居リ、技術ヲ持ッテ居ルダラウト信用ヲ致シテ居リマスカラ、決シテ差支ノナイコト、考ヘマスカデ、茲ニ一言ヲ加ヘテ置タル譯デゴザイマス、ドウゾ諸君ハ御安心アッテ、此案ニ贊成アラシコトヲ望ミマス

○關直彦君(五十五番) 委員長ニ質問致シマスガ、委員長ハ豫テ大藏大臣ヲシテ居ラレタ節ニ、四千万圓ノ公債ヲ買上ゲテ、公債ノ價格ヲ維持シタルト云フコトデアルガ、成ル程幾分か買上ゲタルメニ價格ヲ維持シタルハ相違ナイガ、若シ一朝ニシテ此場合ガ顛倒シテ、政府ハ金ガイルカラ、四千万圓ノ公債ヲ賣出サンナラヌト云フ場合ニナツタナラバ、如何ナル程度迄下落スルカト云フコトヲ御問申サンケレバナラヌノデアリマス、反對者ノ憂フル所ハ、コ、デアアル、ドウカ御説明ヲ伺ヒタイ

○松田正久君(百六十二番) 何ニカ能ク分リマセヌガ、如何ナル點マデ公債ガ下落スルカト云フコトデアリマスガ

○關直彦君(五十五番) ツコガ想像ガ附カヌノデスカラ……
○松田正久君(百六十二番) ソナナコトハ私ガ辯明スル限ヂヤナイト思ウテ居ル、是ハ御自身デ御判斷スルコト、思ウテ居リマス

○恆松隆慶君(九十七番) チョット唯今ハ二法案ガ問題ニナッテ居リマスガ、委員長ニ御尋申スノハ、政府案即チ動產銀行法案ヲ土臺トシテ、ソレカラ唯今ノ委員長ノ松田君鳩山君佐々君其他合セテ十三名ノ提出者デ、贊成者ガ九十八名デ提出シタル案ヲ以テ、動產銀行法案ヲ修正セラレタル案デアリマスカラ、動產銀行法案ノ修正ト云フモノガ宜イト云フコトニナレバ、モウ日本興業銀行ト云フノハ、別ニ議サヌ順序ニナルト思ヒマスガ、ソレデ宜シイノデスカ

○松田正久君(百六十二番) 固ヨリサウデアリマス、最初報告シタ通、動產銀行法案ヲ土臺トシテ、興業銀行法案ヲ以テ修正ヲ致シタル譯デアリマスカラ、若シ此日本興業銀行法案ト云フモノガ、修正通採用セラレバ、初二出シタルモノハ廢棄トナリマス

○田口卯吉君(百四番) チョット質問致シマスガ、此修正ノ第十六條ニ依リマヌルト、政府ガ債券ノ元金及利子ニ對シテ、仕拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得ト、此利子ニ對シテ保證ヲ爲スコト云フ手續ヲチョット承テ置キタイ、例ヘバ外國ノ債主ガ此勸業銀行ニ向テ利子ノ請求ヲシテ來タ時分ニ、勸業銀行ガ利子ガ拂ヘヌトキニ、政府ガ其利子ヲ拂フ方法ト云フモノハ、裁判所ニ出テ判決ヲ受ケタ後ニ、始テ政府ガ之ヲ仕拂フ順序ニナルカ、コレトモ勸業銀行ニ行ツテ、而シテ利子ヲ請求シタ所ガ、唯今ハ仕拂ガ出來ヌト云フトキニ直グニ政府ニ向テ利子ヲ請求スルコトニナルカ、是等ノ點ハ外國ノ債主ニナルト、危險ノ度ガ餘程遠フ、原案者ノ書方ニ依ルト、誠ニ誤トシテ分ラヌ原案者ハドウ云フ精神デアアルカ、コレヲ承ハリタイ

○松田正久君(百六十二番) サウ云フコトハ、委員會ニ於テハ問題ニナツテ居ナイノデアアル、併シコレデヤカラ委員會ヲ代表スル御答ハスルコトハ出來ヌガ、私一人ノ考ヲ以テ見レバ、左様ノコトハ若シ外國人ト其會社トノ間ニ仕拂ノ出來ル出來ヌニ附イテ、訴訟ガ起ルト云フコトニナリマシタナラバ、ワレハ訴訟ノ後デ政府ニ迫ッテ來ルカモ知レマセヌ、政府ニ迫ッテ來タ時分ハ、日本政府ガ保證シテ居ルノデアアルカラ、拂ハナケレバナラヌガ、或ハ又サウ云フコトガ始ヨリ訴訟ニナルト云フコトデハ、抑私ハ往クマイト考ヘルノデアアル、實ハ斯様ノ法律ヲ立ツテ、此法律ニ依ッテ銀行ヲ立テルト云フナラバ、サウ云フ杞憂ヲ懷クノ必要ハナイノデアアル、固ヨリワレハドウモ拂ヘナイ金ダカラ保證シタ以上ハ、ワレハ拂ヘルヤウニシテヤル、第二ノ保證ヲ取ッテ居ルカラ、賣却シテヤルト云フコトモアルデアラウ、ワレカラ若シ此法案ニ附イテ、不完全ナ點ガアルナラバ、別ニ施行規則ヲ拵ヘテモ宜イ、又御修正ニナツテモ宜イト思フ

○工藤行幹君(百二十五番) 委員長ニ御尋致シマスガ、必要ト認ムルトキハ保證スルコトヲ得ト云フノデアアルガ、必要ト云フ場合ハ、憲法六十二條ニ依ッテ、更ニ議會ノ協賛ヲ求メルト云フノデアアルガ、或ハ此法案ガ通過シタ以上ハ、議會ノ協賛ヲ經ズ、直チニ保證ヲ與ヘルノデアアルカ

○松田正久君(百六十二番) 提出者ノ一人ヨリ其事ニ附イテ言ハレタコトモアリマスガ、其提出者一人ノ考ニ依レバ、縱令法律ガ存シテ居テモ、憲法ハ國庫ノ負擔トナルモノハ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌト云フコトデアアルカラ、定テ協賛ヲ經ルコトニセンケレバナラヌト云フ報告ハアツタノデアアルガ、一體ハ憲法上ノ問題デゴザイマスカラ、縱令委員會ガ提出者一人ノ說ヲ聞イテ、然リキヤト言ツテ見タ所ガ、憲法上ノ解釋デゴザイマスレバ、委員會ニ於テ縱令爾ク決定シタ所デ、效用ハナイト考ヘマス

○工藤行幹君(百二十五番) 提出者ノ一人トシテ、松田正久君ハ如何ニ其必要(無用々々)ト呼フ者アリテ聽取スルコト能ハス……

○松田正久君(百六十二番) 私一人ニ對シテ、憲法上ノ解釋ヲセヨト云フ御積デアリマスカ

○工藤行幹君(百二十五番) ドウ云フ積デ提出者ハ拵ヘラレタカ……
○松田正久君(百六十二番) 即チ提出者ノ一人ガ申シタ如ク考ヘテ居ルガ、ケレドモ憲法ノ問題ニ屬スルコトデアリマスカラ、私杯ガ決定シタ所デ效用ハゴザイマセヌ
○西村淳藏君(六十二番) 最早質問ヲ止メテ、討論ニ移ラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 關直彦君

(關直彦君演壇ニ登ル)

○關直彦君(五十五番) 私ハ委員會ノ少數者、即チ三分ノ一ノ意見ヲ代表致シマシテ、報告ヲ申上ゲヤウト考ヘマス、コレデ其少數者ノ意見ハ今委員長カラ報告サレマシタ修正中ノ第十六條第十七條及第十八條ト云フモノヲ削除スルト云フコトノ意見デゴザイマス、即チ松田委員長ガ報告サレマシタル日本勸業銀行法中ノ第二十條二十一條二十二條、即チ勸業銀行ガ外國ニ向ッテ債券ヲ發行スル、其債務ノ保證ヲ政府ニサセルト云フコトノ精神ヲ以テ、修正サレマシタル箇條ヲ排斥スルノデゴザイマスデ、少シク進ンデ其何故ニ政府ノ保證ガ危險デアアルカラシテ、之ヲ排斥シナケレバナラヌカト云フコトノ理由ヲ少シク述べタイノデゴザイマスガ、成ルベク簡短ニ述べマスカラ、諸君少シノ時間ヲ本員ニ御假シアランコトヲ希望致シマス、デ此修正ノ——委員多數ノ修正ノ精神ニ依リマスルト云フト、日本勸業銀行ヲシテ外資ヲ輸入セシムルノ一ノ門戶トスルノデアアル、コレニハ政府ガ保證ヲシナケレバ、外資ハ輸入スルコトガ出來ナイト云フコトデアアル、成ル程ワレニハ違ヒゴザイマセヌ、併ナガラ政府ガ保證スルト云フ裏ニハ、詰リ銀行ガ此元利五千萬圓以上ノ元利ヲ支拂フコトノ出來ナイトキニハ、政府ガ之ヲ引受ケテ辨償ヲシナケレバナラヌト云フ責任ヲ有ツテ居ル、即チ此責任ガ確實デナケレバ、外國ノ資本家ハ決シテ日本勸業銀行ニ向ッテ金ヲ貸ス氣遣ハナイノデアリマス、デ是ニ向ッテ危險デアアルト云フコトヲ言フトデス、擔保ヲ取ツテ置ケカラ、氣遣ナイト云フコトヲ言ハレルノデアアル、其擔保ト云フモノハ、如何ナルモノデアアルカト申シマス、政府ノ發行シタ所ノ、國債證券地方債證券及各會社ノ發行スル社債券デアアルト云フノデアアル、私共ノ憂フル所ハ、常ニ平常ノ場合ニ於テハ、左様ナル抵當物ト云フモノハ委員長ノ言ハレタ通確實デアアルニ違ヒナイ、商業手形デサヘモ、信用ノアル人間ノ商業手形デアアレバ、確實デアアルニ相違ナイノデアリマス、況ヤ國債證券地方債證券ノ如キハ、委員長ノ御講釋ヲ俟タズシテ、確實ナモノニ違ヒナイ、併ナガバ此一千万圓ノ大銀行ガ倒産スルト云フ場合ハ、如何ナル場合デアアルカト云フコトヲ想像シナケレバナラナイ、即チ社會ガ大恐慌ニ瀕シタトキデアアルノデゴザイマス、其社會ノ大恐慌ニ瀕シタトキニ方ツテ、政府ガ五千万圓以上ノ保證ヲシタル債務ヲ拂ハナケレバナラヌタメニ、政府

ノ國債證券及社債券ヲ賣出サナケレバナラヌト云フトキハ、是ガ果シテ如何ナル國ヘ持ッテ往ッテ賣レマセウカ、我國ニ於テハ賣レル氣遣ヒハナイノデアル、僅ニ數千萬圓ノ公債證券ヲ賣出スト云フコトヲ想像シタ場合ニハ、必ズ此價格ガ下落スルノデアリマス、況ヤ政府ガ五千萬圓以上ノ負擔ヲ背負ッテ、之ヲ拂ハヌナラヌト云フトキニ際シテ、賣拂フト云フトキニ如何ナル程度マデ下落スルカ、又底止スル所ヲ知ラヌノデアリマス、此位ナ賭易キ道理ガ委員長——人身攻撃ハ致シマセヌガ、委員長閣下ガ大藏大臣トシテ日本政府ノ大藏大臣——其局ニ當ラレタコトガアルノデアアル、其位ナ危險ナルコトノ想像ニ及バヌト云フ冷笑的ノ御答辯ハ、我輩甚ダ感服致サヌノデゴザイマス、デ右様ナ次第デアリマススルカラシテ、若シ恐慌ノ場合ニ於テ、到底此擔保トシテ取ッテ居ル所ノ各債券ト云フモノガ、何ノ役ニモ立タヌト云フ以上ハ、五千萬圓以上ノ元利ト云フモノヲ政府ガ仕拂ハナケレバナラヌガ、其財源ハ果シテドコニ得ルカト云フコトヲ諸君ニ御問ヒ申サナケレバナラナイ、僅ニ四百万圓五百万圓ノ金ガ足ラヌト云ウテ、或ハ醬油稅デゴザル、或ハ郵便稅ノ増加デアルト云フヤウナル惡稅ヲ増シテ、汲々トシテ居ル今日デアアルガ、若シ事有ルニ當ッテ、此五千万圓ノ債務ヲ仕拂ハナケレバナラヌ、此議案ガ當議會ニ現レタトキニハ、如何ナル財源ヲ以テ之ヲ填補シヤウト云フ御考デアリマス、到底國庫ノ堪ヘナイコトデアルト考ヘマス、斯様ナル危險ナル分子ヲ含シタ所ノ修正ト云フモノハ、一個ノ或ハ少數ノ會社若クハ實業家ヲ利スルタメニハ、誠ニ宜イコトデアリマセウガ、國庫ガ斯様ナル危險ヲ負擔センナラヌト云フコトハ、以テノ外ノ次第デアルト考ヘマス、ソレカラモウ一ツ申シテ置カナケレバナラヌノハ、我政府ハ隨分是カラ外債ヲ募ラナケレバナラヌノデアアル、自分ガ仕事スルニ附イテ、外債ヲ募ラナケレバナラヌノデアリマス、今ノ興業銀行ハ人ノ商賣ニ向ッテ保證ヲシテヤルト云フノデアアル、又政府ハ自分ノ仕事ニ向ッテ外債ヲ募ラナケレバナラヌコトガアル、即チ目前ニ追ッテ居ル所ノ問題ハ、鐵道ヲ完成スルガタメニハ、幾千万圓ノ外債ヲ募ラナケレバナラナイ、又交通ノ機關ヲ改良進歩セシムルニモ、數千万圓ノ外債ヲ募ラナケレバナラヌノデアリマス、又臺灣ノ事業公債ト云フモノモ、四千万圓以上アル、斯ル一億萬圓以上ノ外債ヲ日本政府ハ自ら自分ノ仕事スルタメニ募ラナケレバナラヌト云フ場合ニ當ッテ、日本政府ノ信用如何ト云フコトガ、最モ大事ナコトデアルト考ヘル、デ之ヲ近ク例ヲ取ッテ見ルナラバ、人ニ金ヲ貸スニ當ッテ、此人ガ信用ガアルカ如何、果シテ金ハ返セルカ如何ト云フコトヲ債權者ハ見ルニ相違ナイ、而シテ其金ヲ借りルト云フ人ガ、既ニ數萬圓ノ保證ヲ朋友ノタメニシテアルト云フ義務ヲ負ウテ居ル人デアアルナラバ、決シテ債權者ハ金ハ貸サヌノデアリマス、ソレト同ジコトデ、既ニ日本政府ハ斯ル危險ナル保證ヲ——五千万圓以上ノ保證ヲ一會社ヲ保護スルタメニ、一銀行ヲ保護スルタメニ、危險ナル義務ヲ負ウテアルト云フコトガ、外國人ガ知ッタナラバ、日本政府ガ自ら募ラントシテ居ル公債ニ向ッテ、果シ

テ信用ヲ外國人ガ置クデアラウカドウカト云フコトハ、深ク憂慮ニ堪ヘナイノデゴザイマス、國家ノタメニ仕事ヲシヤウト云フ場合ニ信用ヲ失ッテ、金ヲ借りルコトガ出來ナイ、一方ニハ人ノ商賣ノ保證ヲシテヤッタ、其負擔ヲセンナラヌト云フヤウナ、愚ナ結果ガ生ズルデアラウト考ヘル、デ政府モ諸君モ吾々モ共ニ一番財政ノコトヲ憂慮シマシテ、國庫ノ財政ハ頗ル鞏固ニシナケレバナラヌト云フコトハ、殆ド反對者モ異口同音デアアルノデアアル、此國庫ノ財政ヲ鞏固ニスルコト云フコトニ對シテハ、或ハ國民ノ膏血ヲ絞ッテ地租ヲ上ゲル、或ハ醬油稅ヲ上ゲル、種々ナル稅源ヲ求メテ、國庫ノ財政ヲ鞏固ニシヤウト云フコトヲ務メ居ラレルノデアアル、吾々モ亦他ノ方法ヲ以テ、諸君トハ反對ナ他ノ方法ヲ以テ、國庫ノ財政ヲ鞏固ニスヤウト云フコトハ、考ヘテ居ルノデアアルガ、一方ニハ國庫ノ財政ヲ鞏固ニスルコトヲ云フコトハ、執リツ、アリナガラ、一方ニハ國庫ノ財政ヲ紊亂スルコトヲ云フコトヲ方策ヲト云フノハ、如何ニモ考ノナイ、智恵ノナイコトデアルト、私ハ考ヘル、頻ニ前大藏大臣タル委員長ハ、反對者ノ憂慮スル所ヲ冷笑サレテ、斯ルコトヲ憂慮スルモノハ、無能力デアルト言ハヌマデノコトヲ言ハレタガ、吾々ハ無能力デアルカモ知レナイガ、斯ル樂天主義ノ人物ノ大藏ノ局ニ私ハ信用ヲ置クコトハ出來ナイノデアアル、甚ダ危イノデアアル、私ハ最早喋々述ベマセヌ、唯斯様ナル危險ナル分子ヲ含シタ所ノ修正案ニハ、全クノ反對デゴザイマスカラシテ、成ラウコトナラ木案ヲ否決シタイノデゴザイマス、併ナガラ多數ノ意向ヲ以テ本案ノ第二讀會ヲ通過スルト云フコトニナリマスレバ、遺憾ナガラ此少數意見ヲ以テ、此危險ナル修正案ヲ排斥シヤウト云フ考デゴザイマスカラ、願ハクバ憂國ノ諸君ハ何卒此少數意見ニ御贊成アラントヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君——反對ノ意見ヲ通告ニナッテ居リマスガ……

○工藤行幹君(百二十五番) 私ハ二讀會ニヤル意見デアリマス

○星松三郎君(二百四十一番) チョット政府委員ニ質問致シタイ、此債券ニ向ッテ政府ハ保證ヲ爲スコトヲ得ト云フコトガゴザイマスガ、是ニ向ッテハ動產銀行ノ方ニハ、此保證ト云フモノガナイノデアアル、即チ動產銀行ノ變ジタモノガ、即チ日本興業銀行トナッタノデ、動產銀行ノ形ヲ取ッテ、此一條ダケヲ加ヘタモノデアアルガ、政府ガ動產銀行ニハ、此方ハ一條ヲ設ケテナイノデアアルカラ、政府ガ同意ルヤ否ヤ、是ガ一番大事ナコトデアラウト考ヘマスカラ、政府ノ意向ハ如何デアアルカ、是ニ同意シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ聞キタイノデアリマス

(政府委員大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 唯今ノ御尋ノ如ク、此日本興業銀行ノ十六條十七條ガ這入リマシタニ附キマシテハ、此十六條ノ保證ハ政府ニ於テ差支ナイト云フカ、如何ト云フ御尋ノヤウデアリマスガ

○星松三郎君(二百四十二番) サウデス

○政府委員(松尾臣善君) 是ハ此案ガ本議會ニ出マシタ時分ニモ、大藏次官カラ申上ゲマシタ通ニ、此債券ノ保證ニ立チマスルコトハ、國家ノ負擔ヲ増シマスルコトデゴザイマスル、殊ニ外國ニ對スル所ノ保證デゴザイマス、餘程外國ニ債ヲ負ヒマスルコトニ附キマシテハ、慎重ニ取調ベナケレバナリマセヌ、段々考ヘマシタ所デハ、是ニハドウシテモ同意ヲスルコトガ出來ナイト云フコトニ考ヘテ居リマスカラ、トウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○新井章吾君(百七十二番) 政府委員ニ質問致シマス、唯今此ノ第二ノ保證ト云フコトニ附キマシテ、同意セラレヌト云フ政府ノ御答辯デアリマスガ、ソレデハ一ツ御伺ヒ致シテ置カネバナラヌコトガアル、前々内閣ノ即チ伊藤侯爵ガ總理大臣トナツテ、井上伯爵ガ大藏大臣トナツテ居ルトキニ當ツテ、工業銀行ト稱シテ即チ茲ニ現レテ居ルヤウナ議案ヲ提出セント致シタコトガアル、私共聞ク所ニ依レバ、其トキハ政府ノ意見ト云フモノハ第二ノ保證ヲスルト云フコトニ決定致シテ、既ニ或ル國ヘ電報ヲ以テ外資ヲ借リルコトガ——貸スコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトマデモ電報ヲ以テ開イタルコトガアル(無用々々)ト呼フ者アリ)又(ヤルベシヤルベシ)ト呼フ者アリ(議場騷然)其時ニ當ツテ政府ハ秘密ニシテ居ッタガ、然ルニ三井岩崎等ノ連中ガ其コトヲ聞込シテ、己ノタメニ不利益ダト云フタメニ、政府ニ向ツテサウ云フ議案ハ出シテ貰ヒタクナイ、ドウカ出サヌヤウニシテ貰ヒタイト云フコトヲ大藏大臣ニ迫ッタ、井上サンモ各大臣モ一致ニ依ツテ已ムヲ得ヌ最初ハ工業銀行ヲ提出スル決心デアッタガ、三井岩崎ニ迫ラレテ其提出ヲ大ニ躊躇シタト云フコトガアル、其トキハ現在ノ田尻サンモ矢張次官デアッタラウト思フ、田尻サンモ第二ノ保證スルト云フコトハ、御同意ト云フコトヲ、私ハ聞イテ居ル、然ルニ其トキニ於テハ其井上サンモ間欲ニナツテ、總理大臣各大臣皆同意ナノデアアル、ソレデ大藏大臣モ同意致シタケレドモ、三井岩崎ノタメニ責立テラレテ、殆ド閉口シテシマウタノデアッタケレドモ、一旦決定致シテ、既ニ外國マデ照會ヲ致シタコトデアリマスガ故ニ(無用々々)ト呼フ者アリ)諸君聽キタマヘ——提出シナケレバナラヌト云フ有様ニナツタ所ガ、大藏大臣ノタメ竝ニ三井岩崎ノタメニハ、幸ナルカナ、議會ハ解散トナリ、續イテ其コトハ濟ンデシマヒマシタケレドモ……

○議長(片岡健吉君) 新井章吾君、問題外デ質問トハ思ヒマセヌ

○新井章吾君(百七十二番) 本年提出シタル此議案ニ附イテハ、第二保證ガ不同意ダト云フハ、私ハ譯ガ分ラヌ、矢張り以前ノ如ク三井岩崎ノタメニ此第二ノ保證ハ出來ナイト云フノデアアルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ答辯ヲ得タイノデアリマス

(政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今新井君ノ仰シヤイマスルコトハ、吾ハ夢ニモ知ラヌコトデアリマス

(新井章吾君「田尻君ハ嘘ヲ言フノアス」ト呼フ)

(田口卯吉君演壇ニ登ル)

○田口卯吉君(百四番) 諸君、本員ハ政府案ニモ又修正案ニモ共ニ反對デゴザイマス、而シテ此原案ニ反對ト云フ點ニ於テハ、即チ唯今委員長ノ述べラレタ如ク、全ク委員長其他諸君ト意見ヲ同ウシテ居ルノデス、ト申スモノハ今日ニ當リテ彼ノ勸業銀行ノ如キモノヲ我國ニ建テマシタ所ガ、何ノ益ガアルカ、内地デ募集スル債券ヲ發行サセタ所ガ、債券ハ連モ募レナイ、彼ノ勸業銀行ノ有様ヲ見マシテモ、農工銀行ノ有様ヲ見マシテモ、連モコンナモノヲ置イタ所ガ國家ニ益モナク又株式ニ益ノナイト云フコトハ、分リ切ツテ居ル、ソレ故ニ此點ニ於テハ私共ハ彼ノ委員長其他諸君ガ之ヲ非ナリトシテ反對セラレタ點ニ御同意ヲスル、併ナガラ又委員長其他諸君ガ之ヲ修正セラレタル點ニ附キマシテハ、更ニ反對スルノデス、其趣意ハ何カト申シマスレバ、先刻少數意見ヲ關君ヨリ述べラレマシタガ、其點ニ於テモ御同意デアリマスガ、私ハ第一ニ國家ノ體面上斯ノ如キ耻カシキコトヲシテ貰ヒタクナイト云フノデアアル、我日本ノ一私立銀行ニ向ツテ、政府ガ保證ヲシテ債券ヲ歐羅巴ノ市場ヘ出ス、私ハソナ例ハ外國ニ見ナイ、或ハ或ル國デハヤツテ居ルカ知ラヌガ、イヅレソレ等ノ國ハアレバデス、貧乏國ニ違ヒナイ、私ハ大キナ國トシテ、堂々タル帝國トシテ、ソナナコトヲシテ居ル國ハナイコトハ、確デアル、試ニ一例ヲ設ケテ見マセウナラバ、今日田舎ノ或ル農工銀行ガ債券ヲ發行ガ出來ナイ、ソコデ其縣會ガ其債券ヲ保證シテ、東京ノ市場ヘ持ツテ來テ、ドウゾ債券ヲ買ツテ呉レヌカト言ウタラ、ドウデゴザイマセウ、其縣會ノ貧乏ニシテ其農工銀行ノ卑シイト云フコトハ、一言直チニ分ル東京ノ銀行ハ直チニソナ債券ハイヤデゴザルト言ツテ割付ケマス、而シテデス、其債券ノ利子ノ拂方、竝ニ元金ノ拂方ハドウデアアル、是ハ先刻私ガ委員長ニ承ツタ所ガ、委員長ノ御辯明ガナイ、此利子ノ拂方次第デ以テ、更ニ銀行ガ拒絕スルデス、農工銀行ヘ行ツテ取附ケタ所ガ、直グニ拂ハヌ、ソコデ縣廳ニ向ツテ要求スル、其間ニ幾日モ手續ガ掛ル、日數ヲ經テ色々裁判沙汰杯ヲスル、ソナナコトノ不安心ナル債券ニ歐羅巴ノ銀行ガ貸シマセウカ、若シ國家ノ金ガ必要ナラバ外債ヲ起サレバ宜シイデス、ソレ故ニ私ハ體面上之ニ反對スル、ソレカラ第一ニハ、利益上反對シマス、斯ノ如キ債券ヲ以テ歐羅巴ノ市場ニ往ツテ、買ツテ呉レタ……ト騷ギマシタ所ガ、ドウシテ安利デ貸シマセウ、イヅレ必ズ高イ利デ以テ萬一ノ危險ヲ見込シテ買フヨリ仕方ガナイ、サウシテ見レバ歐羅巴ノ金利ハ、縱令四分トカ三分ノ安イニシタ所ガ、斯ノ如キ債券ニ掛ケルヤウナ危險ヲ履ム所ノ債主ハ、決シテ安利デハ貸シマセヌデス、歐羅巴ニモ高利貸ハ大勢アルノデ、高利貸ノ高利ト云フモノハ、日本ノ高利ヨリモ強イヤツモアルノデス、ソレニ掛ツテ來ルナラバ何ノ役ニ立ツ、國家ノ金融逼迫ノトキニ之ヲ救フ方法ト云フモノハ、外國ノ實例實ニ幾ラモアル、公債ヲ發行スルナリ、或ハ外國ノ中央銀行ト「コルレス」ボンデ

「ス」ヲ組ンテ其金ヲ此方ニ引ク、斯様ニ安利ノ金ヲ引ク方法ハアルノデ
ス、誰ガ思付イタカ、コンナ政府保護ノ債券ヲ發行スルト云フコトヲ近頃述
立テ、ツレヲ一ニ棟屋アタリガ乘氣ニナツテ、國家ノ體面モ知ラズ、又
其安利ノ借リラレナイコトモ知ラズニ唱ヘテ居ッタモノガ、遂ニモノニナ
テ、斯ク議場ニ現ハレルト云フノハ、本員如何ニモ奇怪ニ堪ヘナイ、私ハ斯
ク反對シマスケドモ、此提出者諸君ガ國家ヲ憂ヘラルレ御考ニ於テハ、御同
一デアル、昨年來隨分金融逼迫ノトキニ當ツテハ、斯ノ如キ考ヲ起サレルノ
モ、一應無理ガナイトハ察シマス、併ナガラ是ハ決シテ實地ニ行ハレルモノ
デナシ、他ノ堂々タル帝國モ、斯ノ如キコトハ、マサカヤツテ居ラヌト云フコ
トハ、私ハ諸君ニ明言スル、サレバ私ハ、此修正案ニハ更ニ反對スル、而シ
テ原案ノ如クシテドウデアルカ、原案ノ如ク此株券ヲ五朱ノ保證ヲスルト云
フコトハ、曾テ私ガ勸業銀行ニ反對シタ時分ニ述ベテ置キマシタカラ、想フ
ニ諸君モ今日ハ記憶シテ居ラル、デアラウシ、又今日ニ於テハ、勸業銀行ノ
株主ニナツタリ、或ハ農工銀行ノ株主ニナツテ、隨分御困リノ御方モ、私ハ
議場ニ多ク認メテ居ル、故ニデス、縱令原案ガ通過シタ所ガ、此政府カラ出
シタ原案ノ如クナレバ、決シテ行レナイ、法律トシテ實地ニヤツタ所ガ、今
日ニ當ツテ興業銀行ノ株主ニナレト云ウテ政府ガ勸メテモ、世ノ中ニナリ人
ガナイ、サレバ是ハ原案モ共ニ否決、修正案ハ更ニ無用ト云フコトヲ本員ハ
申述ベテ置キマス

〔大出來〕ト呼フ者アリ

〔栗原亮一君演壇ニ登ル〕

○栗原亮一君(八十七番) チヨット私ハ修正ノ委員說ヲ簡單ニ述ベテ置キマ
ス(「簡單ヤ」ト呼フ者アリ)隨分此憲政本黨ノ諸君ハ、政府委員ノ意見ナド
ハ、餘リ御聞キナサレタ、大層ドウモ御柔順ナ譯デアリマス、ツレカラ田口君ハ
見ヲ御聞キナサレタ、大層ドウモ御柔順ナ譯デアリマス、ツレカラ田口君ハ
誠ニ有名ナル經濟學者デ在ラセラレマス、其前ニ又關君ガ大變御反對デ
アリマス、是ハ委員會ニ於キマシテモ、私ハ大變辯ジマシテ、大抵理窟ニ於
テハ、合點ガ往ツテ居ルト思ウデアリマスガ、何分恐ロシイ恐慌デアアル、誠
ニ億病神ガ付イテ居リマスカラ、理論ノ外ダト思ツテ辯ジナイデアリマス、
唯諸君ガ大變ニドウモ是ハ危險デアアル、或ハ又是ハ關君ノハ辯シ盡シマシタ
ケレドモ、チヨット申シテ置クデアリマスガ、唯其一片ノ感情ニ訴ヘラレ
マシテ、増税モセンナラヌ、郵便稅醬油稅サウ云フ客ナ政略マデモヤランナ
ラヌ場合デアアル、又外債ヲモ市場ニ募ラナケレバナラヌ、故ニ斯ウ云フコト
ヲシテハイカヌ、是ハ全クロヂクガ、論結ガ反對ニ往クデアラウト思フノ
デアリマス、斯ノ如ク内地ノ財政ハ、今日困難ニ致シ、又事業社會ト云フモ
ノモ大層今日ハ、順境ニナツタト云フコトヲ仰セラレルモノガアリマスガ、
極少數ノ此事業ヲ專賣スルト云フヤウナハ、サウ云フ感シガアリマセウ、
又斯ウ云フ人ヲ助ケル諸君ハ、サウ云フ感シガアリマセウ、併ナガラ今日一

般ニ尙ホ此工業ヲ振作致シテ、一層進歩ヲ致シテ往カウト云フニ付キマシテ
ハ、決シテ今日ノ如キ資本ヲ以テ、満足スルコトハ出來ナイト云フノハ、今
日ノ工業社會ノ是ハ實況デアリマス、斯ノ如クナルガ故ニ、吾々ハ此内國ノ
資本ヲ豐カニ致シ、財政經濟共ニ之ヲ圓滿ニ致シタイト云フノガ考デアリマ
ス、或ハ又斯ウ云フコトヲスレバ大層信用ヲ失フ、誠ニ是ハ自暴自棄ナ話
デアリマシテ、我國ハ既ニ此議會ニ於キマシテモ、諸君ハ餘程反對ヲサレマ
シタケレドモ、吾々ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フノニハ、一念熱心ニ致
シマシテ、先ツ茲ニ至リマシテ歳入補填案モ可決セラレマシテ、歳出入稍
償フニ至ツタデアリマス、又日本ニ於キマシテハ、唯歳出入ガ縱シ不釣合
デアリマシタ所ガ、眼アル外人デアリマスレバ、愈々是ハ歳入ニ餘リアルヤ
否ヤト云フコトハ、其國力ヲ見ル譯デアリマス、日本ニ於キマシテハ、非常
ナ場合ニ際シテ、決シテ其國力ガナイト云フノ考デアナイデアリマス、ツ
レカラシテ關君ノ御話ニモ、國債ト云フモノガ下落スレバ、大變ニ困ルデハ
ナイカ、其國債證券ヲ政府ニ取ツテ置ケレドモガ、是ガ下落スレバ誠ニ
困ル、是ハ如何ニモ若シ斯ウ云フコトガアリマシタナラバ、困ルデアリマス、
併ナガラ此地方債或ハ社債券ノ如キハ、先刻委員會ニアリマシタ所ノ說ヲ委
員長カラ述ベマシタカラ、是ハ省クデアリマスガ、此國債ノ一點ニ付イテ論
ジマシタ所ガ、此國債ガ下落スレバ、或ハ反古ニナレバ困ルデハナイカト云
フコトハ、是ハ一般ノ問題デアリマシテ、必シモ此銀行ヲ起シテ、此銀行ヨ
リ之ヲ抵當ニ取ツテ居ルカラ、恐慌ノアツタ時分ニ困ルト云フ譯デナク致
シテ、若シモサウ云フ不幸ガ出來致シマシテ、サウシテ此國債ガサウ極端ニ
マルデ反古ニナルコトハナイデアリマスガ、縱シ半分ナリトカ云フ臆病神
ノタメニ、萬々一アルト云フコトヲ想像シマシタ所ガ、詰リ其場合ニハ、日
本全體ノ此財政ノ困難ナル場合デアリマシテカラニ、此國債證券ガ此銀行ノ
抵當トシテ、政府ニアルカラシテ下落シテ困ルト云フ譯デアリマシタ、其
時分ニハ日本ノ國債ハ、縱令國庫ニアリマシテモ、亦此銀行ノ抵當トシテ預
リマシテモ、此民間ニ於キマシテモ、是ハ一般共ニ下落スル時代デアリマ
スカラ、詰リ斯ウ云フ考ト云フモノハ、日本ガ亡國ノ場合ニハ、ドウスルト
云フ問題デアリマスカラ、斯ノ如キ不祥ナコトハ、私ハ口ニスルコトモ甚ダ
好マナイコトデアリマス、要スルニ反對者ノ議論ト云フモノハ、或ハ斯ノ如
キ所ノコトハ、日本ノ體面ヲ潰ス、例ニ於テナイコトデアルト云フ說モアリ
マスガ、隨分歐羅巴ノ列國ニ於キマシテモ、段々社會ノ經濟ノ進運ニ際シマ
シテハ、政府ガ政略ヲ以テ外資輸入ヲヤツタ處モアリマス、殊ニ此銀行ハ、必
シモ外資輸入ガ一ノ目的デアリマセヌ、即チ分業ヲ致シマシテ、此工業ノ資
本動產ヲ抵當ニ致シテ此工業ヲ振作スル、今日ハ商業機關ノ一大機關アリ、又
農工銀行ノ如キ農業ヲ獎勵スル所ノ一大機關ガアリマスケレドモガ、未ダ此
工業ノ機關ナク致シマシテ、殊ニ日本ハ國ニ於キマシテモ、此工業ヲ大イニ
力ヲ入レテヤラナケレバナラヌト云フ場合ニ至リマシテ、是ニ對シテ専門ノ

機關ガナイト云フコトハ、甚大缺點アル、故ニ是ハ一時ノ救策ニアラズ致シテ、是ガ國ニ於テ、我國ニ進メルニ於テ、是非共此工業ノ大機關ガナケレバナラスト云フコトガ、本趣意デアリマシテ、之ヲ發スルタメニ便利トシテ、一時其中ニ於キマシテハ、必要ナ場合ニハ外資ヲ利用スルコトガアルト云フダケノコトデアリマスカラシテ、本案ノ取ル所ノ——動產銀行ノ取ル所ノ趣意ハ、無論贊成デアリマスガ、此勸ヲシテ十分ナラシメルニハ、今ノ如ク此外資融通ノ途ヲ開カナケレバ、唯是ハ言譯ニ止ツテ、決シテ本當ノ作用ト云フコトハ、出來ナイノデアリマスルシ、要スルニ此案ニ附キマシテハ、諸君ノ段々御話ノアル所ハ、極端ノ場合此日本ノ國債又其社債債券地方債券ノ如キ、マルデ無代價ニナツテシマフ、反古ニナツテシマフ、斯ウ云フ譯デ、詰リ杞憂論ニ過ギナイノデアリマス、杞人天ノ落チルヲ憂フルト申シマシタガ、或ハ此議會ノ天井杯ノ落チルト云フコトヲ憂フルノモ、ウレハ宜シウゴザイマスガ、今ノヤウナルデ天ノ落チルヲ憂フルノデアリマス、コ、ニ至ツテハ吾々如何トモ評ノ仕方ノナイノデアリマス、故ニ諸君ハ今日此工事ヲ振作スル上ニ於テ、此手段ニ依ラズンバ、日本ノ國運ヲ伸張スルコトガ出來ナイト信ズルノデゴザイマスカラ、諸君ハ驟然此修正案ニ贊成アラシコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、此採決ニ附イテハ無記名投票ヲ以テスルト云フ請求ガアリマシテ、是ニ成規ノ贊成者ガアリマスカラ、無記名投票ニ致シマス——尙ホ採決ノ仕方ニ附イテ、宣告ヲ致シテ置キマスガ、本案ニ附イテ第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ハ、白球ヲ入レマス、第二讀會ヲ開クベカラズ——是ニ反對ノ諸君ハ、黒球ヲ入レマス——閉鎖——モウ一度宣告シテ置キマスル、第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ハ、白球ヲ入レマス、是ニ反對ノ第二讀會ヲ開クベカラズト云フ諸君ハ、黒球ヲ入レマス、名刺ヲドウゾ御持參下サイ——氏名點呼ヲ始メマス

○議長(片岡健吉君) 投票漏ハアリマセヌカ——開鎖、是ヨリ開匣致シマス

○議長(片岡健吉君) 投票及名刺ノ數ヲ計算ス

○議長(片岡健吉君) 名刺ト球ノ數ト符合致シマスルカラ、投票ノ結果ヲ御報告致シマス

(本山書記官朗讀)

球數總計二百十五

白球 百二十四

黒球 九十一

(拍手起ル)

○議長(片岡健吉君) ツレデハ第二讀會ヲ開クコトニナリマシタ、諸君ニ一應御諮リ致シマスガ、是カラ第二讀會ヲ開クコトニナリマシタナラバ、モウ時間ガアリマセヌカラ、時間ヲ延ベルコトニ致シマス

○散會々々ト呼ビ又「ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君(九十七番) 直チニ第二讀會ヲ開カレテ宜シウゴザイマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ガ、恆松隆慶君カラ出マシタ、直チニ第二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

動產銀行法案

日本興業銀行法案

○恆松隆慶君(九十七番) 全部一節トシテ議題ニ供セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 標題カラ第六條マデヲ議題ニ供シマス

(恆松隆慶君「總體デヤルベシ、委員會ノ修正通議異議ナシ」ト呼フ)

○議長(片岡健吉君) 標題ヨリ第六條マデ、第六條ニハ委員會ノ修正ガアリマス、是ハ委員會ノ修正通議其他ハ原案ノ通デ御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正通議シマス——第七條ヨリ第八條ヲ議題ニ供シマス、是ハ原案通御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案通決シマス——第九條ヨリ第十二條マデヲ議題ニ供シマス、是ハ委員會ノ修正通御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正通決シマス——第十三條、是ハ委員會デ削除ニナツテ居リマスカラ、委員會ノ削除説ニ御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、格別原案ノ採決ハ致シマセヌ、次ハ第十四條ヨリ第十六條マデヲ議題ニ供シマス、是モ委員會ノ修正通御異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正通決シマス——次ハ委員會ノ修正第十六條ヨリ第十八條マデヲ議題ニ供シマス

(委員會ノ修正通御異議ナシ)又「ツレニハ異議ガアリマス」ト呼フ者アリ

○加藤六藏君(四番) ドウゾ採決ヲ願ヒマス、重大ナ問題デアルカラ……

○議長(片岡健吉君) 委員會ノ修正第十六條カラ十八條マデ、委員會ノ修正意

見ハ、削除ニナリテ居リマスカラ、委員會ノ修正説ニ附イテ採決ヲ致シマス、委員會ノ修正説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、然ラバ委員會ノ修正ニ決シテ置キマス

(加藤六藏君「異議ノ申立ヲ致シマス」ト呼フ)

○議長(片岡健吉君) 次ハ第十九條ヨリ第二十五條マデヲ議題ニ供シマス、委員會ノ修正通御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正通決シマス——次ハ第二十六條ヲ議題ニ供シマス、是ハ委員會ノ削除説ガアリマス、委員會ノ削除説ニ御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス——次ハ第二十七條ヨリ第三十三條マデヲ議題ニ供シマス、委員會ノ修正通ニ御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、委員會ノ修正説通決シマス

○議長(片岡健吉君) 是デ二次會ハ濟シタト思ヒマスガ、如何デスカ

○議長(片岡健吉君) 濟ミマシタ

○議長(片岡健吉君) 直チニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第三讀會ヲ開キマス

勸業銀行法案

日本興業銀行法案

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、本案ハ確定シタルモノト認メマス

○議長(片岡健吉君) 何デス

○議長(片岡健吉君) 緊急勸議ガアリマス、本日ハ是カラ以後ノ日程ハ、明日ニ延ベラレマシテ、此場合緊急勸議トシテ取引所法案、航海獎勵法案、漁業法案、水先法案、此四ツヲ問題ニシテ、一讀會ヲ開イテ、此場合委員ヲ選定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君、何デス

○議長(片岡健吉君) 取引所法案、航海獎勵法案……

○議長(片岡健吉君) 書イタモノヲ御出シナサイ

(此トキ恆松隆慶君議長ニ書面ヲ差出シタリ)

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君カラ漁業法案、取引所中改正法律案、水先法案、航海獎勵中改正法律案、此四案ノ第一讀會ヲ開キタイト云フ緊急勸議ガ出マシタガ、御異議ハアリマスマイカ

(「賛成」ト呼ビ又「反對」ト呼フ者アリ)

漁業法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

取引所法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

水先法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

航海獎勵法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

貴族院修正ノ箇條

第四條第二項中「前項ノ場合ニ該當スルトキハ」ノ下ニ「行政廳ハ」ヲ加フ
第五條第二項中「前項ノ場合ニ於テ行政廳ノ違法處分ニ由リ」ヲ「行政廳ノ處分違法ニシテ」ト修正ス
第十三條第二項中「アラス」ヲ「在ラス」ト修正シ第三項中「漁場ノ區域ヲ定メ」ヲ削ル

第十六條中「十圓以下」ノ上ニ「二圓以上」ヲ加ヘ「罰金」ヲ「過料」ト修正ス
第十七條中「五十圓以下」ノ上ニ「五圓以上」ヲ加フ
第十八條中「三十圓以下」ノ上ニ「三圓以上」ヲ加フ
第十九條中「十圓以下」ノ上ニ「二圓以上」ヲ加フ

取引所法中改正法律案
第十一條第一項中「株主」ヲ削ル
附則
此ノ法律ハ明治三十二年七月十七日ヨリ施行ス

水先法案
貴族院修正ノ箇條

第二條中「主務大臣ノ定ムル試驗規定ニ依リ試驗ニ合格シ且水先人名簿ニ登錄セラレタル者ニ授與ス」ヲ左ノ如ク修正ス
左ノ條件ヲ具備スル者ニ授與ス
一 帝國臣民ナルコト
二 主務大臣ヲ定ムル試驗規定ニ依リ試驗ニ合格シタルコト
三 水先人名簿ニ登錄セラレタルコト

第十八條第二項中「主務大臣ノ認可ヲ經テ規約ヲ定ムヘシ」ヲ「規約ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ」ト修正ス
第十九條第一項二號中「殺傷シ」ヲ「死傷ニ致シ」ト修正ス

第二十二條第一項及第二項中「毀損若ハ覆没シ」ヲ各「毀損シ若ハ之ヲ沈没セシメ」ト修正ス

第二十三條中「二百五十圓以下」ノ上ニ「二百圓以上」ヲ加フ

第二十四條中「百圓以下」ノ上ニ「二百圓以上」ヲ加フ

第三十二條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三十三條 此ノ法律施行後五年間ヲ限り主務大臣ハ第二條第一號ノ規定ニ拘ラス水先免狀ヲ授與スルコトヲ得

前項ニ依リ授與シタル水先免狀ハ前項ノ期間満了ノ後ト雖其ノ效力ヲ失フコトナシ

航海獎勵法中改正法律案

航海獎勵法中左ノ通改正ス

第五條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

明治三十二年十月一日以後帝國船籍ニ登録スル外國製造ノ船舶ニハ前二項ノ規定ニ依リ支給スヘキ航海獎勵金ノ半額ヲ支給ス

第十九條中「十月一日ヨリ」ノ下ニ「十八箇年之間」ヲ加フ

議長(片岡健吉君) 是ハ各々九名ノ特別委員ヲ議長ノ指名ト云フ動議が出マシタ、御異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○根本正君(三百番)

議長(片岡健吉君) 此日程變更ノ後……

○議長(片岡健吉君) 聽エマセヌ、モット太イ聲デ仰シヤイ

○根本正君(三百番) 此小學校國庫補助法案ガ、貴族院カラ同附ニナッテ居リマス、其中ニ修正ガ二三條アリマス、之ヲ今日ノ日程ニ上セテ、早速決セ

ラレンコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」「反對々々」ト呼フ者アリ)

○石黒瀧一郎君(百四十一番) 議長

議長(片岡健吉君) 石黒瀧一郎君、何デスカ

○議長(片岡健吉君) 此際議事日程ノ變更ヲ求メタイ

○議長(片岡健吉君) チョット御待チ下サイ(「定數ニ足りナイ」「人數ガ足ラナイ」ト呼フ者アリ) 根本正君カラ緊急動議が出マシタ(「人ガ足りマセヌ」ト

呼フ者アリ) 貴族院カラ同付ニナリマシタ小學校教育費國庫補助法案ノ議事ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ(「何ヲ苦シデソシナニ急グ」ト呼フ者アリ) 是ハ贊成ガアリマスカラ、採決ヲ致シマス、議事日程ヲ變更シテ之ヲ議

シヤウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、チョット諸君ニ御諮リシマスガ、今

動産銀行法案ガ決シマシタ以上ハ、是ハ委員長ノ報告モアリマシタガ、日本

興業銀行法案ハ、消滅シタルモノト認メテ宜シウゴザイマスガ、念ノメメニ

確メテ置キマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ソレデハ消滅シタルモノト認メマス、チョット諸君ニ御諮リスルコトガアリマスルガ、議案ヲ政府及議員ヨリ提出シタルトキニハ

二日間ヲ隔テ、第一讀會ヲ開クト云フコトガ、衆議院規則第八十八條ニアリ

マスルガ、モウ會期モ切迫致シマシタ譯デアリマスルカラ、議長ガ必要ト認

メタトキニハ、其規則ニ拘ラズ、第一讀會ヲ開クコトニ御異議アリマスマイ

カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、ソレハ議長ニ御任セ下サルコトニ

致シマス

○石黒瀧一郎君(百四十一番) 極簡單デスケレドモ、此際議事日程變更ノ緊

急動議ヲ出シタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 議長ノ考ヘニハ、法案ノナイモノニ附イテ、時々緊急

動議が出マスト、議長ノ手前デモ分リマセヌカラ、ドウゾ是ハ延ベラレヌコ

トヲ希望致シマス、是ヨリ報告ヲ致シマス

(廣瀬書記官朗讀)

貴族院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨通牒アリ

船舶法案

船員法案

貴族院ヨリ本院ノ提出ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨通牒アリ

農會法案

地價地租ニ錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキ計算ニ關スル法律案

貴族院ヨリ登錄稅法中改正法律案ヲ同付セラレタリ

貴族院ヨリ本院ノ提出ニ係ル左ノ議案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議

決シタル旨通牒アリ

實業教育費國庫補助法中改正法律案、北海道水產稅則廢止法律案

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

巴里萬國大博覽會ニ日本清酒酒舖開設ニ付特ニ營業者ヲ保護スルノ建議

案

提出者 金井 貢君 早川 龍介君 大塚常次郎君

大津淳一郎君 野尻岩次郎君

提出者 粕谷 義三君 利光 鶴松君 山内吉郎兵衛君

特別委員左ノ通指名セリ

製造業煙草輸出交附金ニ關スル法律案委員

齋藤 安雄君 山口 定省君 富永 隼太君

有村 連君 武弘 宜路君 菅野善右衛門君

星野助左衛門君 寺田彦太郎君 清水靜十郎君
重罪控訴豫納金規則中改正法律案委員
磯田和藏君 淺田次郎君 岩瀬武司君
丸山嵯峨一郎君 和泉邦彦君 鞍谷清愼君
望月長夫君 山田武君 東良三郎君
行旅病人及行旅死亡人取扱法案委員
新井啓一郎君 山田莊左衛門君 佐久間元三郎君
堀家虎造君 原田越城君

取引所法中改正法律案委員
杉下太郎右衛門君 西村貞太郎君 藤野辰次郎君
星野甚右衛門君 深尾龍三君 堀野豐彦君
片岡久一郎君 中辰之助君 齋藤卯八君

航海獎勵法中改正法律案委員
小崎義明君 並河理二郎君 菊池九郎君
市島謙吉君 大津淳一郎君 佐藤里治君
青木正太郎君 山本幸彦君 龍野周一郎君

漁業法案委員
多田通君 橋元勲君 宮井茂九郎君
宮原幸三郎君 四宮有信君 內藤守三君
中田彌平君 草苅武八郎君 大塚常次郎君

水先法案委員
大須賀庸之助君 高川定次郎君 大矢四郎兵衛君
永田佐次郎君 三田村甚三郎君 申本康三君
津野常君 野間豐五郎君 梶野敬三君

○議長(片岡健吉君) 明日ノ議事日程ヲ報告致シマス

(寺田書記官報告)

議事日程 第三十七號 明治三十二年三月一日(水曜日)

午後一時開議

第一 商法施行法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第二 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第三 臺灣事業公債法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第四 葉煙草專賣法違反事件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 北海道拓殖銀行法案(政府提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 辯護士法中改正追加法律案(鳩山和夫君外) 第一讀會ノ續(委員長)

第九 會計検査院長官評定官懲戒法案(工藤行 提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十 明治三十二年法律第十五號會計検査院 法中改正法律案(工藤行幹君 提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十一 明治二十九年法律第九十一號中改正 法律案(工藤行幹君 提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第十二 良種牛補給ニ關スル建議案(奈須川光寶君 提出) (委員長報告)

第十三 國有林野調查會設置ニ關スル建議案(杉田定 提出) (委員長報告)

第十四 府縣農事試驗場國庫補助法案(衆議院提出) 第一讀會

第十五 斗南藩士家祿給與法案(鮫島相政君 提出) 第一讀會

第十六 配當祿處分法案(松島廉作君 提出) 第一讀會

第十七 私設鐵道條例中改正法律案(田口卯吉君外 提出) 第一讀會

第十八 北海道拓殖銀行設立ニ關スル建議案(恒松隆慶君 提出) 第一讀會

第十九 巴里萬國博覽會ニ技術者並ニ實業家派遣ノ建議 案(兩森菊太郎君 提出) 第一讀會

第二十 小學校教育費國庫補助法案(衆議院提出) 第一讀會

第二十一 第五回內國勸業博覽會中水產部ヲ萬國博覽會 ト爲スノ建議案(恒松隆慶君 提出) 第一讀會

第二十二 國學院補助ニ關スル建議案(早川龍介君 提出) 第一讀會

第二十三 工藝學校設置ノ建議案(杉田定一君 提出) 第一讀會

第二十四 決算審查ニ關スル決議案(安川繁成君 提出) 第一讀會

第二十五 第五回內國勸業博覽會ヲ大阪ニ開設スル ノ建議案(藤金作君外 提出) (委員長報告)

第二十六 第五回內國勸業博覽會開設ヲ東京市ニ設 置スルノ建議案(星亨君外十 提出) (委員長報告)

第二十七 明治三十年法律第十一號廢止法律案(內藤守三 提出) 第一讀會

第二十八 府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ 關スル法律案(井上角五郎君外 提出) 第一讀會

第二十九 小學校修身書ニ關スル建議案(安藤龜太郎君 提出) 第一讀會

第三十 (特別報告第十九號)狩獵法改正ノ請願 (委員長報告)

- 第三十一 (特別報告第二十號) 工業銀行ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第三十二 (特別報告第二十一號) 商法修正案中検査役ニ關スル規定ヲ削除スルノ請願 (委員長報告)
- 第三十三 (特別報告第二十二號) 北海道水産稅全廢ノ請願 (委員長報告)
- 第三十四 (特別報告第二十四號) 官立齒科醫學校設立ノ請願 (委員長報告)
- 第三十五 (特別報告第二十五號) 小學校教育費國庫補助ノ請願 (委員長報告)
- 第三十六 (特別報告第二十六號) 種牛改良ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第三十七 (特別報告第二十七號) 不正肥料販賣取締法制定ノ請願 (委員長報告)
- 第三十八 (特別報告第二十八號) 金粉金箔製造者買取締法制定ノ請願 (委員長報告)
- 第三十九 (特別報告第二十九號) 清國償金ノ一部ヲ割テ教育費ニ充ツルノ請願 (委員長報告)
- 議長(片岡健吉君) 是ニテ散會致シマス
午後六時二分散會

衆議院議事速記録第三十六號正誤

頁 段 行
五二二 下 一三
内藤守三君ノ次ニ左ノ人名ヲ加フ
串本康三君